参考資料５
市民アンケート調査の結果概要

確報値

●アンケート調査の概要　（18歳以上）

①調査対象
・市内に住所を有する18歳以上の者

②調査方法
・2026年6月時点の住民基本台帳を活用して、3,000人を無作為抽出
　⇒地区別均等割付を実施後、地区別の年齢階級別人口の構成比に基づき、地区別・年齢別の調査票配布数を確定
・送付方法は郵送、回収方法は郵送又はインターネット

③調査期間
・2026年7月8日～2026年7月31日の約3週間

④回収数
・アンケート調査票の回収数は以下のとおり（n=1057）である。 回収率35.7%

地区	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計
浜田	17	17	33	43	66	77	44	297
金城	9	8	27	29	41	71	22	207
旭	8	16	12	25	46	62	40	209
弥栄	4	5	12	7	25	32	28	113
三隅	5	9	22	28	59	64	44	231
計	43	55	106	132	237	306	178	1057

⑤標本誤差の確認

地区	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計
浜田	23.8	23.8	17.1	14.9	12.1	11.2	14.8	5.7
金城	32.7	34.6	18.9	18.2	15.3	11.6	20.9	6.8
旭	34.6	24.5	28.3	19.6	14.4	12.4	15.5	6.8
弥栄	49.0	43.8	28.3	37.0	19.6	17.3	18.5	9.2
三隅	43.8	32.7	20.9	18.5	12.8	12.3	14.8	6.4
計	14.9	13.2	9.5	8.5	6.4	5.6	7.3	3.0

緑	10%未満
薄黄	10-15%
橙	15-30%
赤	30%以上

●アンケート調査の概要（小学生、中学生、高校生、大学生）

①調査概要

項目	小学生	中学生	高校生	大学生
調査対象	・市内の小学校に在籍する第5学年及び第6学年の児童	・市内の中学校に在籍する第1学年から第3学年までの生徒	・市内の高等学校に在籍する第1学年から第3学年までの生徒	・島根県立大学浜田キャンパスに在籍する1～4年生の学生
調査方法	・2026年7月20日以降、各学校のホームルーム等において実施	・2026年6月16日以降、各学校のホームルーム等において実施	・2026年6月30日以降、各学校のホームルーム等において実施	・2026年10月1日以降、教員の協力を得て大学の授業時間中に実施
調査期間	・2026年6月16日～2026年7月8日（約3週間）	・2026年6月16日～2026年7月8日（約3週間）	・2026年6月30日～2026年7月7日（約1週間）	・2026年10月1日～2026年10月9日（約1週間）

②回収率及び標本誤差の確認

区分	母集団 N	回収数 n	回収率	標本誤差
小学生（5・6年生）	766	518	67.6%	±4.31%
中学生	1141	985	86.3%	±3.12%
高校生	801	550	68.7%	±4.18%
大学生	1008	105	10.6%	±9.10%

●アンケート調査結果のサマリー

■幸福度・満足度・地域愛着度の全体像
- いずれの指標でも、高校3年生から18～39歳の年代にかけて、数値が大幅に減少。
- ただし居住意欲（「ずっと住み続けたい」）だけは、年代が上がるにつれて上昇する傾向が見られる。
- また高校生の満足度に関して、市内からの通学者よりも市外からの通学者の方が高くなっている。特に「いつまでも変わってほしくないものがある」については、市内通学者49.7%、市外通学者61.3%と10ポイント以上の差がある。

■個人が幸福を感じるとき
- 幸福度の高い分野については、18歳以上では「個人」と「家族」、中高生では「個人」「友人」「学校」になっている。
- なお設問構成や文言は異なるものの、小学生アンケートでも同様の傾向がみられる。

■市民の満足度
- 生活環境分野では、「身近に自然を感じることができる」「空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」の満足割合が高い一方、「飲食を楽しめる場所が充実している」、「騒音に悩まされている」、「公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」、「楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」についてはいずれも不満足割合が70%以上。

- 地域の人間関係分野では、「同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」「町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」の満足割合が比較的高い一方、「どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」「見知らぬ他者であっても信頼する」「町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる」「女性が活躍しやすい雰囲気がある」「若者が活躍しやすい雰囲気がある」の不満足割合は約80%以上。

- 自分らしい生き方分野では、「将来生まれてくる世代のために良い環境や文化を残したい」の満足割合が最も高い。一方、「やりたい仕事を見つけやすい」、「適切な収入を得るための機会がある」「新たな事に挑戦・成長する機会がある」などは不満足割合が85%以上。

■浜田らしさ
- 地区や年齢を問わず、「石見神楽の歴史・文化」、「地域の原風景（海・川・森等）」、「都会では得られないゆとり」の回答割合が高い。

■コミュニティのあり方
- 若い世代の町内会への参加実績が乏しい。
- 上記の主な理由は「仕事や学業が忙しく、時間が取れない」、「関心がない」となっている。町内会の魅力等を「関心がない」層へ向けて届ける方向性等が考えらえる。

■こどもが就きたい職業
- 中学生、高校生共に「まだわからない」の割合が最も高い。また共通して「医療」、「教育・保育」の割合も高い。
- また中学生は「スポーツ」、高校生では「公務員」の割合も高くなっている。

●アンケート調査結果のサマリー

■こどもの進路
- 中学生は約60%が市内、約40%が市外への進学を希望。（※「まだわからない」を除く割合）
- 市外へ進学を希望する245人のうち、その約88%にあたる215名は、何らかの施策介入によって市内進学への行動変容をする可能性がある。
- 行動変容する可能性については、「学びたい内容の学習ができたら」、「興味のある部活動ができたら」、「市内高校の学習指導力の向上・強化」の割合が高くなっている。
- 高校生は約72%が四年生大学への進学を希望。（※「まだわからない」を除く割合）

■ 20年後の未来に残すべき、強化すべき機能
- 地区、年齢を問わず、「医療・診療施設」の割合が最も高い。また地区による差はややあるものの、「公共交通（バス）」の割合も比較的高くなっている。

■ 20年後を見据えた上で、必要な取組
- 18歳以上アンケートでは、「子育て支援」が約24%と最も高く、次いで「医療」の18.7%、「関係人口」の14.1%となっている。
- また中高生が望む市の未来についての設問では、中高生とも「国内外の観光客が増えて賑わうまち」、「市の伝統行事を大切にするまち」、「商店街など生活に身近なお店が充実しているまち」の割合が高い。

■浜田駅周辺エリアに期待する役割
- 地区、年齢を問わず「飲食・グルメ拠点」の割合が最も高く、次いで「商業・買い物拠点」となっており、両者の合計は概ね2/3程度となっている。
- 地区別には、金城地域で「滞在・交流拠点」、三隅地域で「観光拠点」の割合が比較的高い。
- 年齢別には60～69歳と80歳以上で「観光拠点」、70～79歳で「滞在・交流拠点」の割合が比較的高くなっている。

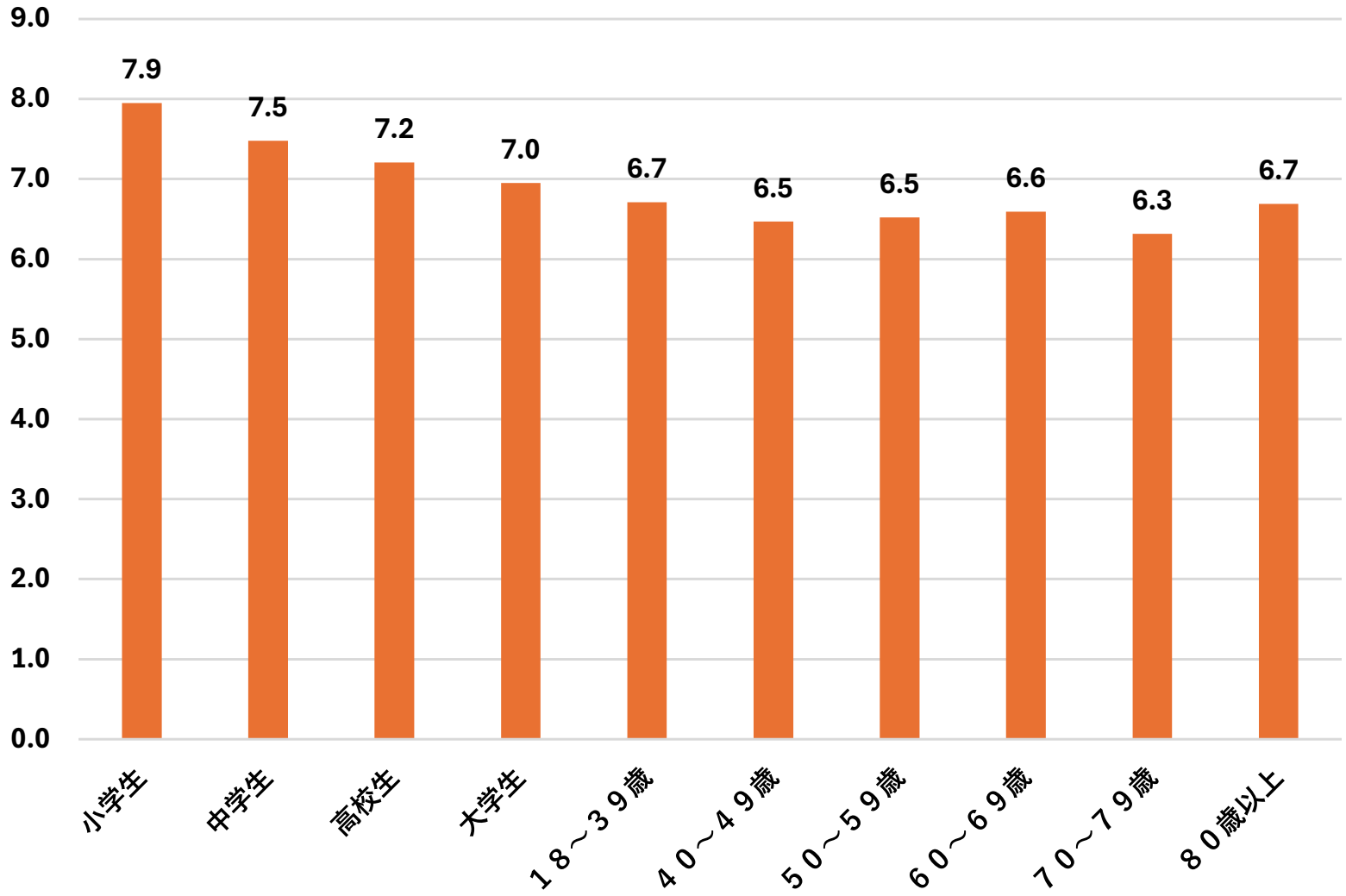
■大学生の進路と地域への意識
- 大学卒業後の進路(予定を含む)は「浜田市外で就職」が88.1%を占め、「浜田市内で就職」「浜田市内で家業の手伝い」はそれぞれ1.2%にとどまる。就きたい職業は「公務員」（31.4%）が最も高い。
- 地域愛着では、「自分のまちだという感じがする」と回答した割合は、高校3年生の70.1%に対し、大学1年生では20.3%と低い。一方、大学生では学年が上がるほどその割合が高くなる傾向がみられ、4年生では61.1%となっている。ただし、学年別のサンプル数が限られるため、結果の解釈には留意が必要である。
- 幸せを感じるときは「自分らしく行動できているとき」（63.8%）など個人レベルの因子が高い。望む市の未来は「商店街など生活に身近なお店が充実しているまち」（55.2%）、「公共交通を活用した移動利便性が確保されたまち」（42.9%）が上位となっている。

●市民（18歳以上＋小学生＋中学生＋高校生＋大学生）の全体像　（１）幸福度の実態把握

・幸福度は小学生が7.9点（平均値）と最も高く、70～79歳が6.3点（平均値）と最も低くなっています。

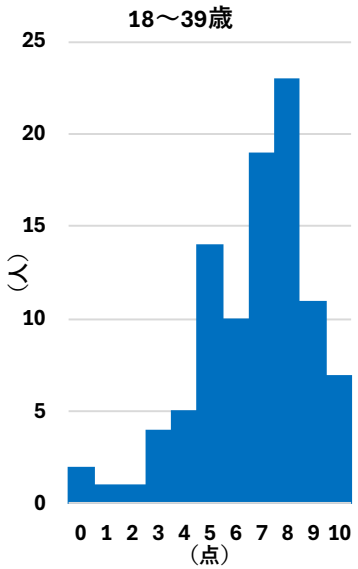
問：現在、あなたはどの程度幸せと感じますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、該当するものをお選びください。

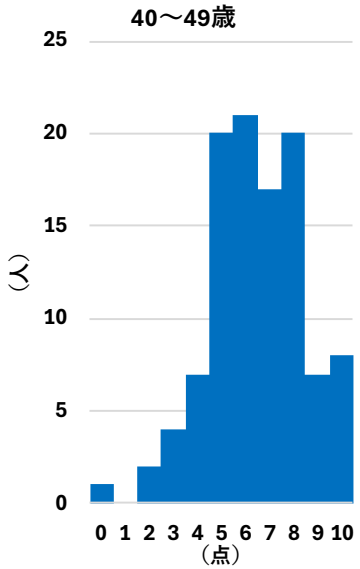
■幸福度（平均値）の比較

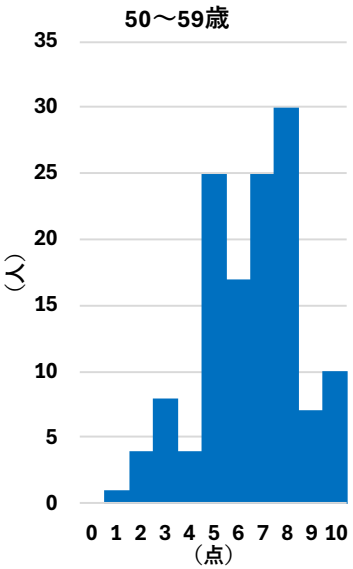


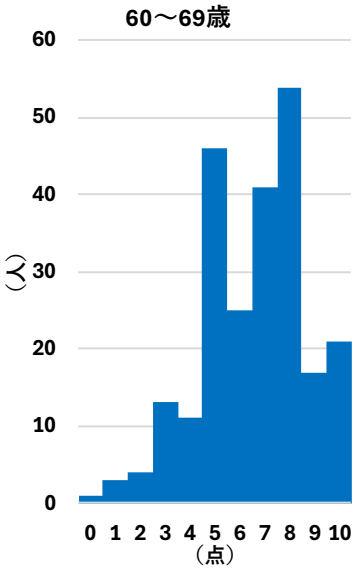
小学生：518人
中学生：965人
高校生：550人
大学生：105人
18～39歳：97人
40～49歳：107人
50～59歳：131人
60～69歳：236人
70～79歳：302人
80歳以上：162人

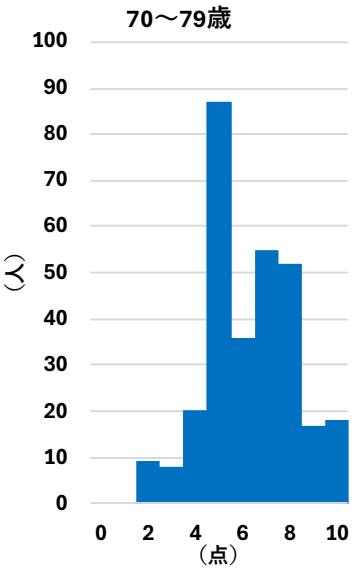
■幸福度分布（ヒストグラム）

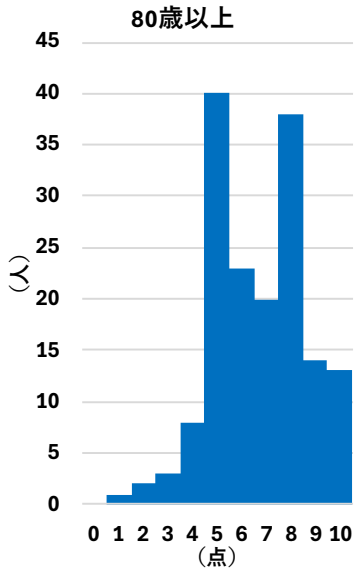


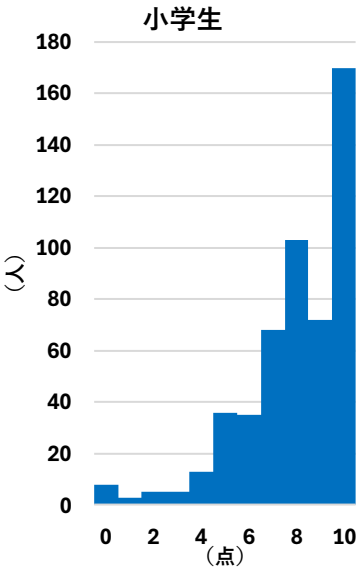


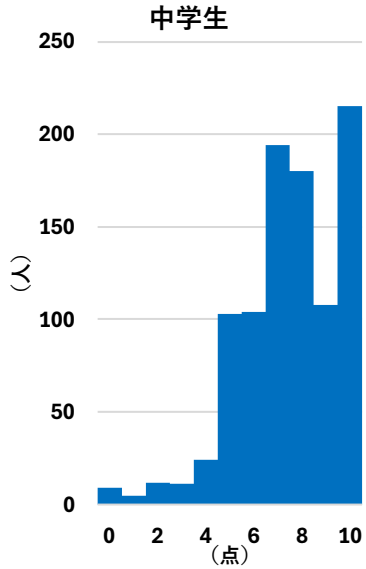


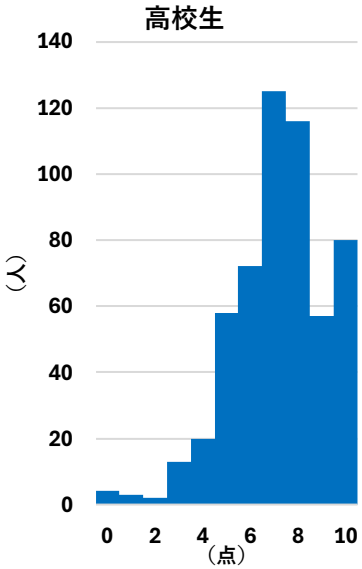


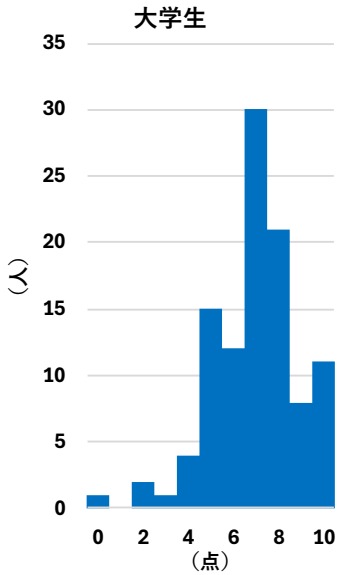










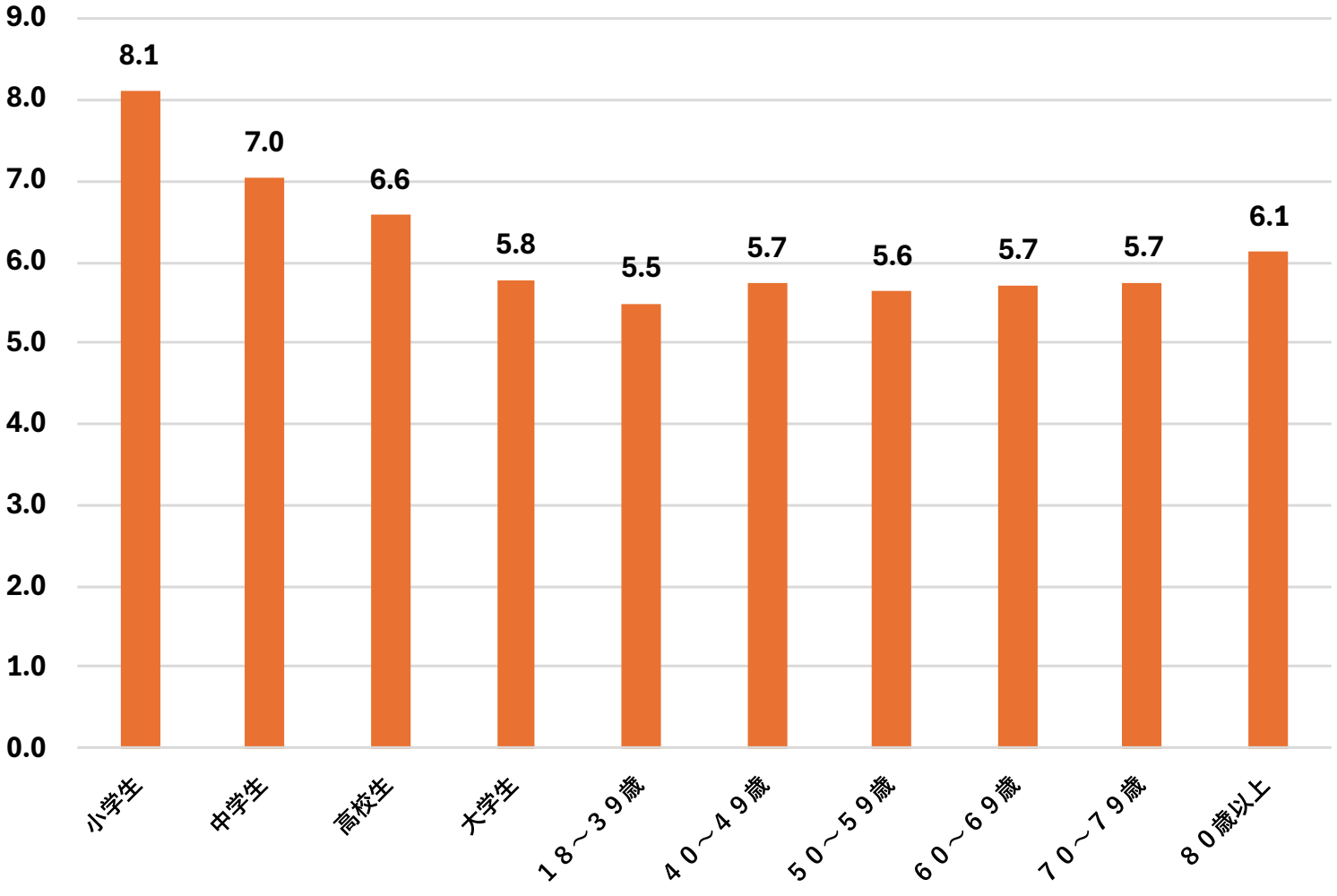


●市民（18歳以上＋小学生＋中学生＋高校生＋大学生）の全体像　（２）満足度の実態把握

・満足度は小学生が8.1点（平均値）と最も高く、18～39歳が5.5点（平均値）と最も低くなっています。

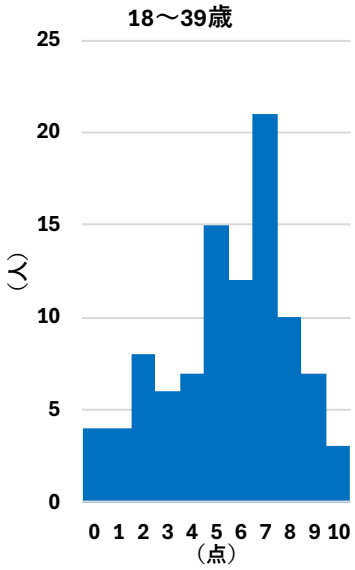
問：現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点として、該当するものをお選びください。

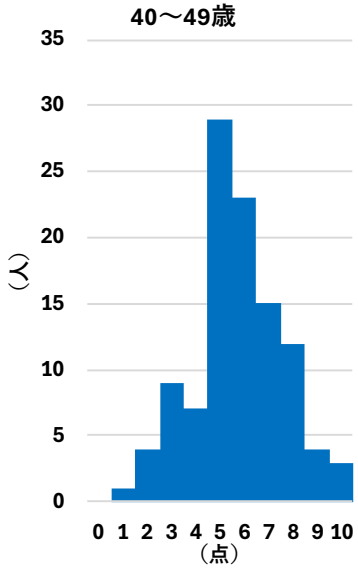
■満足度（平均値）の比較

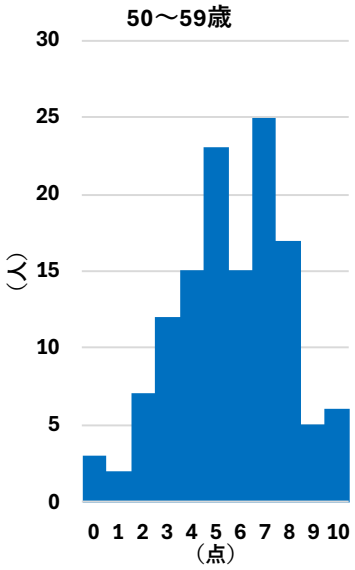


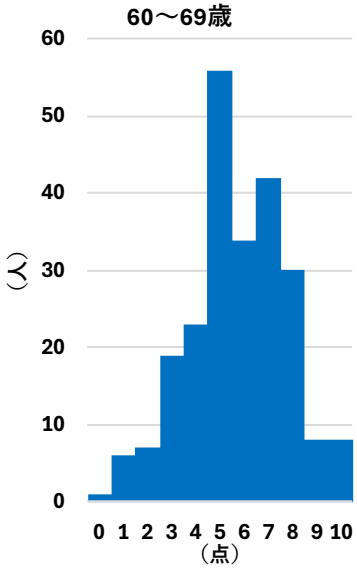
小学生：518人
中学生：965人
高校生：550人
大学生：105人
18～39歳：97人
40～49歳：107人
50～59歳：130人
60～69歳：234人
70～79歳：305人
80歳以上：161人

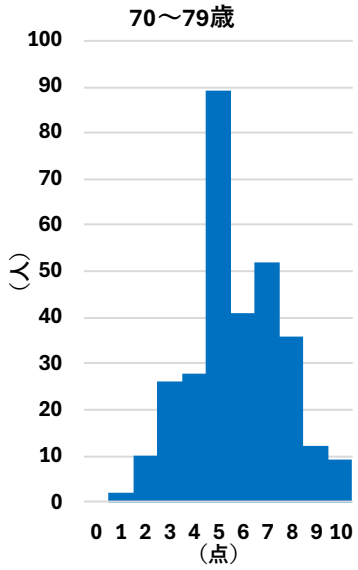
■満足度分布（ヒストグラム）

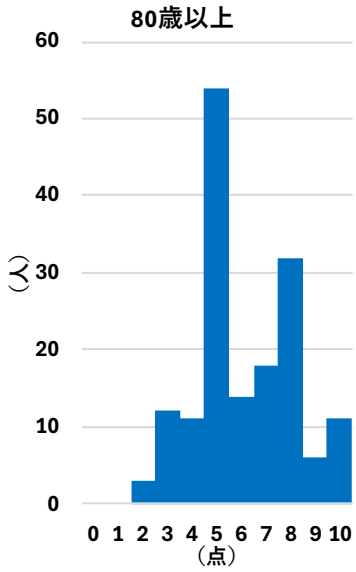


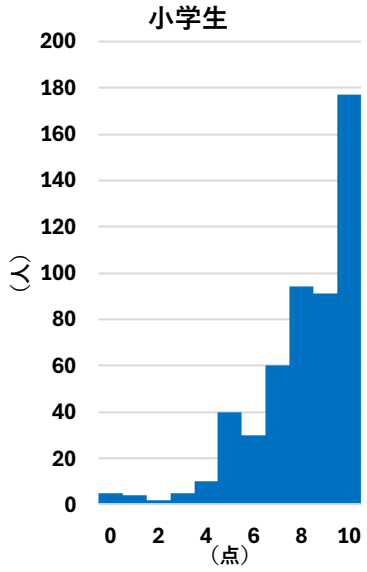


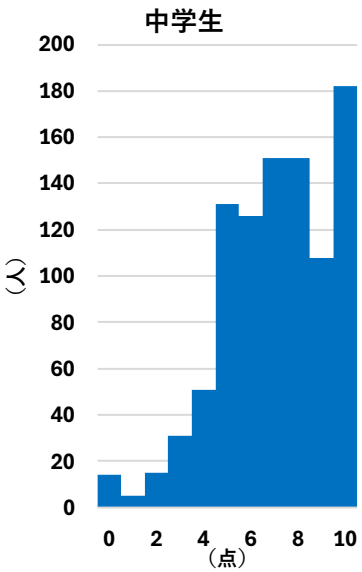


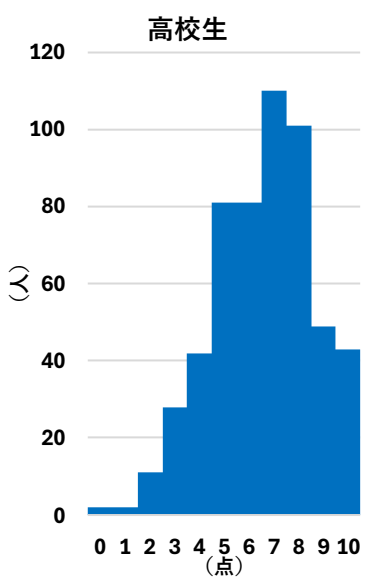


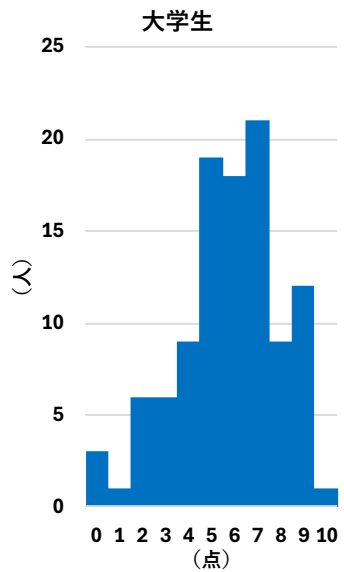






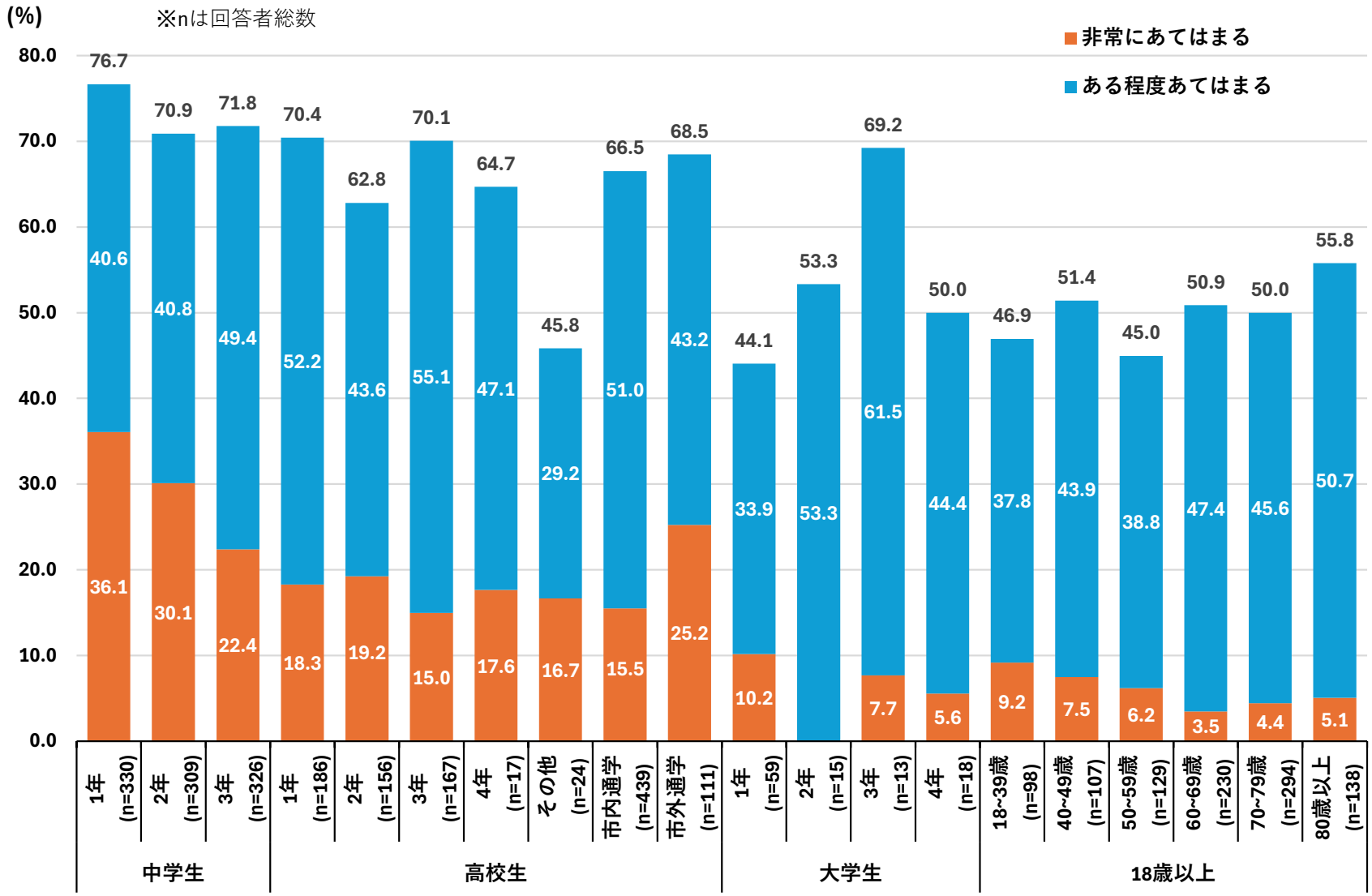






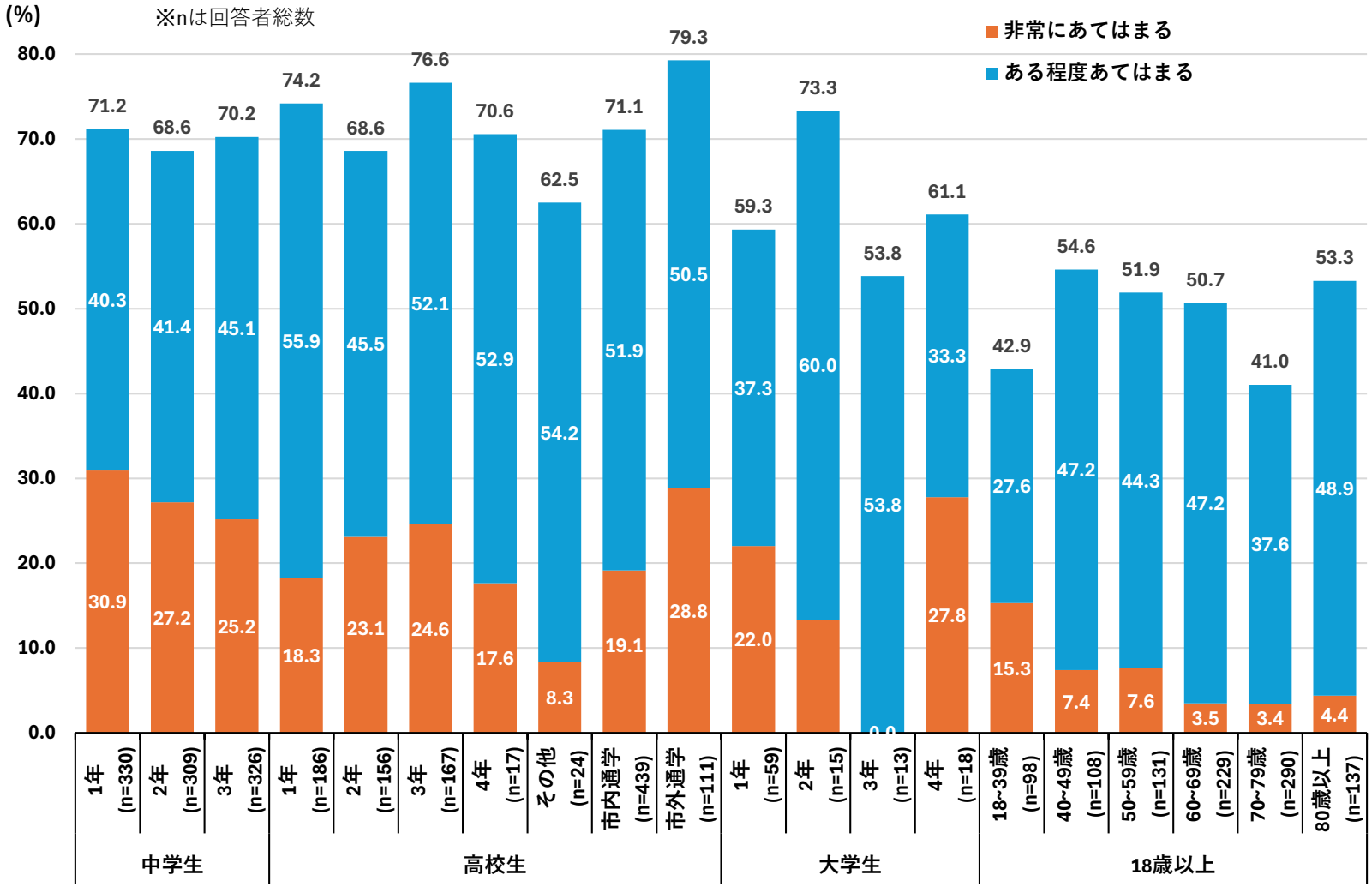
・中学生ではあてはまるの合計が7割前後となっており、高校生でも概ね6～7割となっています。一方、大学生や18歳以上では、4～5割台が多くなっています。
・大学生では、1年生の44.1％に対し、3年生では69.2％と高くなっています。また、中学生では「非常にあてはまる」の割合が比較的高い一方、大学生や18歳以上では低くなっています。

問：あなたの地域への愛着について、該当するものをお選びください。私の暮らしている地域は住みやすい。



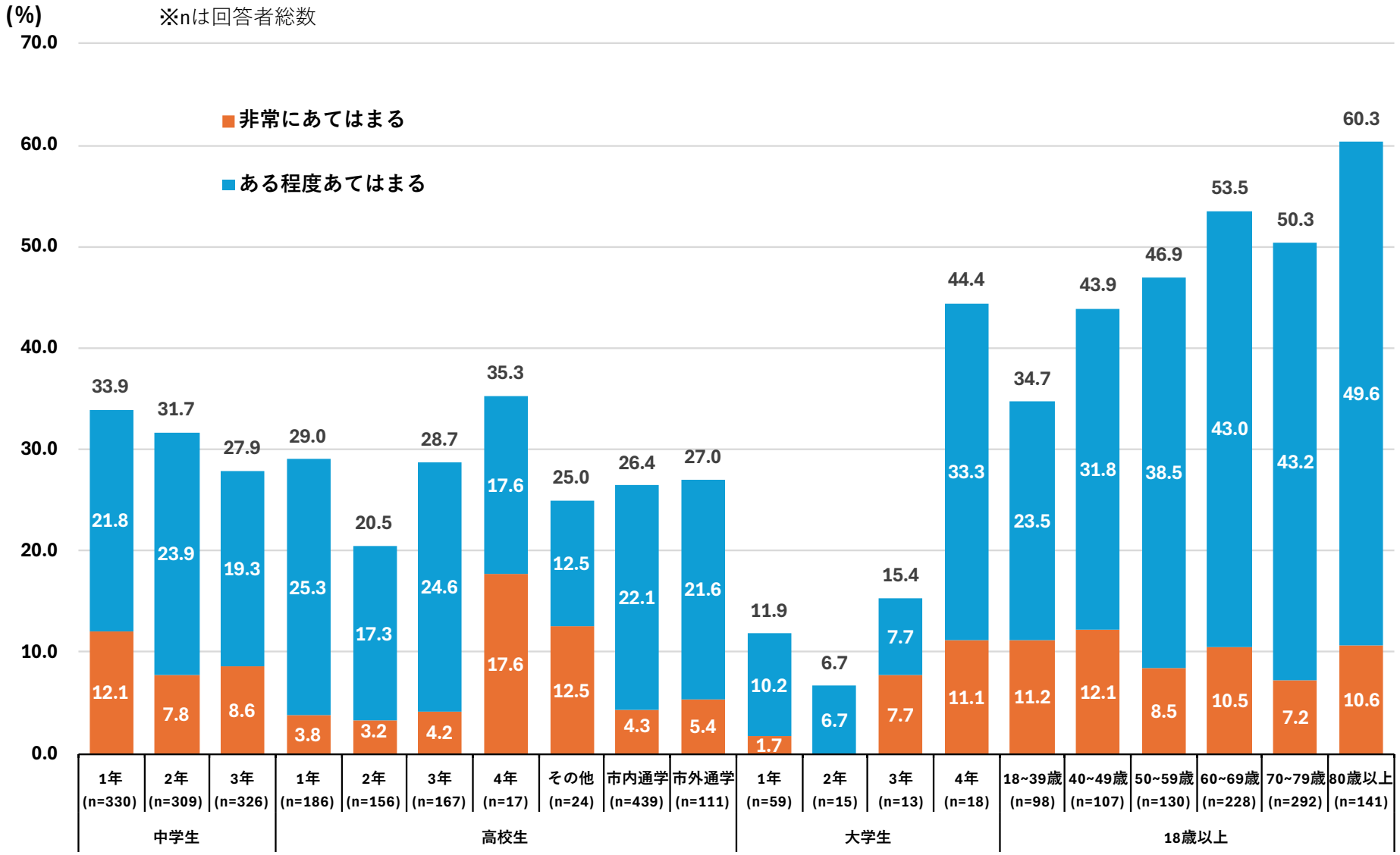
・あてはまるの合計は、中高生で概ね7割前後と高く、18歳以上では4～5割台となっています。
・あてはまるの合計が最も高いのは、市外通学する高校生で79.3%となっています。
・大学生では、2年生が73.3％と最も高く、3年生が53.8％と最も低くなっています。また、18歳以上では、中学生に比べて「非常にあてはまる」の割合が低い傾向にあります。

問：あなたの地域への愛着について、該当するものをお選びください。地域の雰囲気や土地柄が気に入っている。



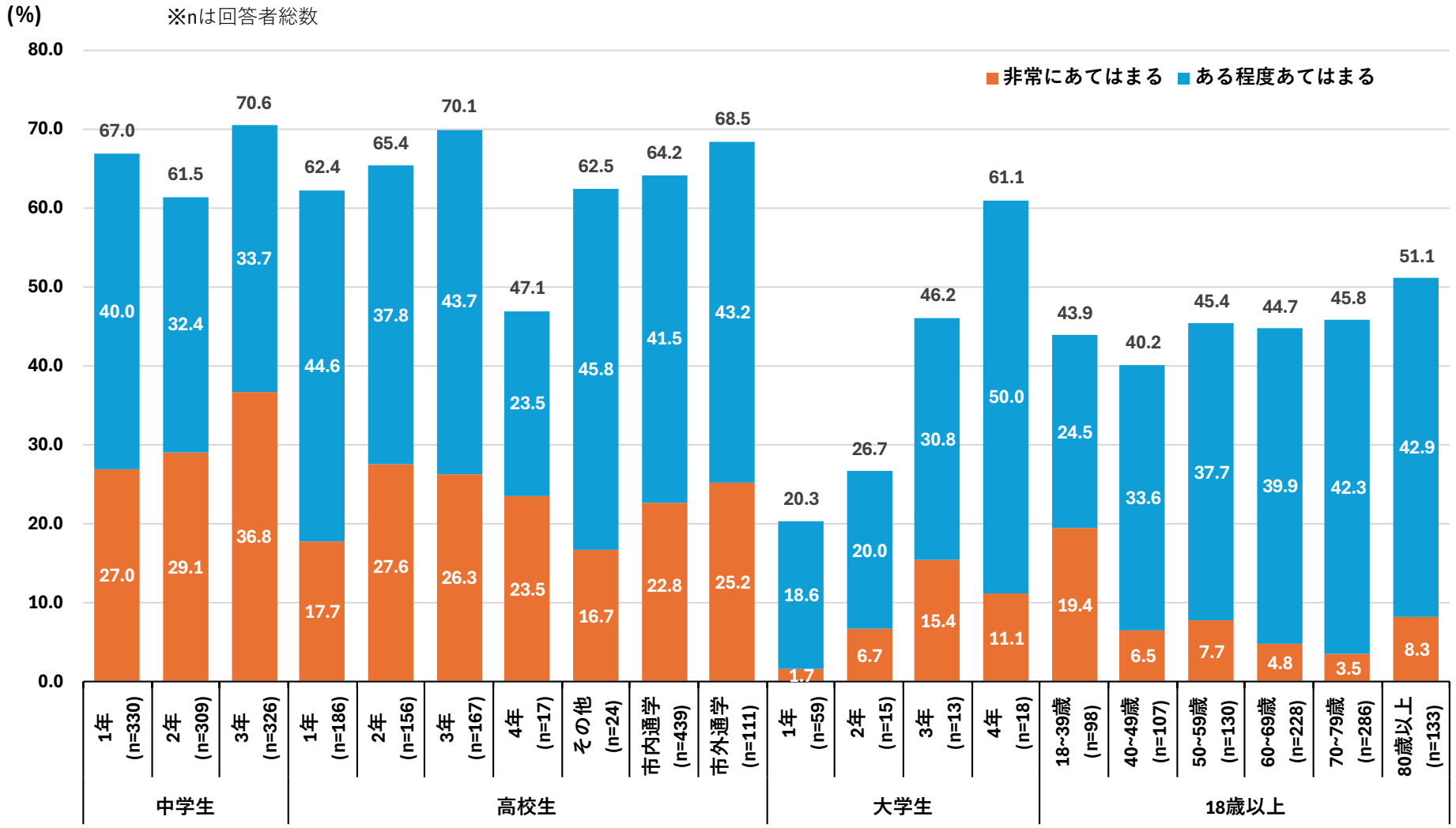
・大学1~3年生では、あてははまると回答する人の割合が特に低くなっています。
・18歳以上の層では、年齢が高くなるにつれて、あてはまると回答する人の割合が高くなる傾向があります。

問：あなたの地域への愛着について、該当するものをお選びください。暮らしている地域にずっと住み続けたい。



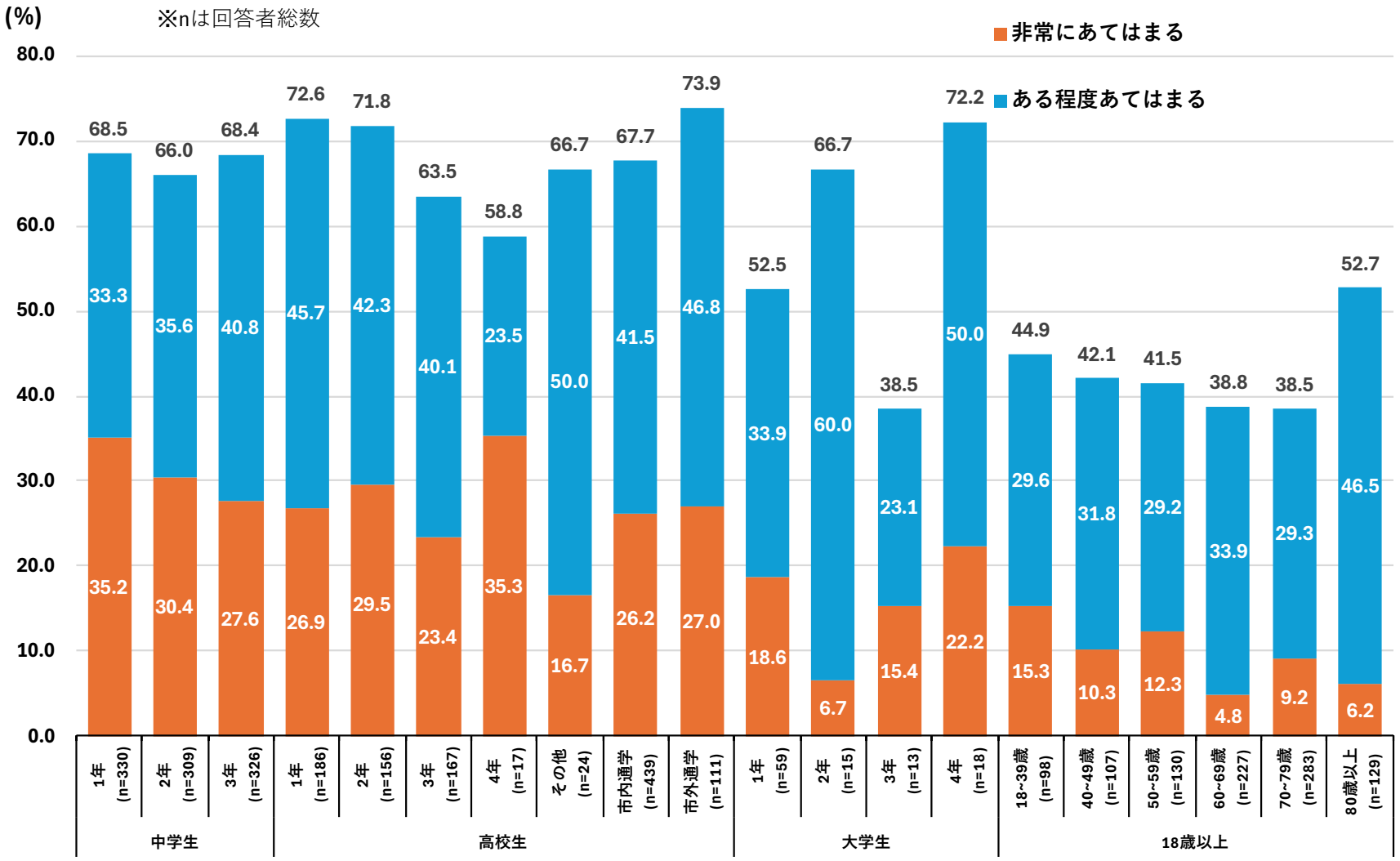
・中高生では、あてはまるの合計が概ね6～7割となっている一方、大学生では1・2年生で2割台と低くなっています。
・高校3年生では70.1％であるのに対し、大学1年生では20.3％と大きな差がみられます。一方、大学生では学年が上がるにつれて割合が高くなり、4年生では61.1％となっています。
・18歳以上では、各年代とも4～5割程度となっています。年齢が上がるにつれて「非常にあてはまる」が概ね減少する一方、「ある程度あてはまる」は増加する傾向にあります。

問：あなたの地域への愛着について、該当するものをお選びください。地域は自分のまちだという感じがする



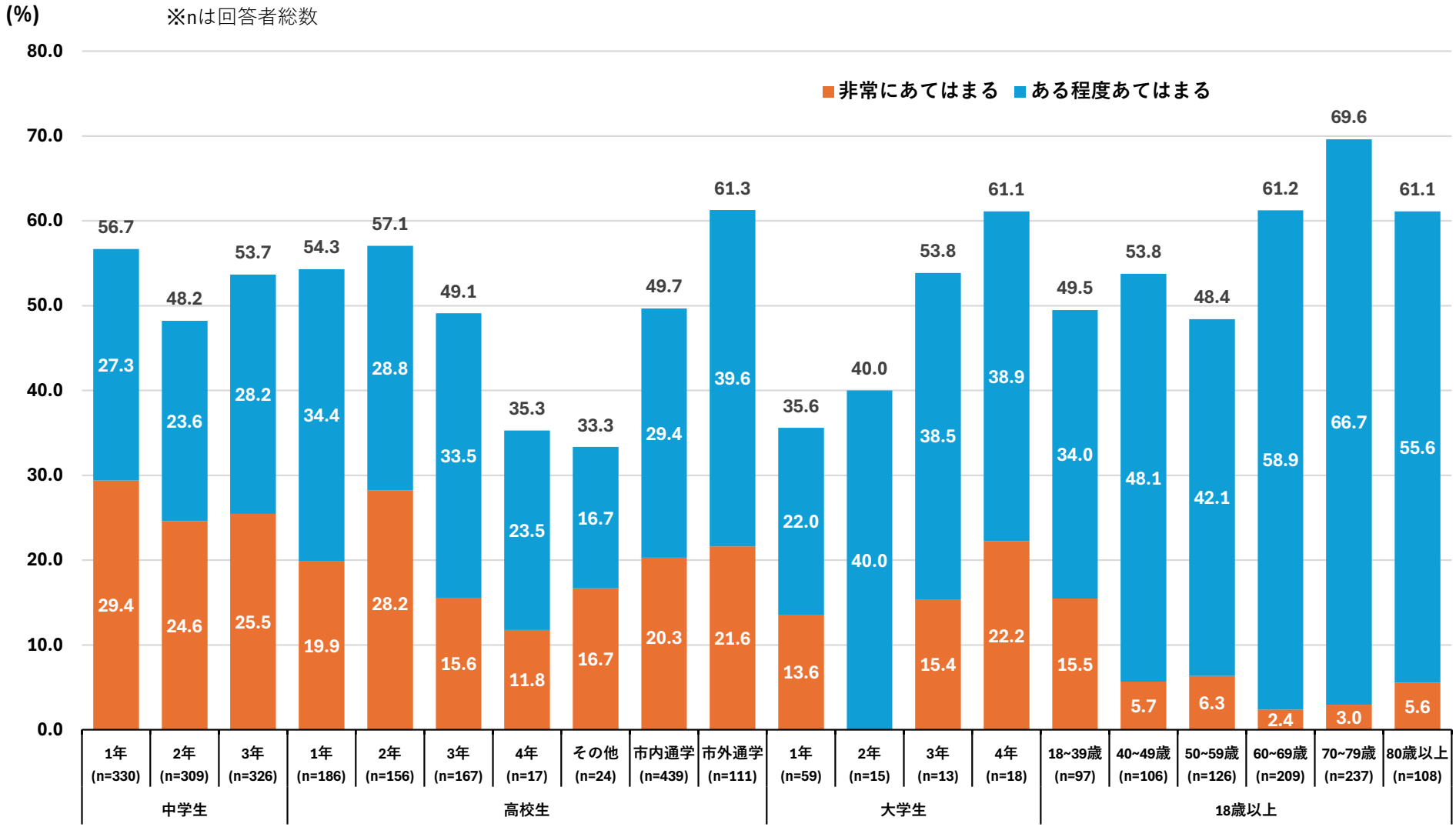
・あてはまるの合計は、中高生で概ね6～7割と高い一方、18歳以上では4～5割台となっています。
・あてはまるの合計が最も高いのは、市外通学の高校生で73.9%となっています。
・大学生では、4年生が72.2%と最も高く、次いで2年生が66.7%となっています。一方、3年生では38.5%と低く、学年による差がみられます。

問：あなたの地域への愛着について、該当するものをお選びください。地域になくなってしまうと悲しいものがある



・あてはまるの合計は、中学生では5割前後、高校生では3～6割台となっています。
・大学生では学年が上がるにつれて割合が高くなり、1年生の35.6％に対し、4年生では61.1％となっています。
・また、18歳以上では60歳代以降で6割を超え、70歳代が69.6％と最も高くなっています。

問：あなたの地域への愛着について、該当するものを1つ選んでください。 私は地域にいつまでも変わって欲しくないものがある

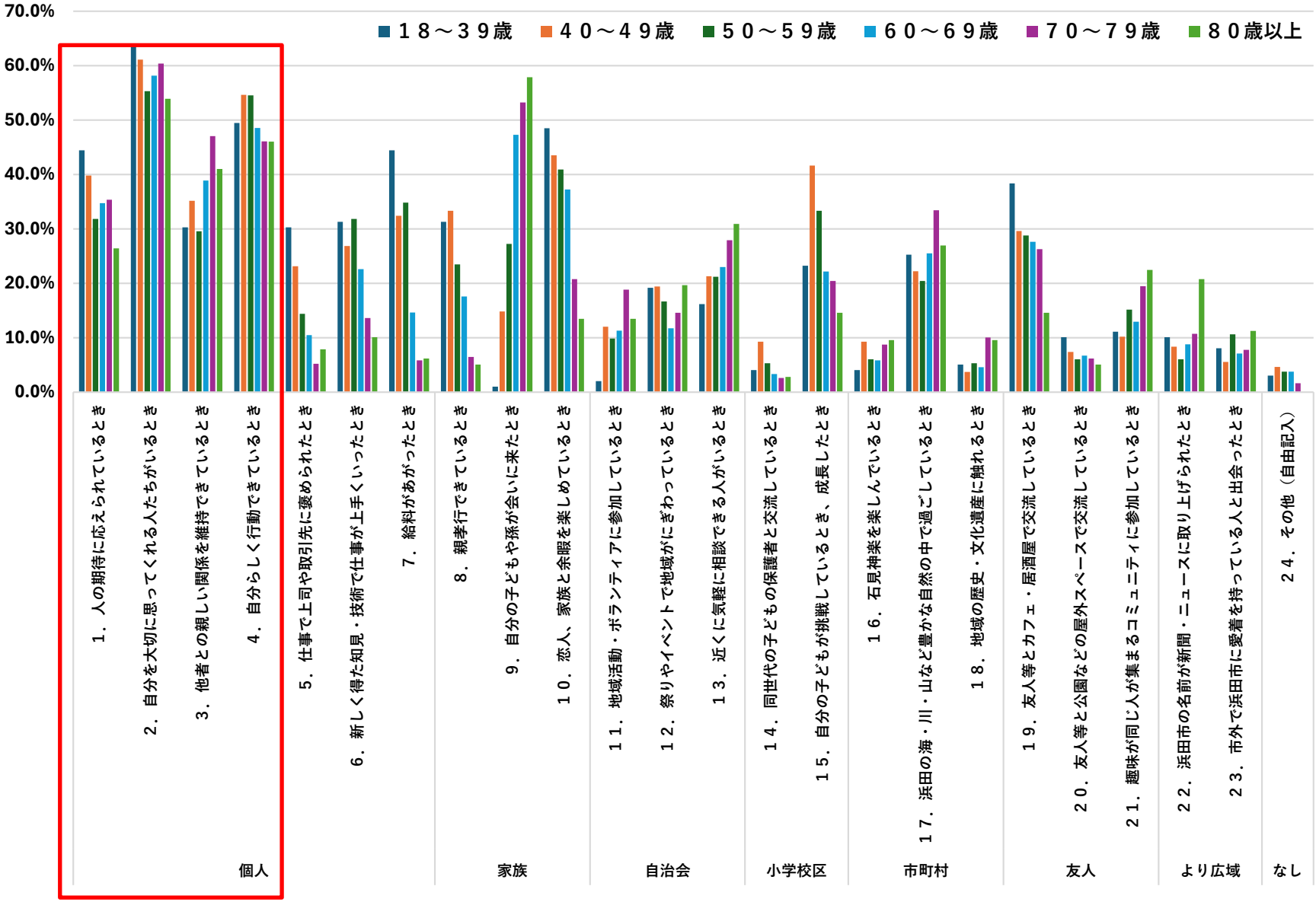


【参考資料】
アンケート調査の集計・分析

●18歳以上アンケート調査結果　（1）幸福度・満足度　1）個人が幸福を感じるとき

・世代に関わらず、個人に関わる設問で回答割合が高い傾向にあります。

問：あなたはどんな時に幸せだと感じますか。（複数回答）

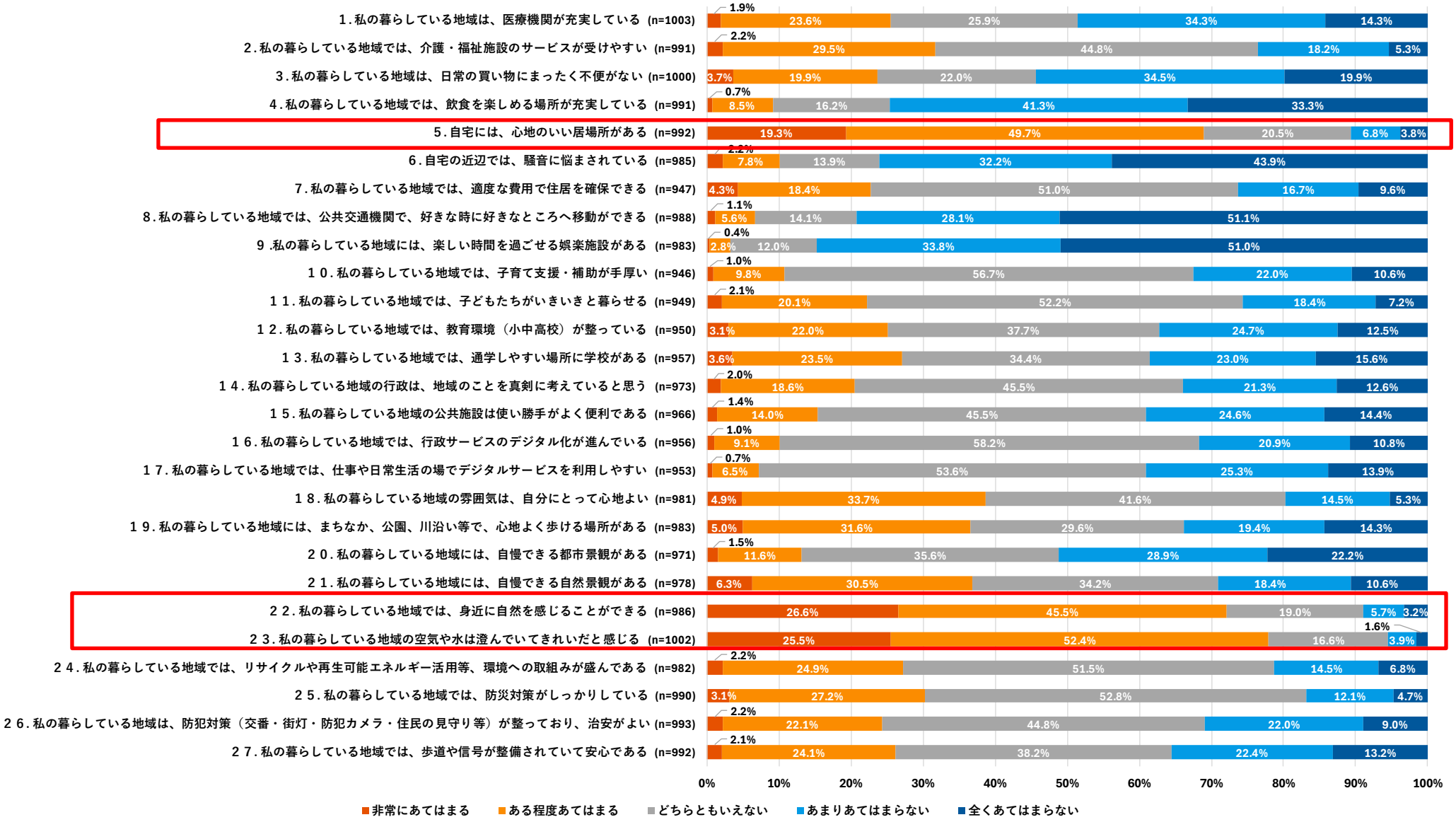


18～39歳：　99人
40～49歳：108人
50～59歳：132人
60～69歳：239人
70～79歳：308人
80歳以上：178人

●18歳以上アンケート調査結果　（1）幸福度・満足度　2）生活環境の満足度

・「自宅には、心地のいい居場所がある」、「私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」、「私の暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」で、あてはまると回答する人の割合が高く、いずれも70%を超えています。

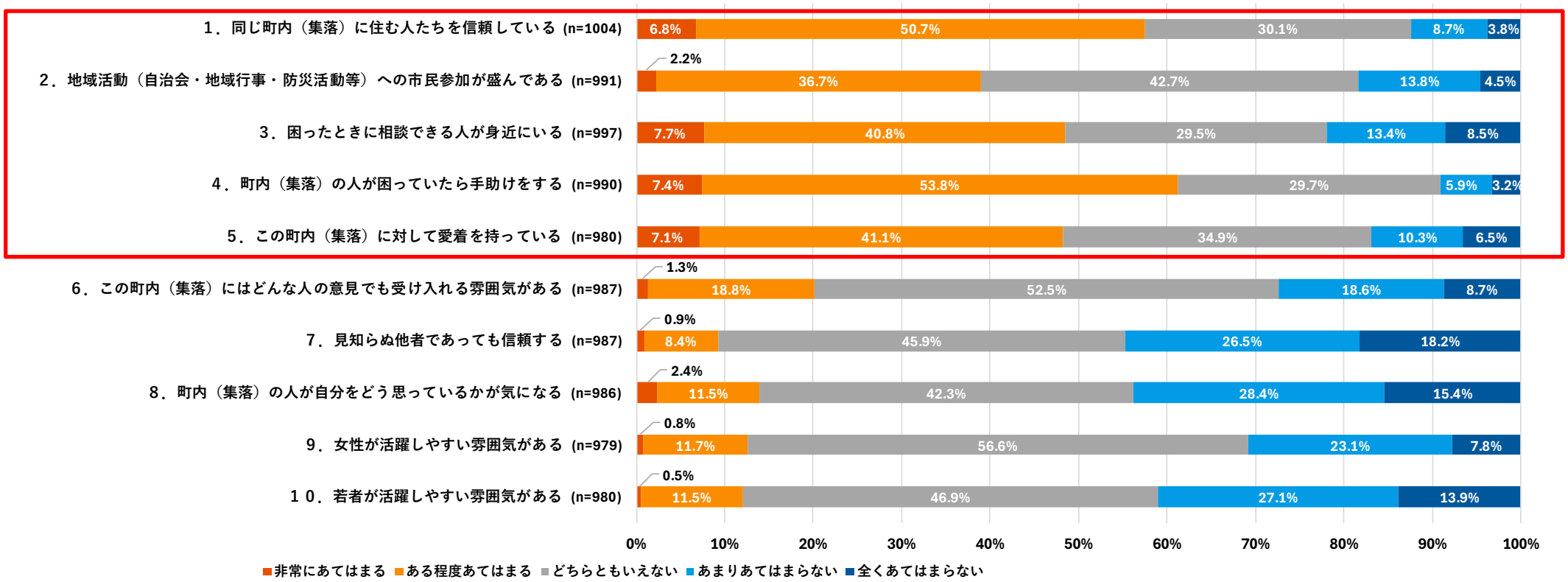
問：あなたの生活環境について、該当するものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（1）幸福度・満足度　3）地域の人間関係の満足度

・「同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している」、「地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである」、「困ったときに相談できる人が身近にいる」、「町内（集落）の人が困っていたら手助けをする」、「この町内（集落）に対して愛着を持っている」について、あてはまると回答する人の割合が比較的高くなっています。

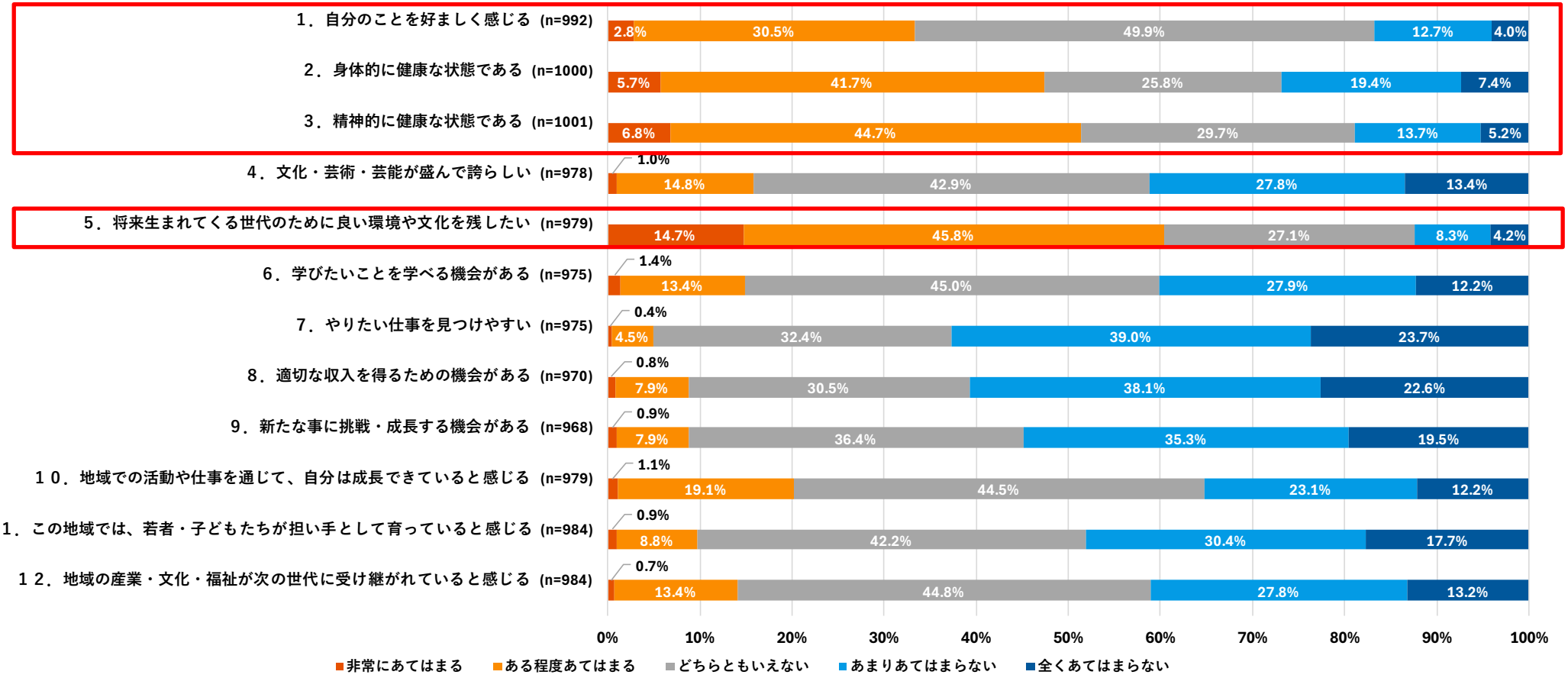
問：あなたの地域の人間関係について、該当するものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（1）幸福度・満足度　4）自分らしい生き方の満足度

・「将来生まれてくる世代のために良い環境や文化を残したい」が最もあてはまると回答した人の割合が高く、次いで「精神的に健康な状態である」「身体的に健康な状態である」「自分のことを好ましく感じる」の割合が高くなっています。

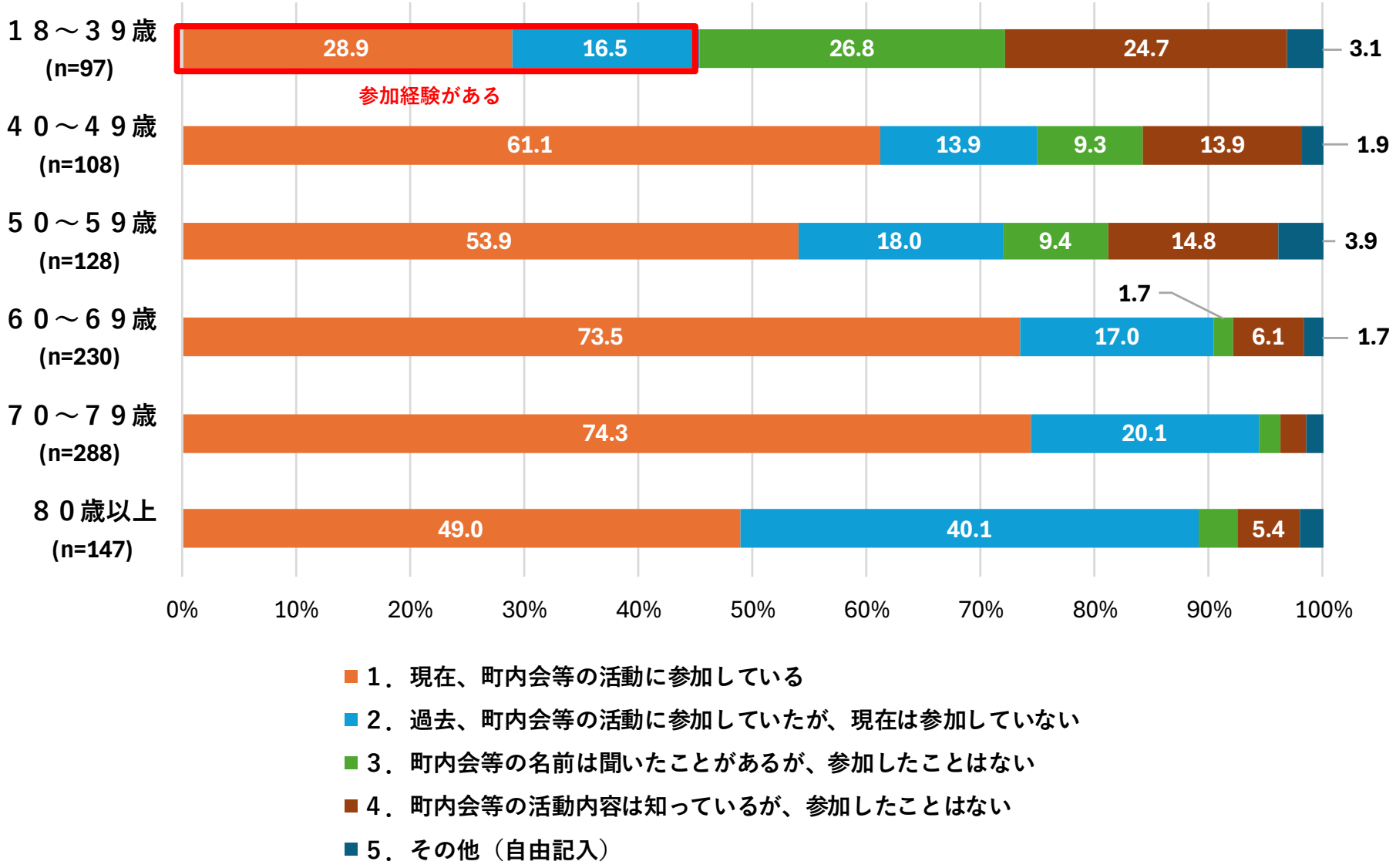
問：あなたの自分らしい生き方について、該当するものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（２）町内会等　１）参加実態

・世代が上がるほど、町内会等の活動への「参加経験がある」割合は増加し、70～79歳の層では約94%が「参加経験がある」と回答しています。
・18～39歳の層では、「町内会等の活動内容は知っているが、参加したことはない」と回答する割合が約45％を占めており、若年層における町内会等への参加実績が低いことが伺えます。

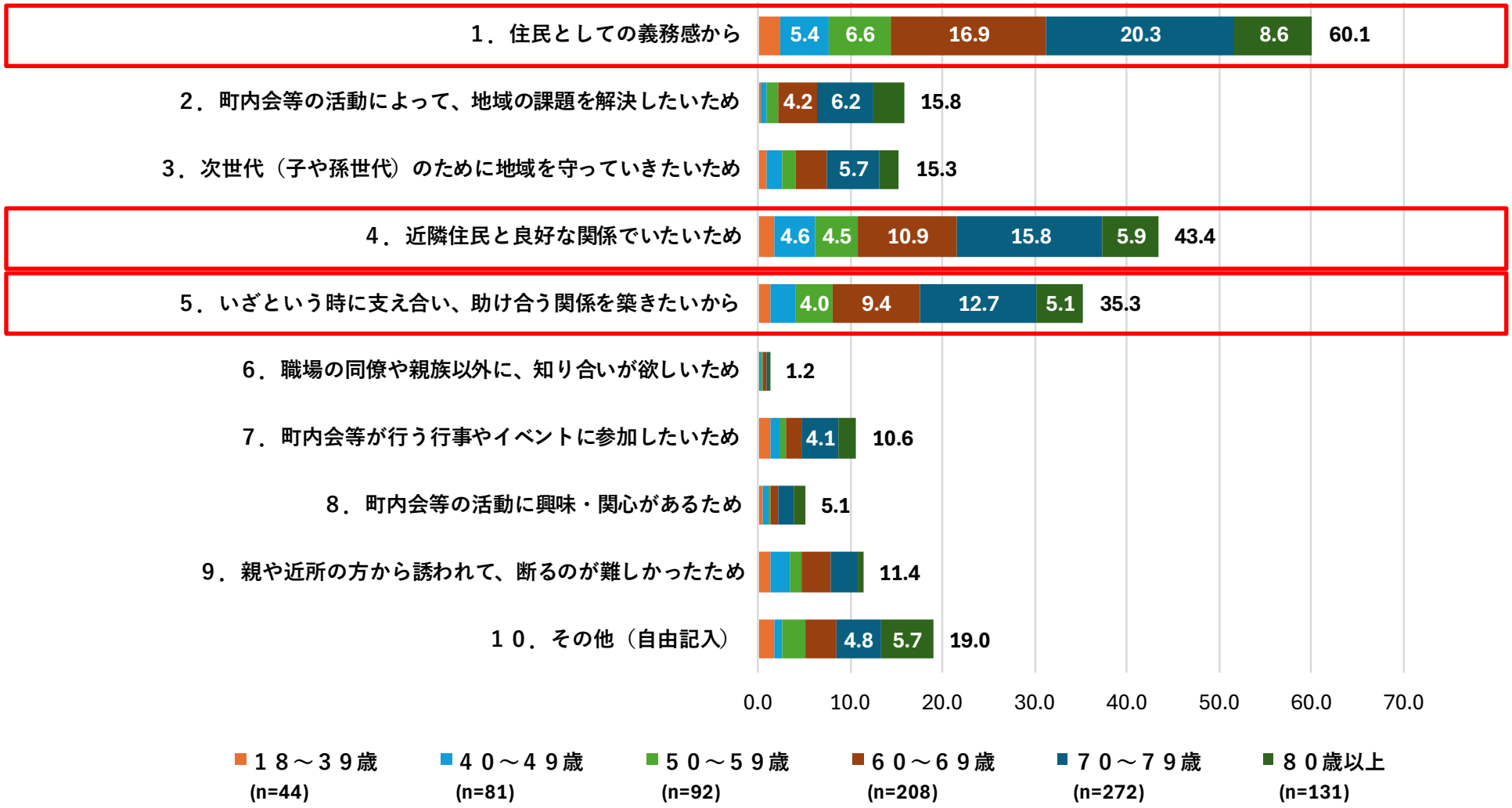
問：あなたの町内会等への参加状況について教えてください。（1つ選択）



●18歳以上アンケート調査結果　（２）町内会等　２）参加理由

・町内会等の活動への参加経験がある方の参加理由は、「住民としての義務感から」と回答する割合が約60％と最も高く、次いで「近隣住民と良好な関係でいたいため」の割合が高くなっています。
・「いざという時に支え合い、助け合う関係を築きたいから」の回答割合も一定程度あり、町内会等は地域の共助力を維持するための受け皿となっていることが推察されます。

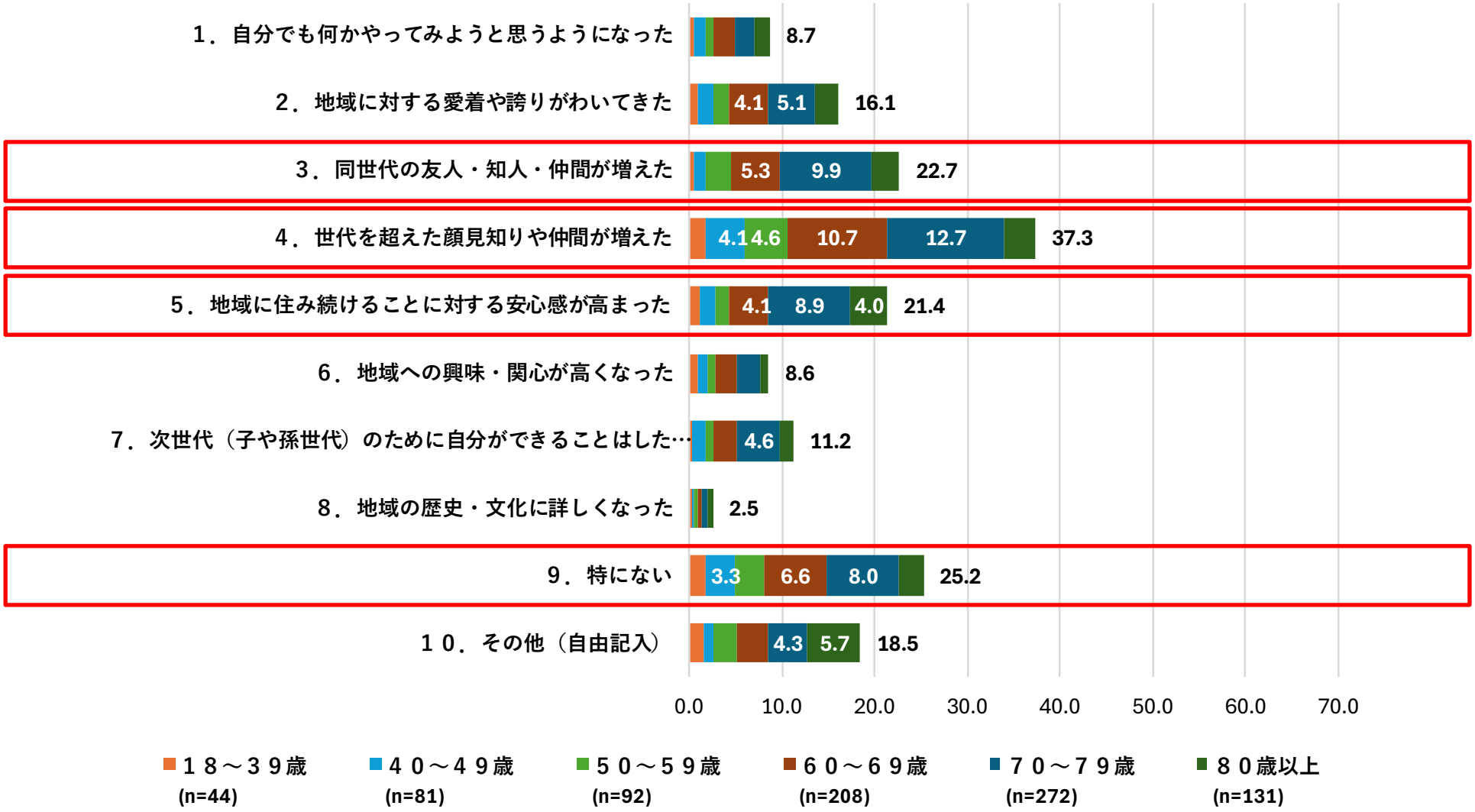
問：前設問で「１．現在、町内会等の活動に参加している」または「２．過去、町内会等の活動に参加していたが、現在は参加していない」と回答した方にお聞きします。 町内会等に参加した理由について教えてください。（３つまで選択可）



●18歳以上アンケート調査結果　（２）町内会等　３）参加して良かったこと

・町内会等の活動に参加して良かった理由は、「世代を超えた、顔見知りや仲間が増えた」と回答する割合が最も高く、次いで、「特にない」と回答する割合が高くなっています。
・3番目以降は、「同世代の友人・知人・仲間が増えた」、「地域に住み続けることに対する安心感が高まった」となっており、それぞれ約20%程度となっています。

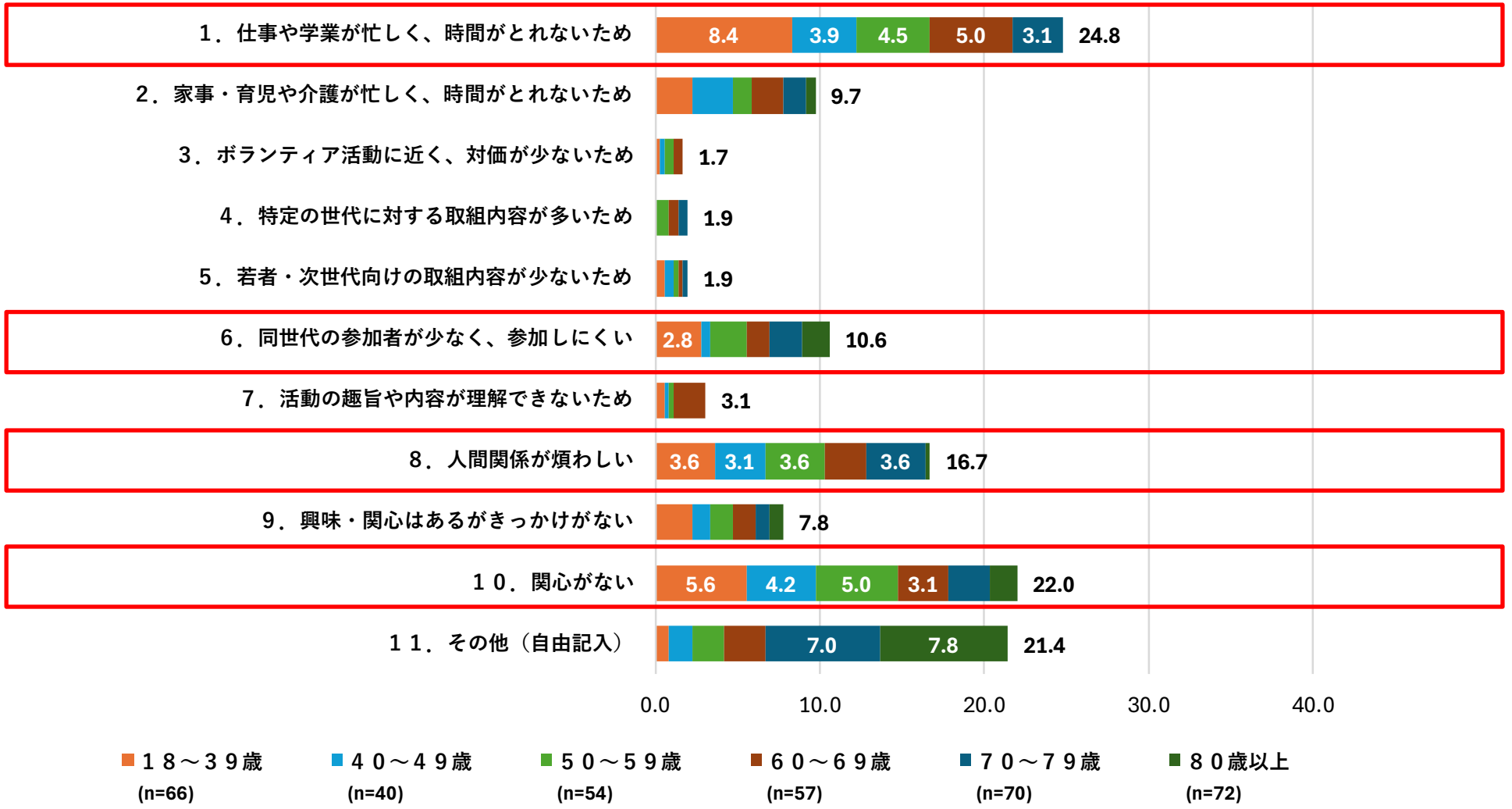
問：前設問で「１．現在、町内会等の活動に参加している」又は「２．過去、町内会等に参加していたが、現在は参加していない」と回答した方にお聞きします。町内会等に参加して良かったことについて教えてください。（〇は３つまで）



●18歳以上アンケート調査結果　（２）町内会等　４）不参加理由

・町内会等への不参加理由は、「仕事や学業が忙しく、時間がとれないため」と回答する割合が最も高く、次いで、「関心がない」、「その他」、「人間関係が煩わしい」となっています。
・若い年代では、「関心がない」、「人間関係が煩わしい」「同世代の参加者が少なく、参加しにくい」と回答する割合も一定数存在します。

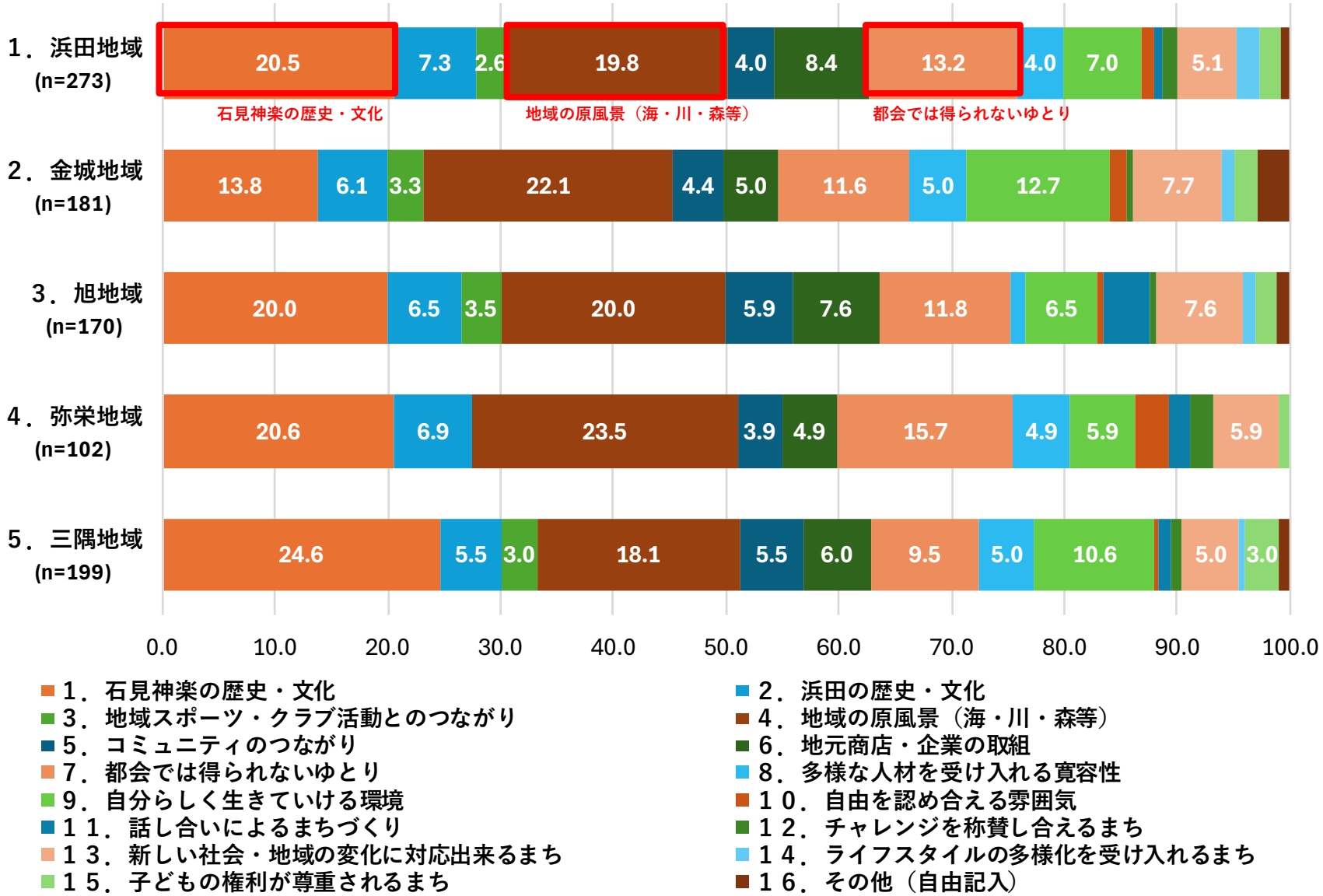
問：前設問で「２．過去、町内会等に参加していたが、現在は参加していない」、「３．町内会等の名前は聞いたことがあるが、参加したことはない」又は「４．町内会等の活動内容は知っているが、参加したことはない」と回答した方にお伺いします。町内会等に参加していない理由について教えてください。（〇は３つまで）



●18歳以上アンケート調査結果　（３）浜田らしさ　１）価値観　①地区別

・地区に関わらず、「石見神楽の歴史・文化」・「地域の原風景（海・川・森等）」・「都会では得られないゆとり」の回答割合が高くなっています。

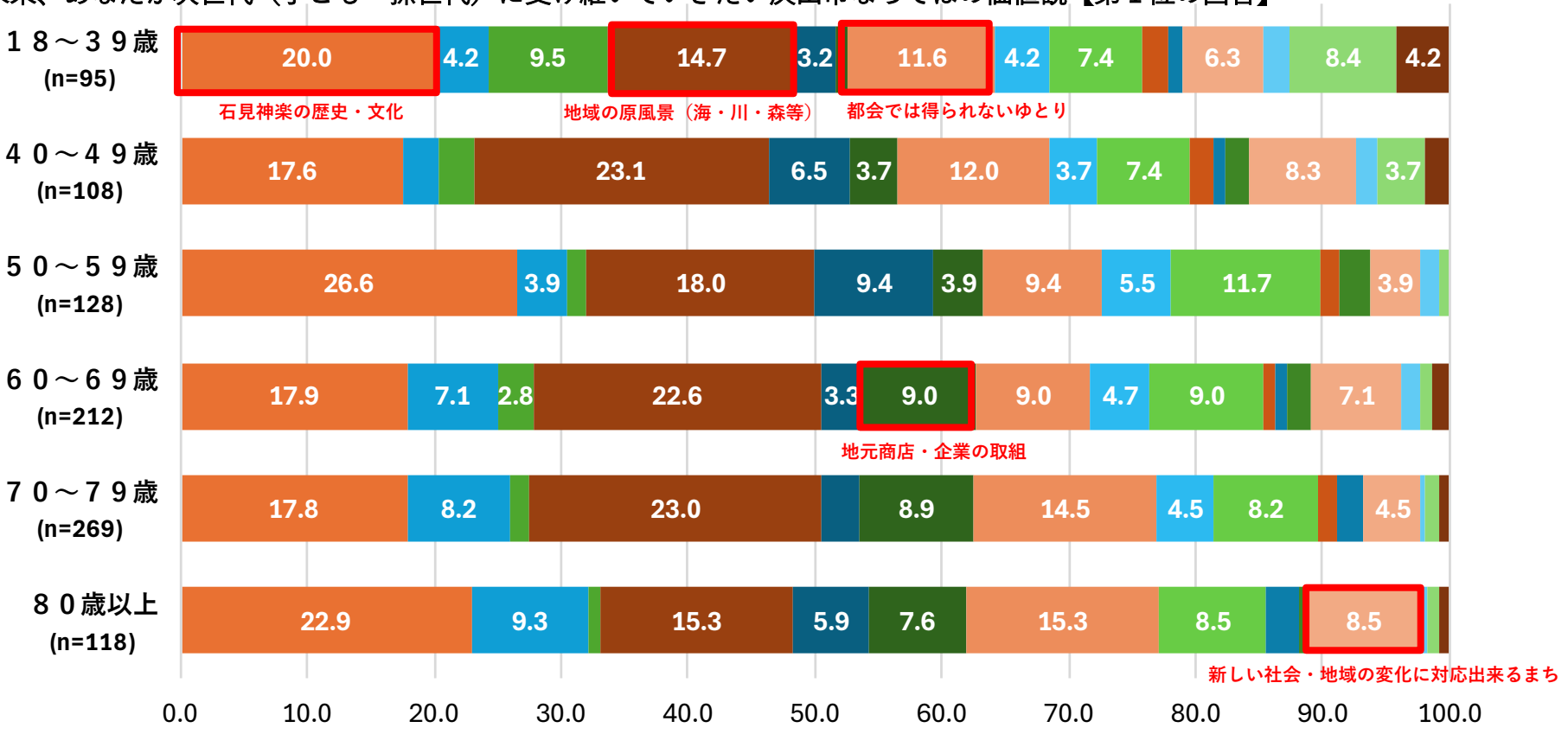
問：20 年後の未来、あなたが次世代（子ども・孫世代）に受け継いでいきたい浜田市ならではの価値観【第１位の回答】



●18歳以上アンケート調査結果　（３）浜田らしさ　１）価値観　②年齢別

・全世代で「石見神楽の歴史・文化」・「地域の原風景（海・川・森等）」・「都会では得られないゆとり」の回答割合が高くなっています。
・60～69歳、70～79歳、80歳以上の世代では、「地元商店・企業の取組」が割合がやや高くなっています。まだ80歳以上では、「新しい社会・地域の変化に対応出来るまち」の回答割合が全世代の中で高くなっています。

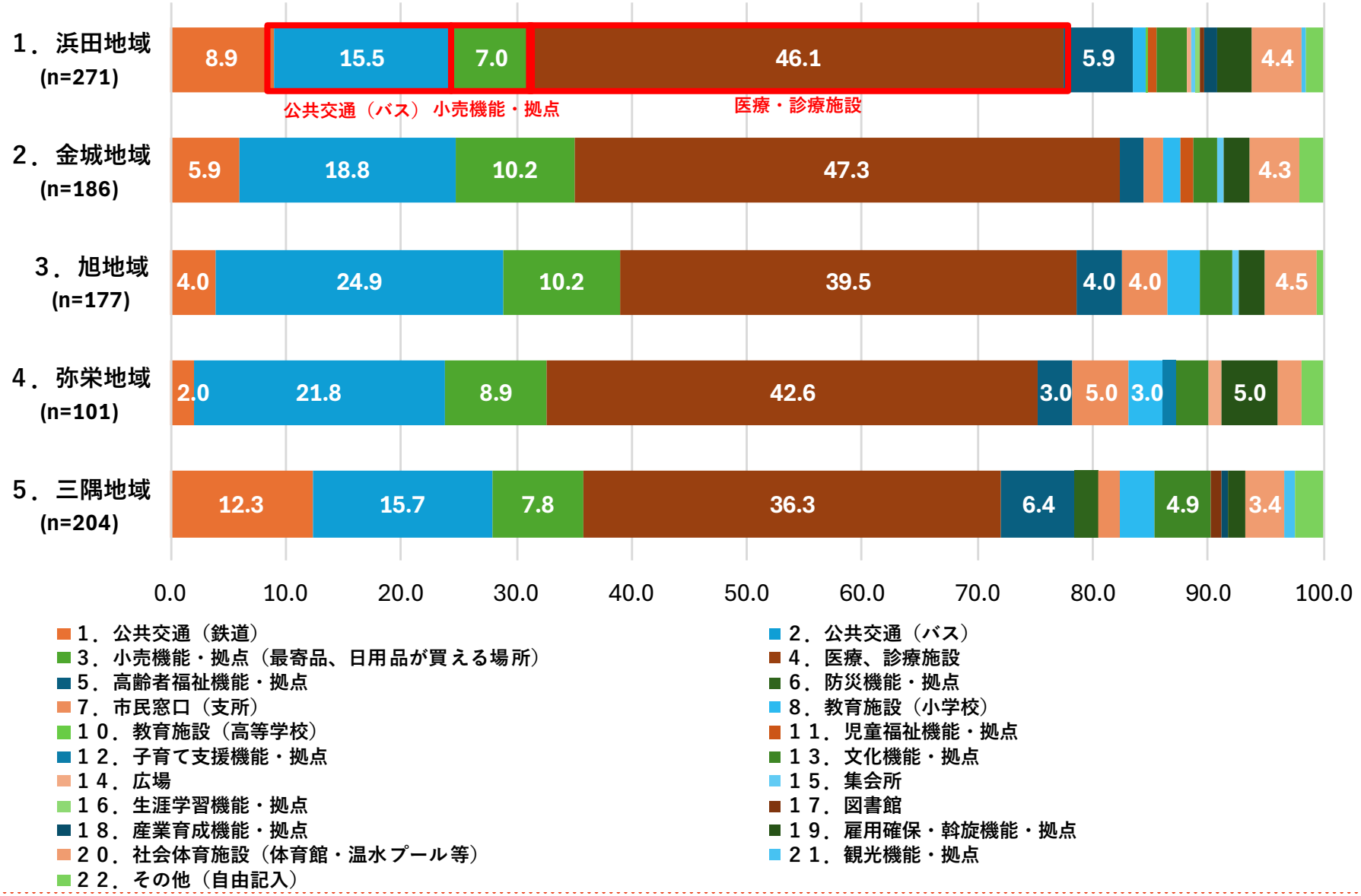
問：20 年後の未来、あなたが次世代（子ども・孫世代）に受け継いでいきたい浜田市ならではの価値観【第１位の回答】



●18歳以上アンケート調査結果　（3）浜田らしさ　2）暮らしの機能　①地区別

・地区に関わらず、「医療、診療施設」の割合が最も高くなっており、他には「公共交通（バス）」「小売機能・拠点」の回答割合が比較的高くなっています。
・旭地区においては、「公共交通バス」は約25%と全地域の中で突出して高く、また金城地域と旭地域では「小売機能・拠点」が高くなっています。

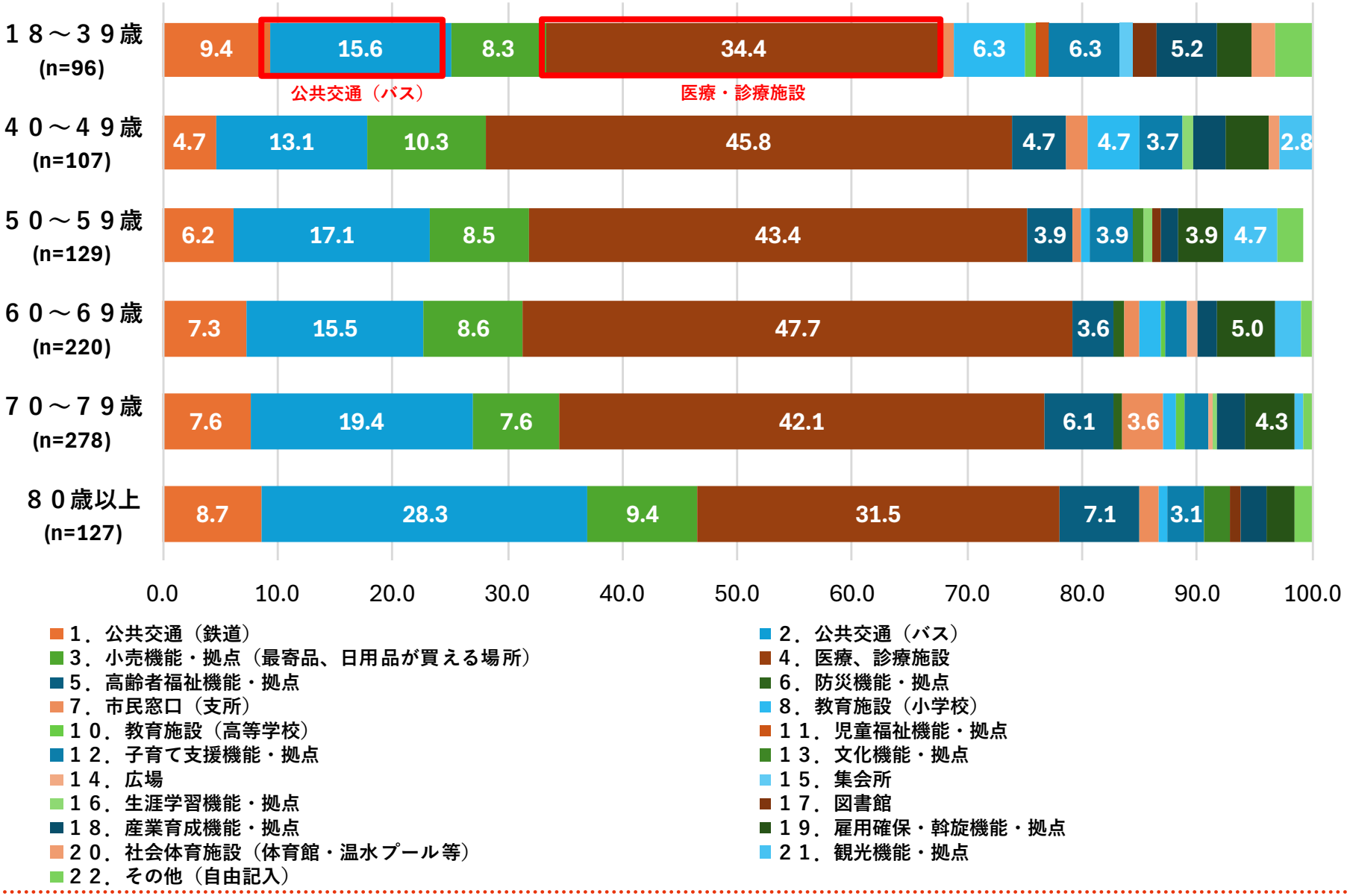
問：20 年後の未来、あなたが浜田市で残していくべきまたは、強化すべきと考える機能・拠点【第１位の回答】



●18歳以上アンケート調査結果　（3）浜田らしさ　2）暮らしの機能　②年齢別

・世代に関わらず、「医療、診療施設」の回答割合が突出して高く、「公共交通（バス）」の割合も比較的高くなっています。
・80歳以上では、特に「公共交通（バス）」の割合が約30%と突出しています。

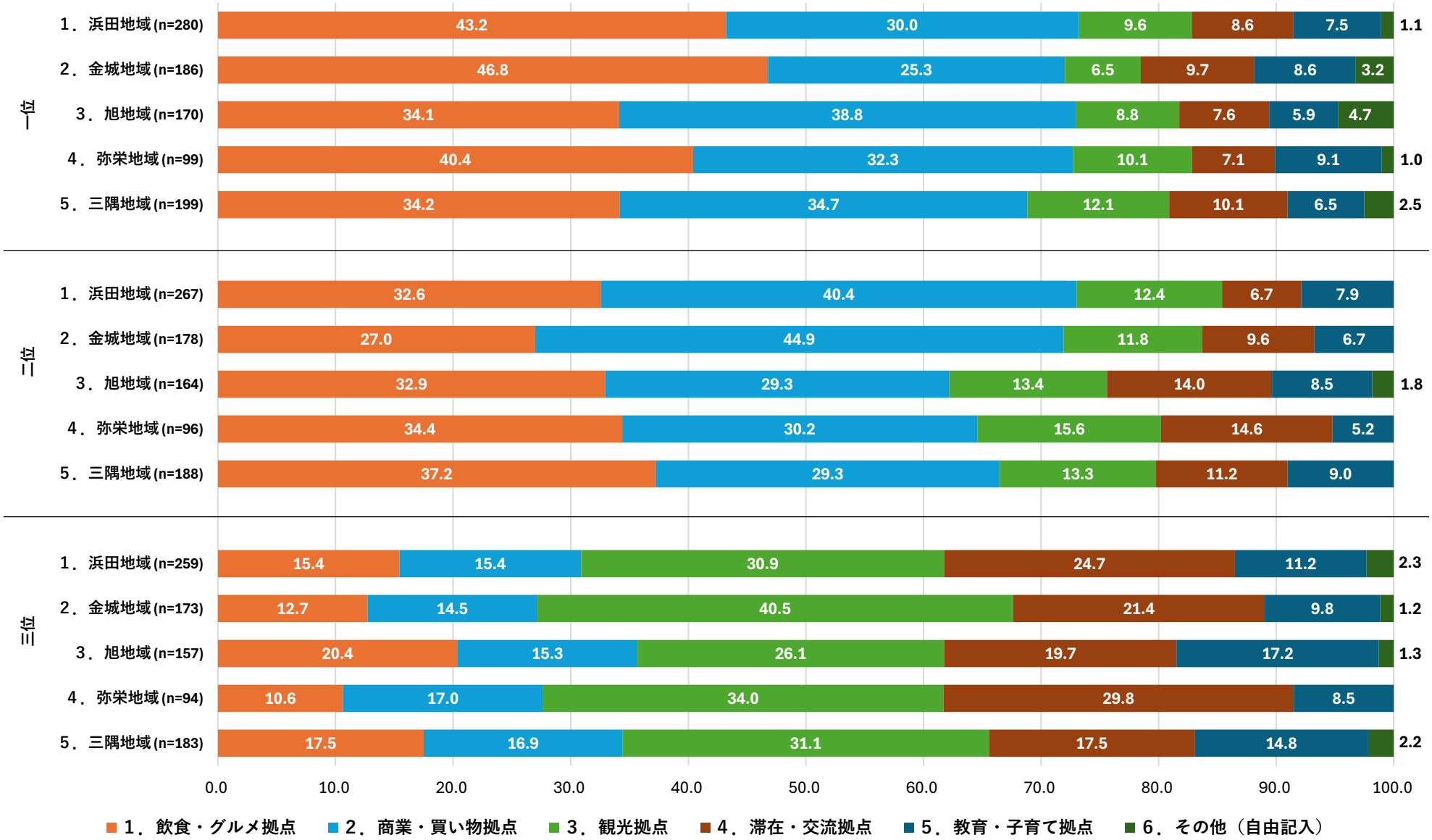
問：20 年後の未来、あなたが浜田市で残していくべきまたは、強化すべきと考える機能・拠点【第１位の回答】



●18歳以上アンケート調査結果　（４）浜田駅周辺エリアに期待する役割　①地区別（まとめ）

・一位と二位では、いずれの地区でも「飲食・グルメ拠点」と「商業・買い物拠点」の割合が高く、両者で約60%以上を占めています。
・三位では、いずれの地区でも「観光拠点」の割合が高く、次いで「滞在・交流拠点」となっています。

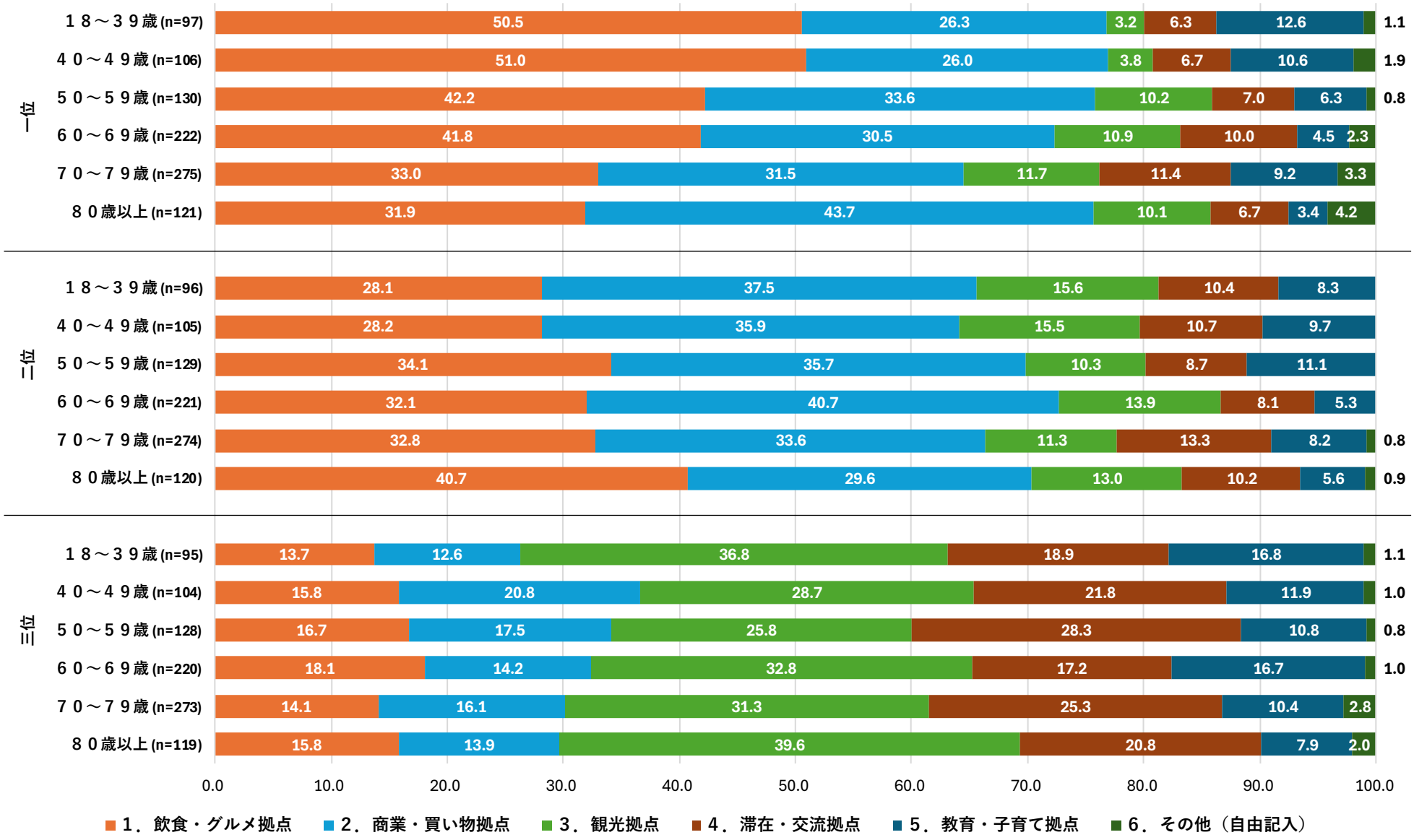
問：浜田駅周辺エリアについて、期待する役割を特に大切と思うものを、1位～3位の順位を付けて選んでください。【第１位～第３位の回答】



●18歳以上アンケート調査結果　（５）浜田駅周辺エリアに期待する役割　②年齢別（まとめ）

・一位と二位では、いずれの年代でも「飲食・グルメ拠点」と「商業・買い物拠点」の割合が高く、両者で約60%以上を占めています。
・三位では、いずれの年代でも「観光拠点」の割合が高く、次いで「滞在・交流拠点」となっています。

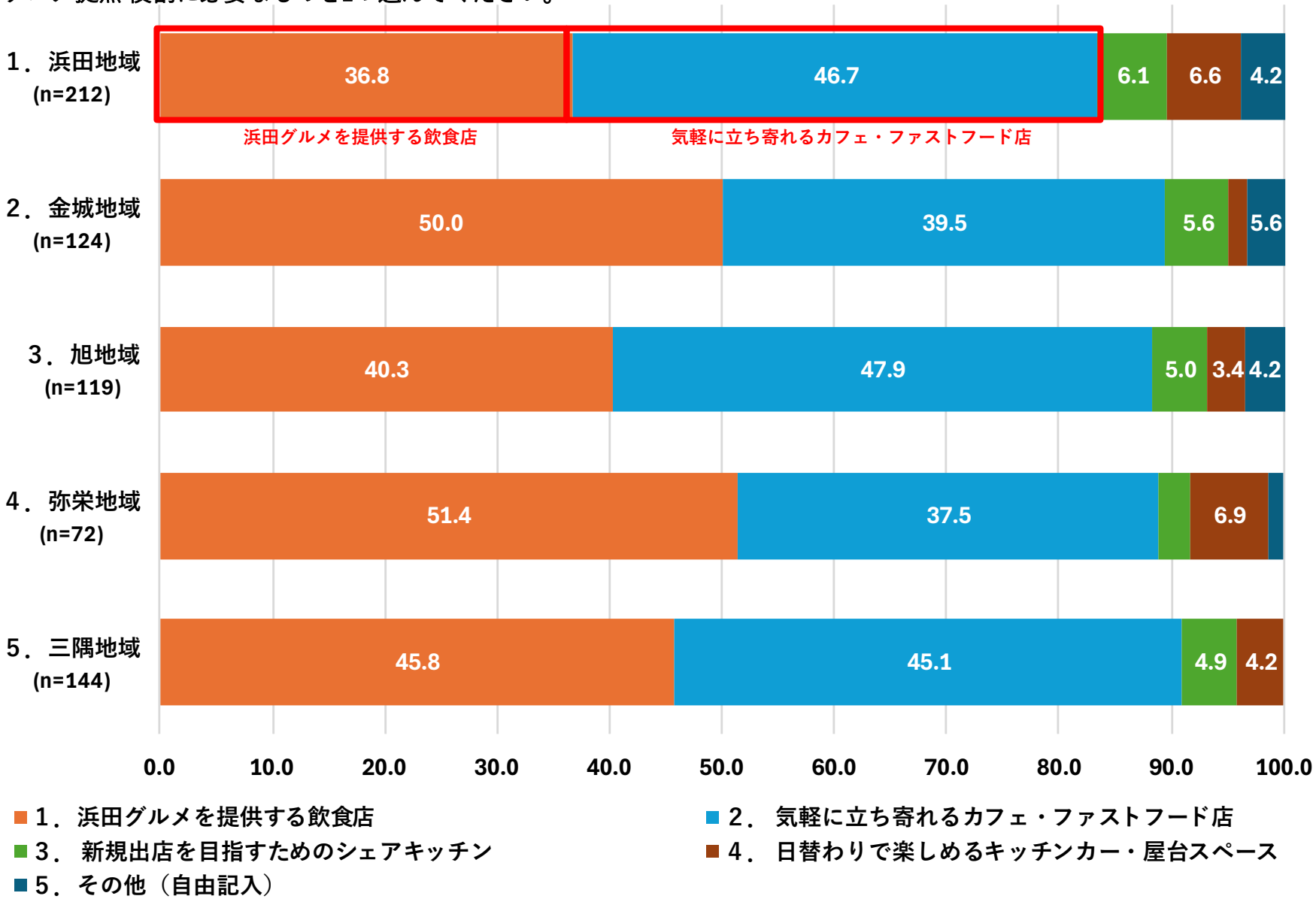
問：浜田駅周辺エリアについて、期待する役割を特に大切と思うものを、1位～3位の順位を付けて選んでください。【第１位～第３位の回答】



●18歳以上アンケート調査結果　（５）飲食・グルメ拠点に必要なもの　①地区別

・地区に関わらず、「気軽に立ち寄れるカフェ・ファストフード店」、「浜田グルメを提供する飲食店」の割合が高くなっています。

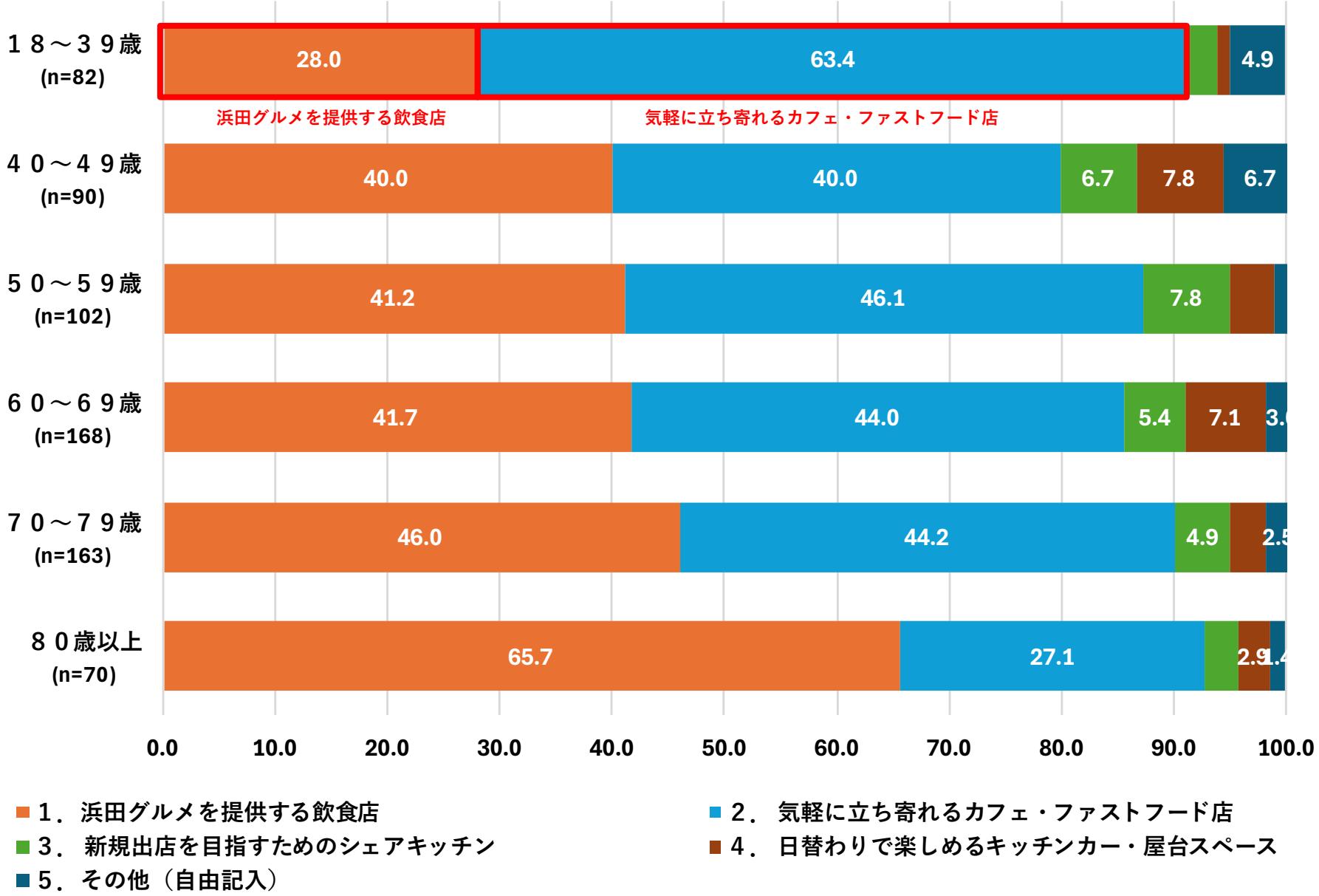
問：１．飲食・グルメ拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（５）飲食・グルメ拠点に必要なもの　②年齢別

・年齢に関わらず、「気軽に立ち寄れるカフェ・ファストフード店」、「浜田グルメを提供する飲食店」の割合が高くなっています。前者は特に18~39歳の年代、後者は特に80歳以上の年代で割合が高くなっています。

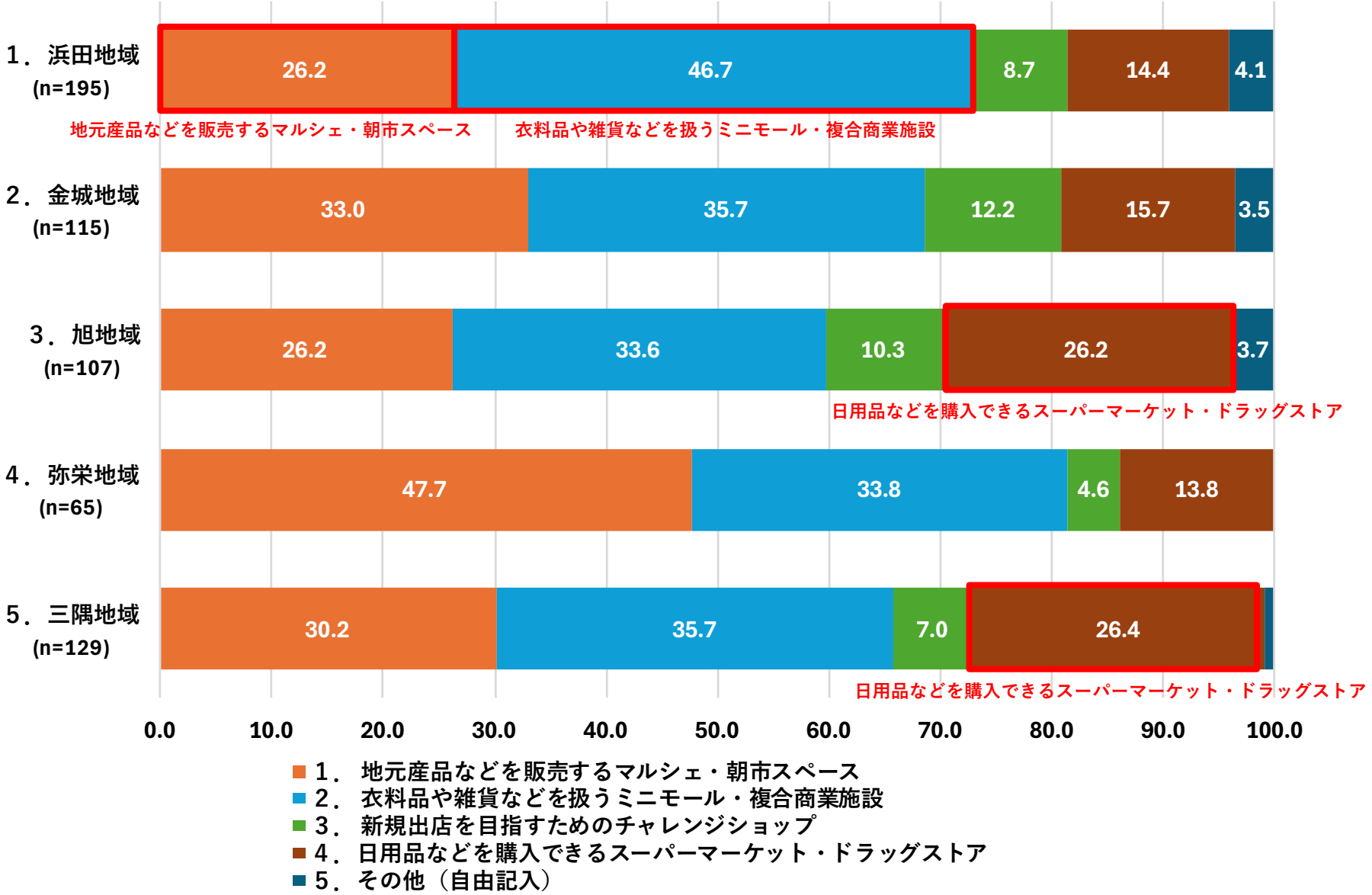
問：１．飲食・グルメ拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（6）商業・買い物拠点に必要なもの　①地区別

・地区に関わらず、「地元産品などを販売するマルシェ・朝市スペース」、「衣料品や雑貨などを扱うミニモール・複合商業施設」の割合が高くなっています。
・旭地域、三隅地域では「日用品などを購入できるスーパーマーケット・ドラッグストア」の割合が高くなっています。

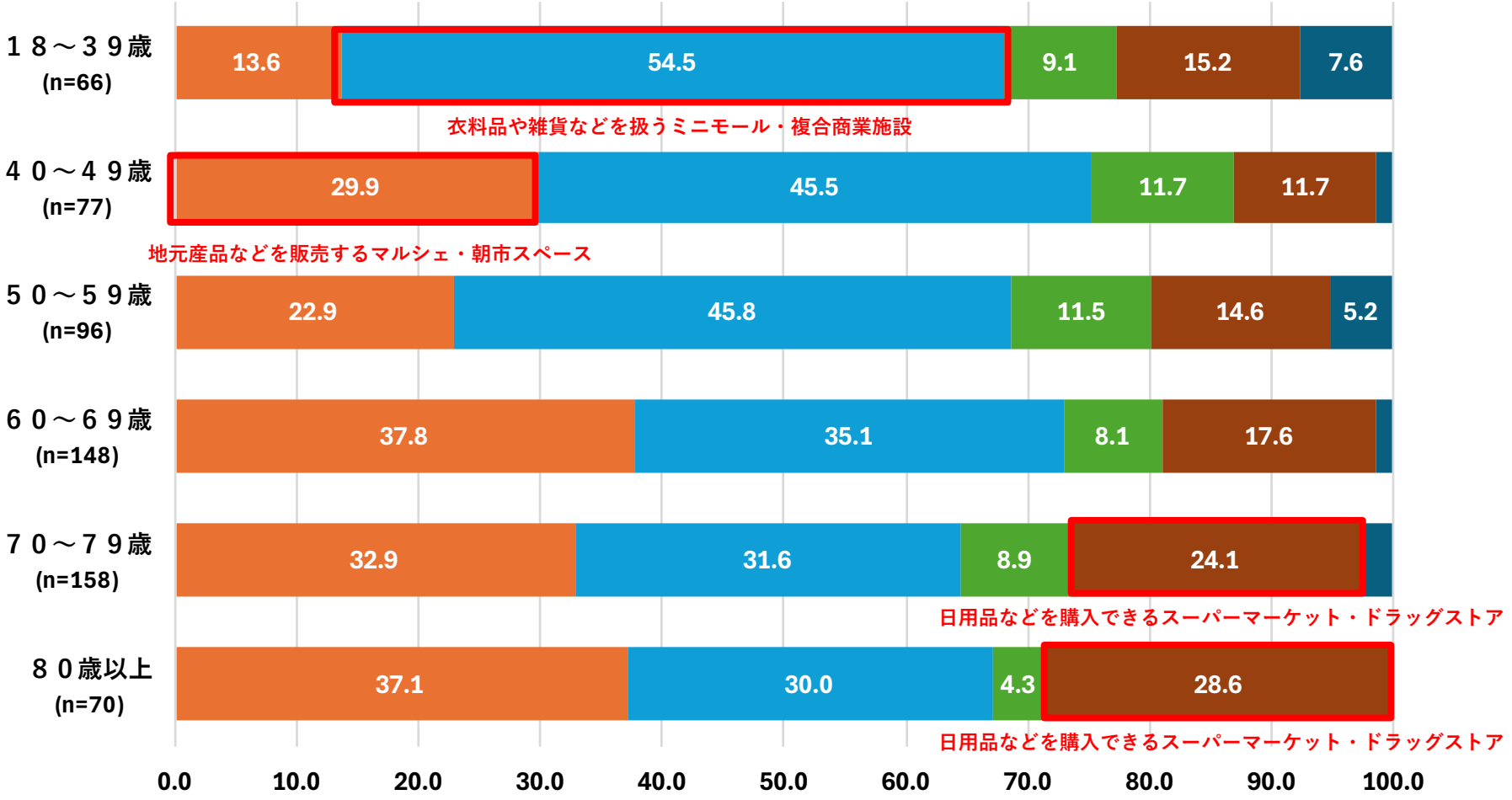
問：2．商業・買い物拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（6）商業・買い物拠点に必要なもの　②年齢別

・年齢に関わらず、「衣料品や雑貨などを扱うミニモール・複合商業施設」の割合が高くなっています。
・40歳以上の世代では、「地元産品などを販売するマルシェ・朝市スペース」の割合が高くなっています。
・70～79歳、80歳以上では「日用品などを購入できるスーパーマーケット・ドラッグストア」の割合が比較的高くなっています。

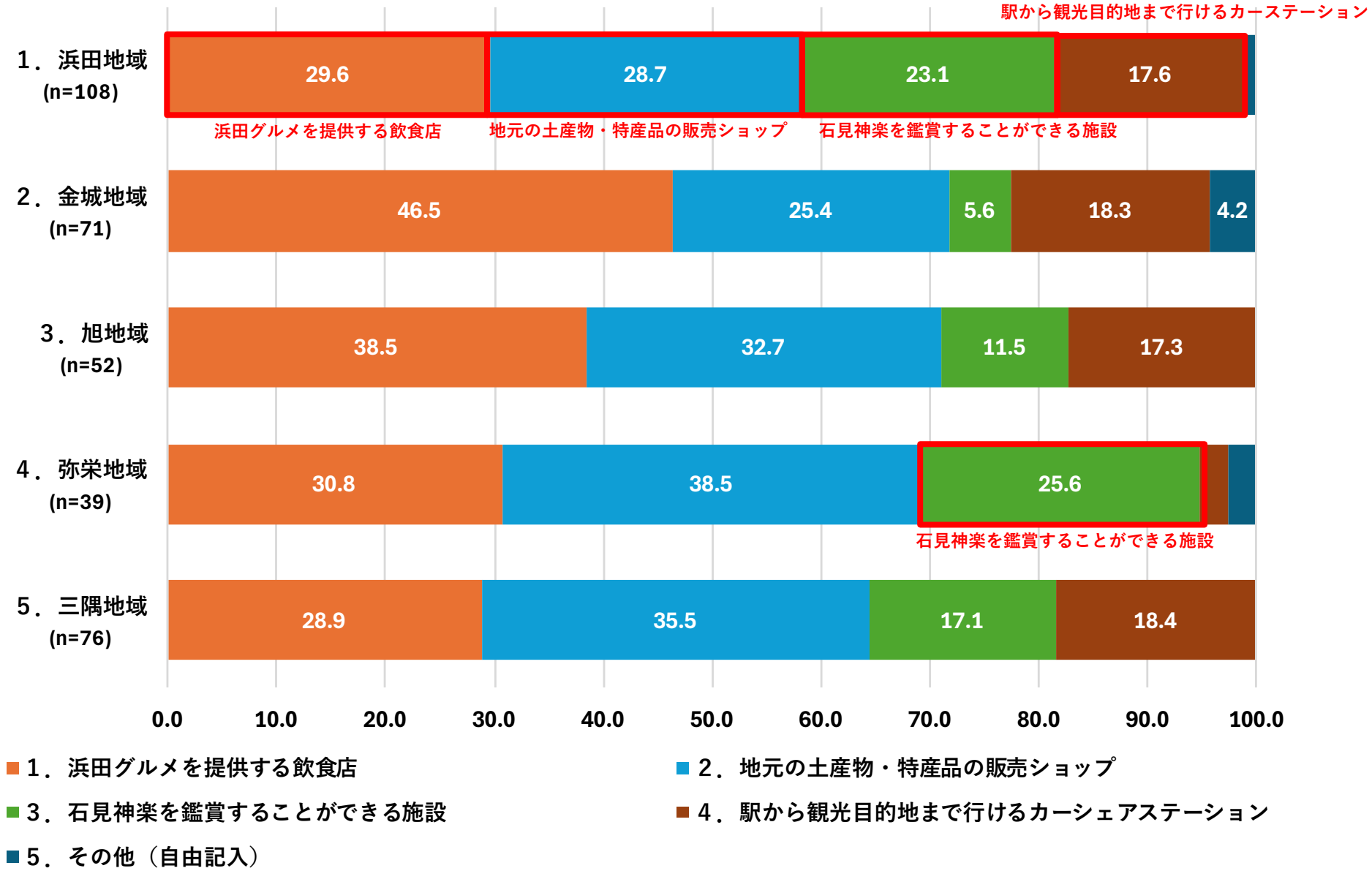
問：2．商業・買い物拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（7）観光拠点に必要なもの　①地区別

・地区に関わらず、「浜田グルメを提供する飲食店」「地元の土産物・特産品の販売ショップ」の割合が高くなっています。
・浜田地域、弥栄地域では、「石見神楽を鑑賞することができる施設」の割合が比較的高くなっています。
・弥栄地域を除き、「駅から観光目的地まで行けるカーステーション」には20%弱の割合となっています。

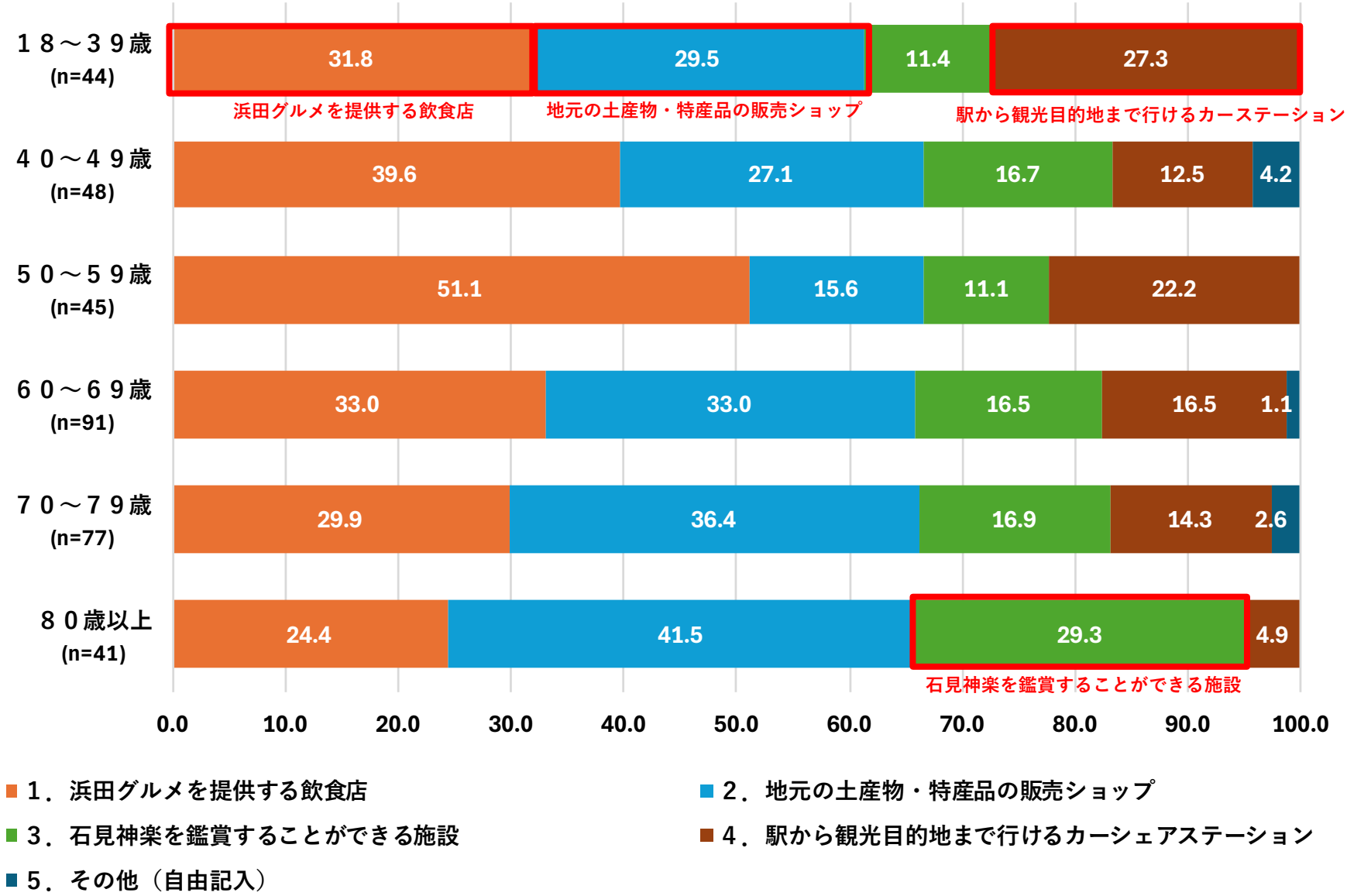
問：3．観光拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（７）観光拠点に必要なもの　②年齢別

・年齢に関わらず、「浜田グルメを提供する飲食店」「地元の土産物・特産品の販売ショップ」の割合が高くなっています。
・80歳以上の年代を除き、「駅から観光目的地まで行けるカーステーション」には15~25%程度の割合があります。
・80歳以上では「石見神楽を鑑賞することができる施設」の割合が約30%と全年代の中で最も高くなっています。

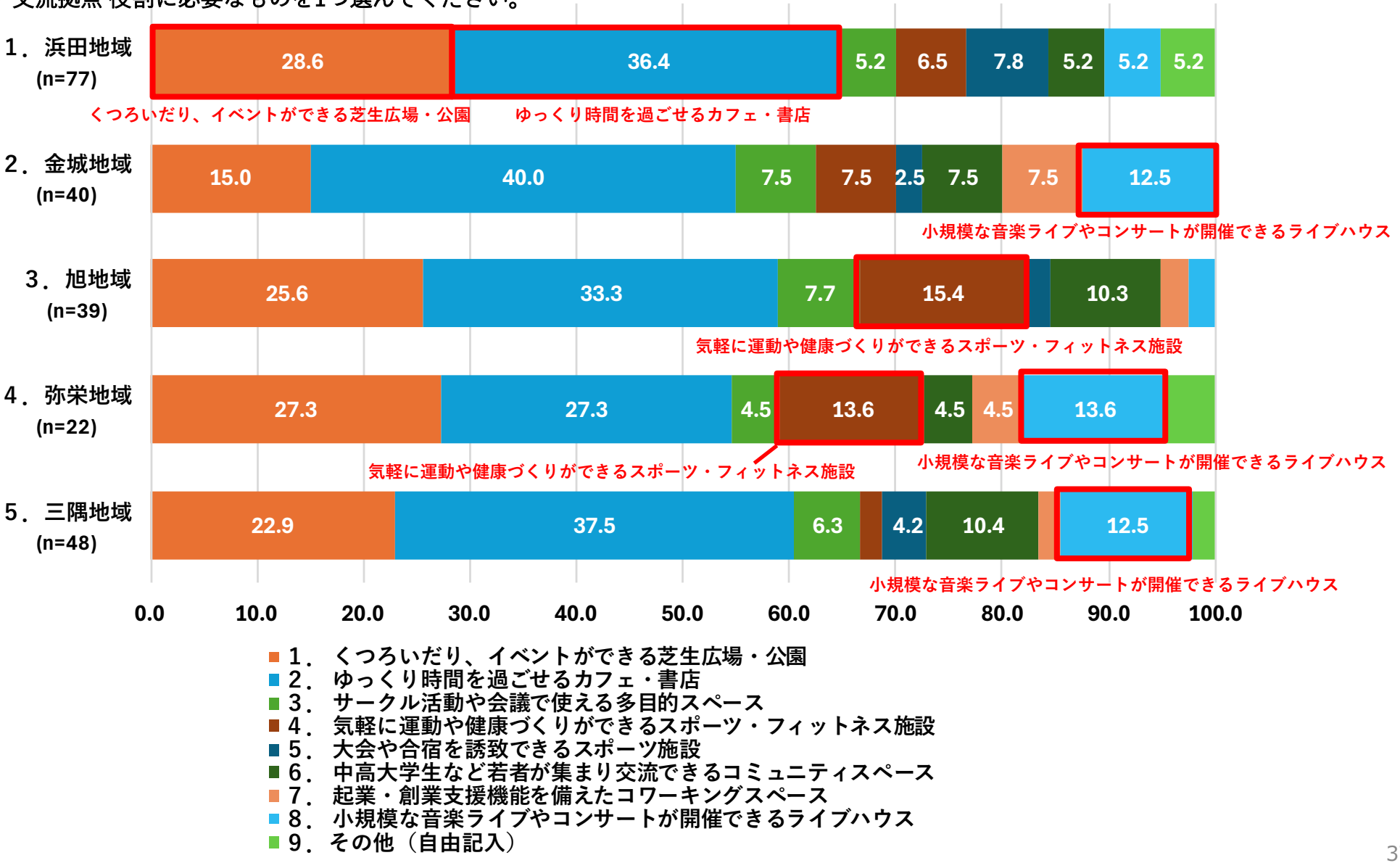
問：３．観光拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（8）滞在・交流拠点に必要なもの　①地区別

・地区に関わらず、「くつろいだり、イベントができる芝生広場・公園」「ゆっくり時間を過ごせるカフェ・書店」の割合が高くなっています。
・金城地域、弥栄地域、三隅地域で「小規模な音楽ライブやコンサートが開催できるライブハウス」、旭地域と弥栄地域で「気軽に運動や健康づくりができるスポーツ・フィットネス施設」の割合が高くなっています。

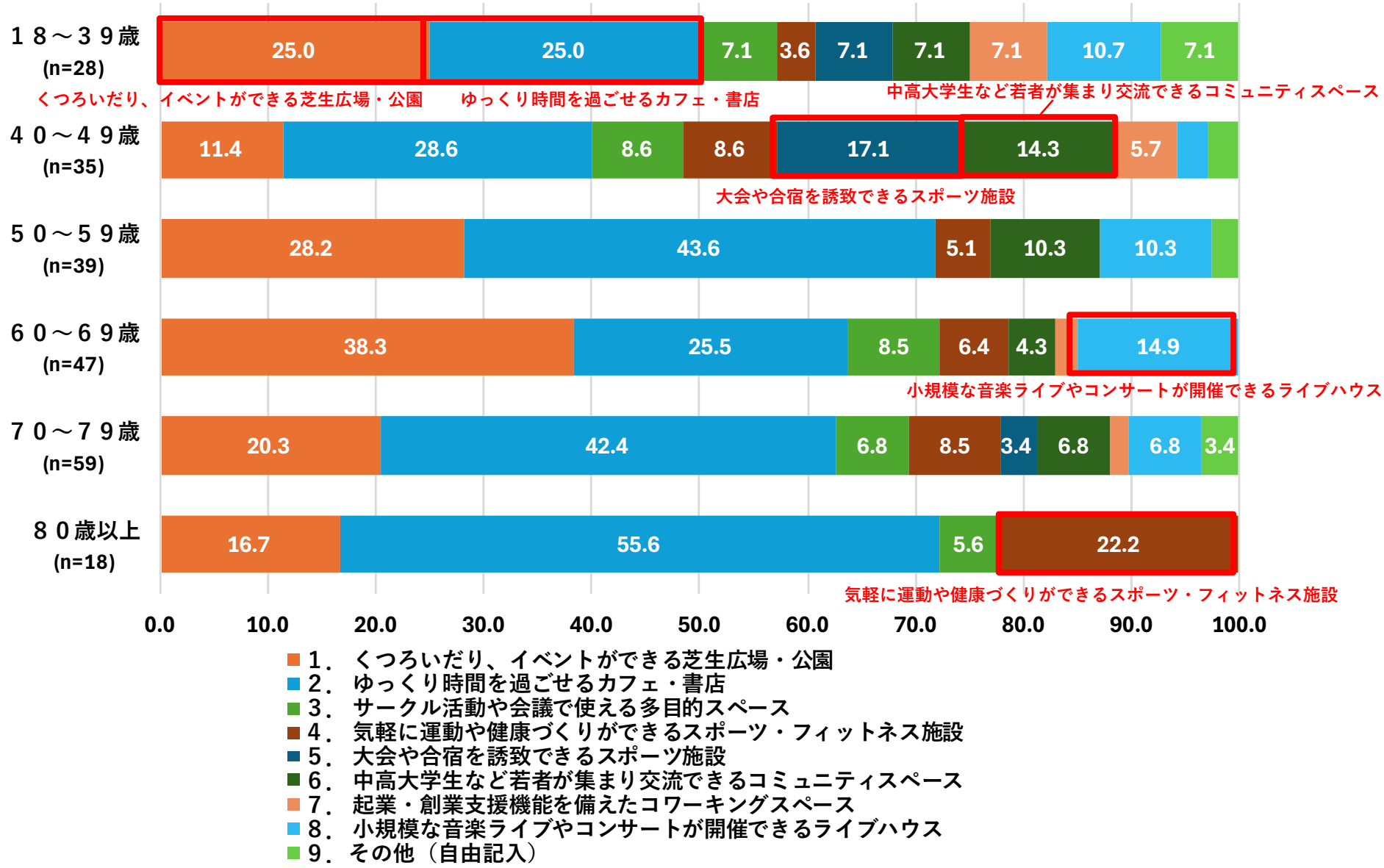
問：4．滞在・交流拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（8）滞在・交流拠点に必要なもの　②年齢別

・年齢に関わらず、「ゆっくり時間を過ごせるカフェ・書店」、「くつろいだり、イベントができる芝生広場・公園」の割合が高くなっています。
・40~49歳で「大会や合宿を誘致できるスポーツ施設」、60~69歳で「小規模な音楽ライブやコンサートが開催できるライブハウス」、80歳以上で「気軽に運動や健康づくりができるスポーツ・フィットネス施設」の割合が比較的高くなっています。

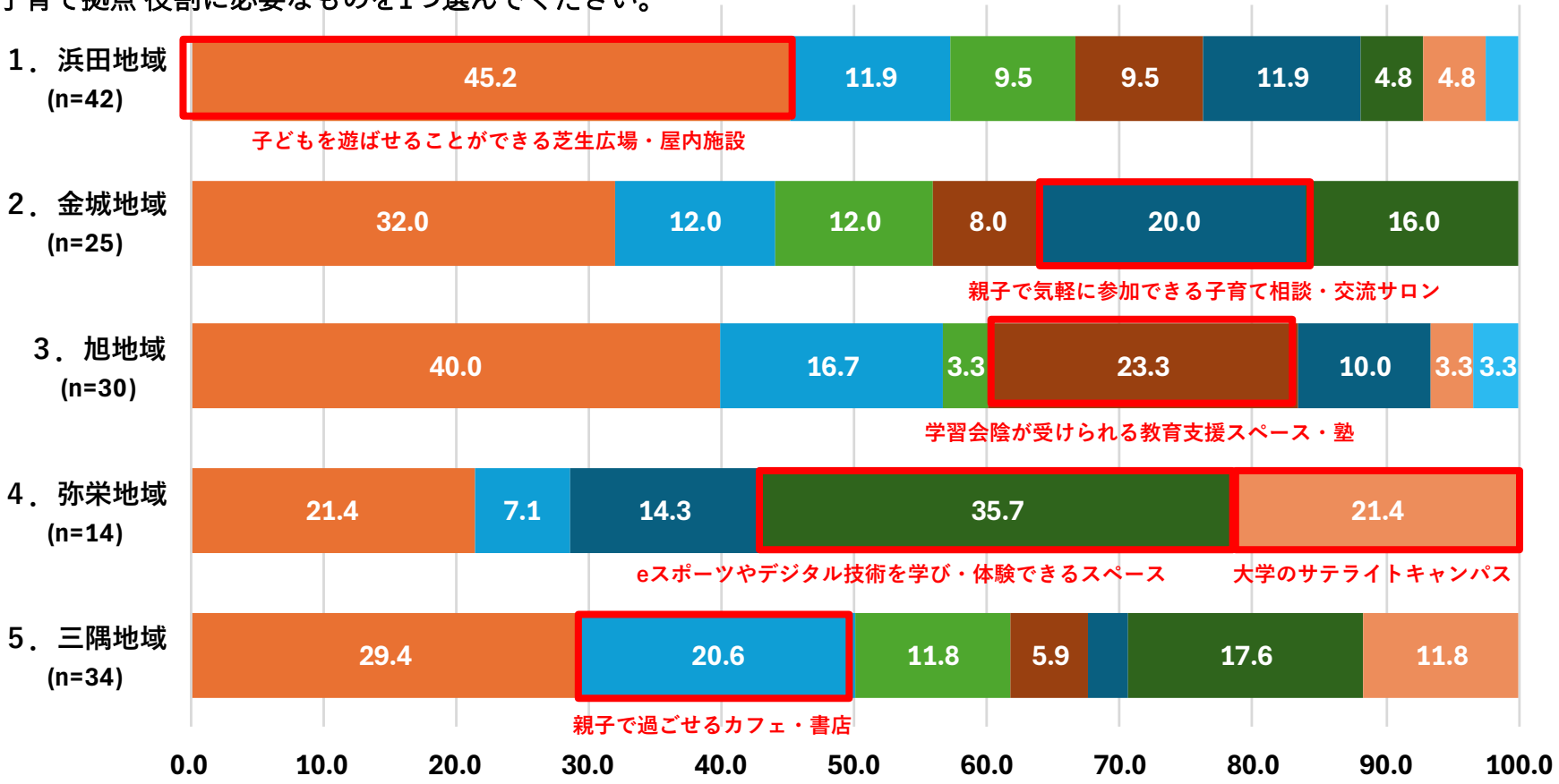
問：4．滞在・交流拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



●18歳以上アンケート調査結果　（9）教育・子育て拠点に必要なもの　①地区別

・地区に関わらず、「子どもを遊ばせることができる芝生広場・屋内施設」の割合が高くなっています。
・金城地域では「親子で気軽に参加できる子育て相談・交流サロン」、旭地域では「学習支援が受けられる教育支援スペース・塾」、弥栄地域では「eスポーツやデジタル技術を学び・体験できるスペース」「大学のサテライトキャンパス」、三隅地域では「親子で過ごせるカフェ・書店」の割合が比較的高く、地区ごとの特色が見られます。

問：5．教育・子育て拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。

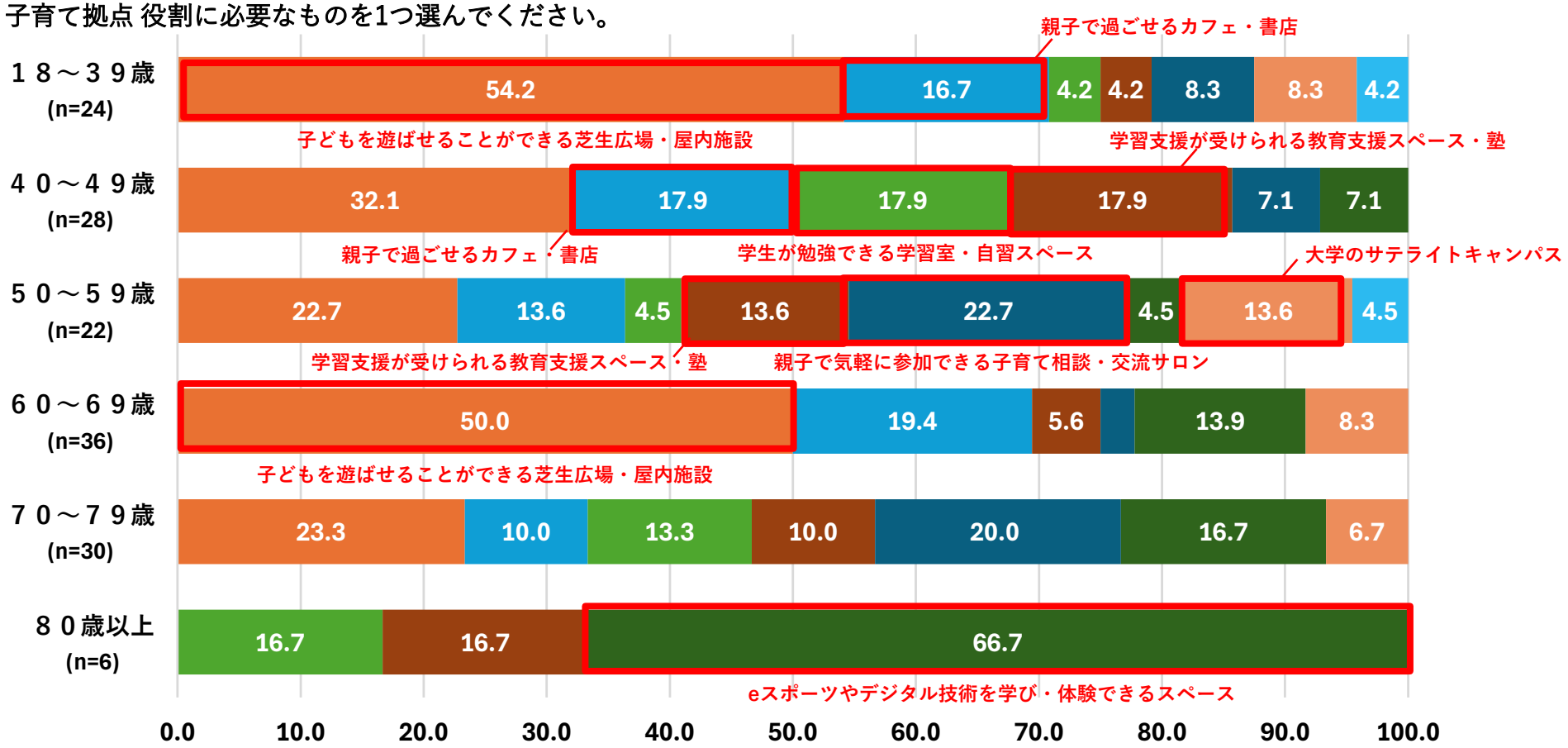


1．子どもを遊ばせることができる芝生広場・屋内施設
2．親子で過ごせるカフェ・書店
3．学生が勉強できる学習室・自習スペース
4．学習支援が受けられる教育支援スペース・塾
5．親子で気軽に参加できる子育て相談・交流サロン
6．eスポーツやデジタル技術を学び・体験できるスペース
7．大学のサテライトキャンパス（都会地などにあるメインキャンパス以外で授業などが受けられる教育研究拠点）
8．その他（自由記入）

●18歳以上アンケート調査結果　（9）教育・子育て拠点に必要なもの　②年齢別

・18～39歳と60~69歳の世代で「子どもを遊ばせることができる芝生広場・屋内施設」、40~49歳で「学生が勉強できる学習室・自習スペース」「学習支援が受けられる教育支援スペース・塾」、50~59歳で「親子で気軽に参加できる子育て相談・交流サロン」「大学のサテライトキャンパス」、80歳以上では「eスポーツやデジタル技術を学び・体験できるスペース」の割合が高くなっています。

問：5．教育・子育て拠点 役割に必要なものを1つ選んでください。



1．子どもを遊ばせることができる芝生広場・屋内施設
2．親子で過ごせるカフェ・書店
3．学生が勉強できる学習室・自習スペース
4．学習支援が受けられる教育支援スペース・塾
5．親子で気軽に参加できる子育て相談・交流サロン
6．eスポーツやデジタル技術を学び・体験できるスペース
7．大学のサテライトキャンパス（都会地などにあるメインキャンパス以外で授業などが受けられる教育研究拠点）
8．その他（自由記入）

●18歳以上アンケート調査結果　（１０）今後必要な取り組み

・浜田市の20年後を見据えた上で、「子育て支援」が必要と回答する割合が約21％と最も高く、次いで、「医療」、「関係人口・移住定住」となっています。

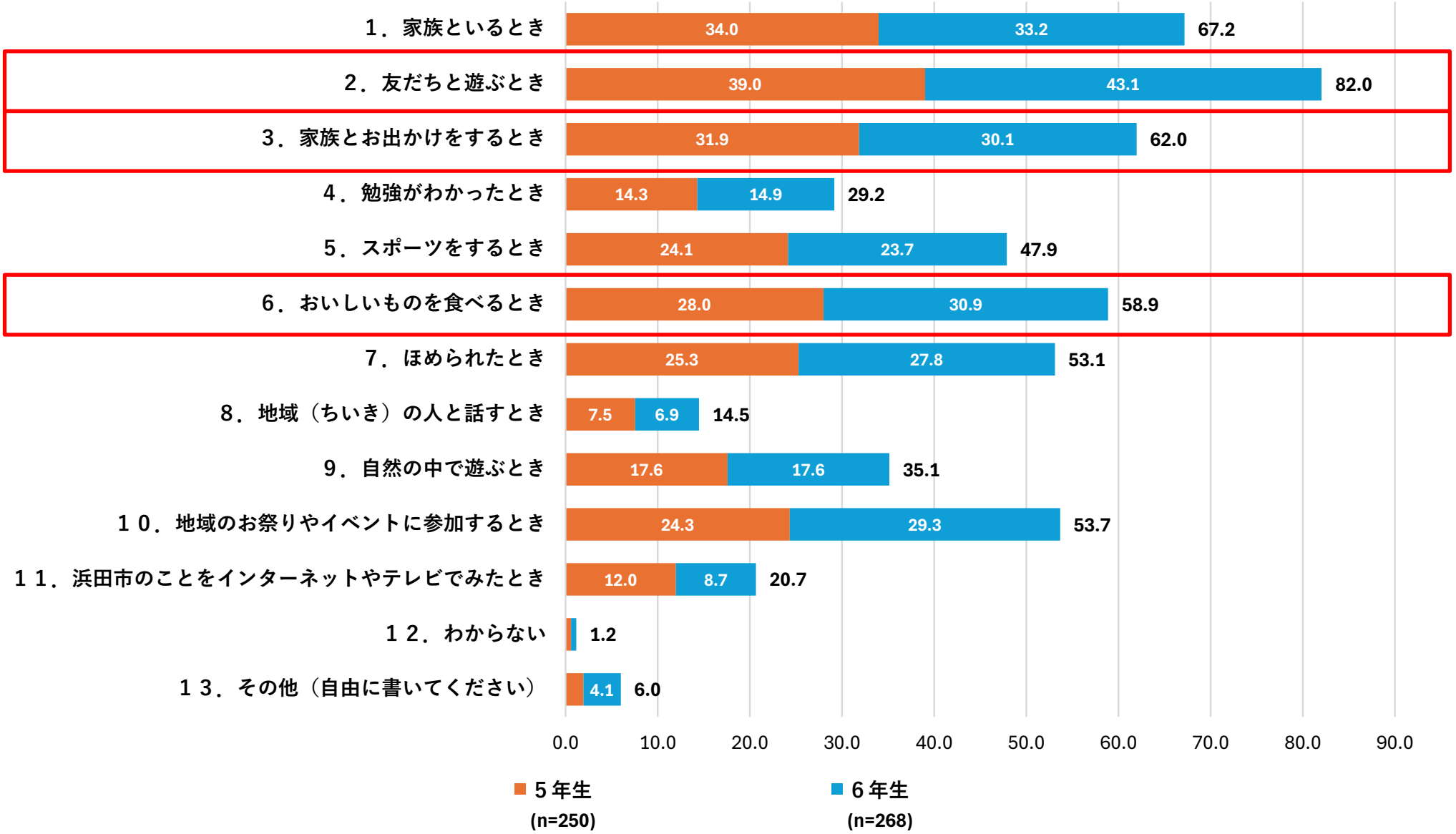
問：浜田市の20年後を見据えた上で、今後特に力を入れるべきだと思う分野で特に大切と思うもの。（複数回答）　※一位回答のみ



●小学生アンケート調査結果　（1）児童が幸せを感じるとき

・小学生が幸せに感じるときは、「友だちと遊ぶとき」が最も割合が高く、次いで「家族とお出かけするとき」、「おいしいものを食べるとき」となっています。

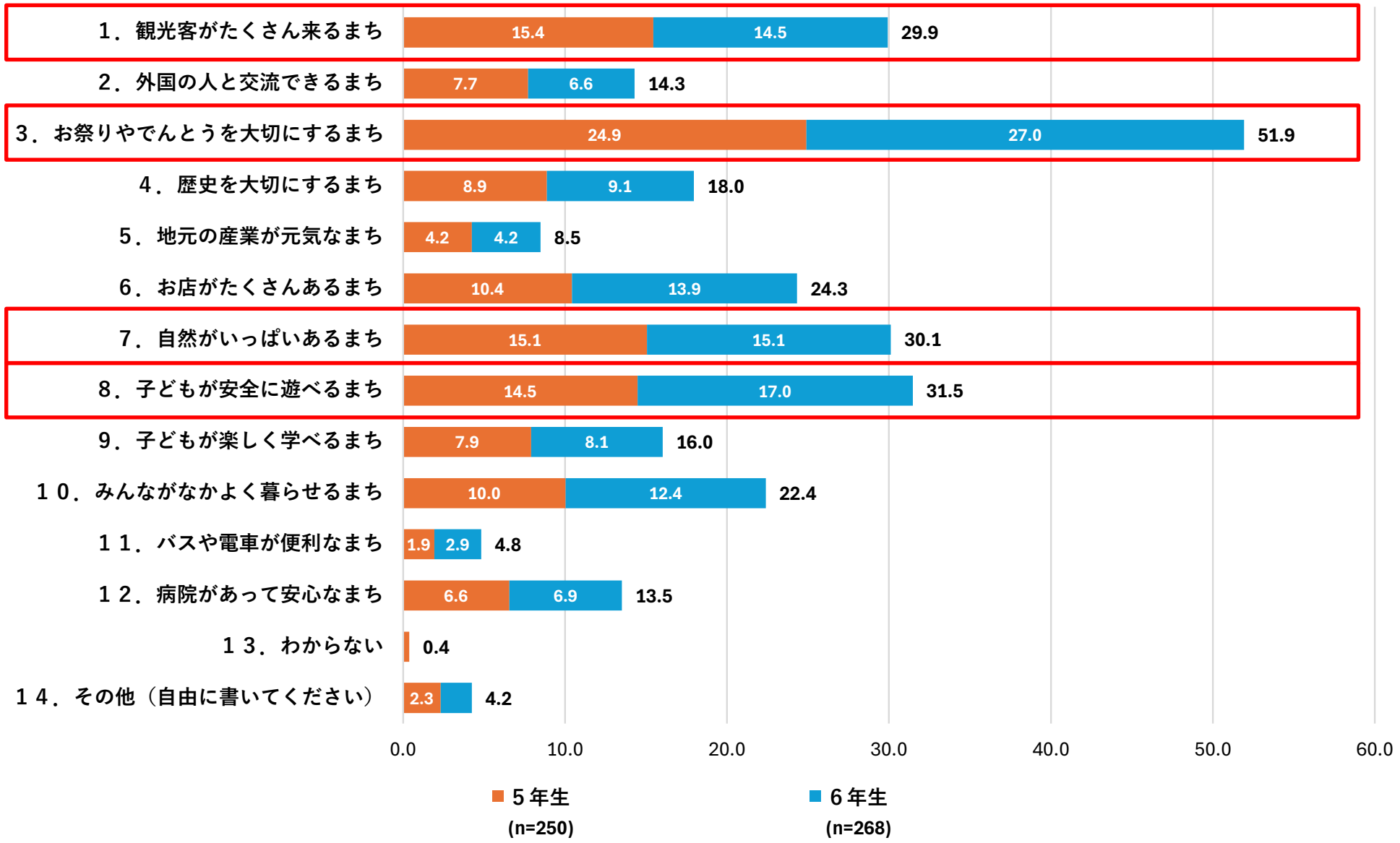
問：あなたはどんなときにうれしい気持ちになりますか。（当てはまるものをすべて選んでください）



●小学生アンケート調査結果　（２）児童が望む市の未来

・「お祭りやでんとうを大切にするまち」の回答割合が約50%と突出して高く、次いで「子どもが安全に遊べるまち」、「自然がいっぱいあるまち」、「観光客がたくさん来るまち」となっており、それぞれ30%程度となっています。

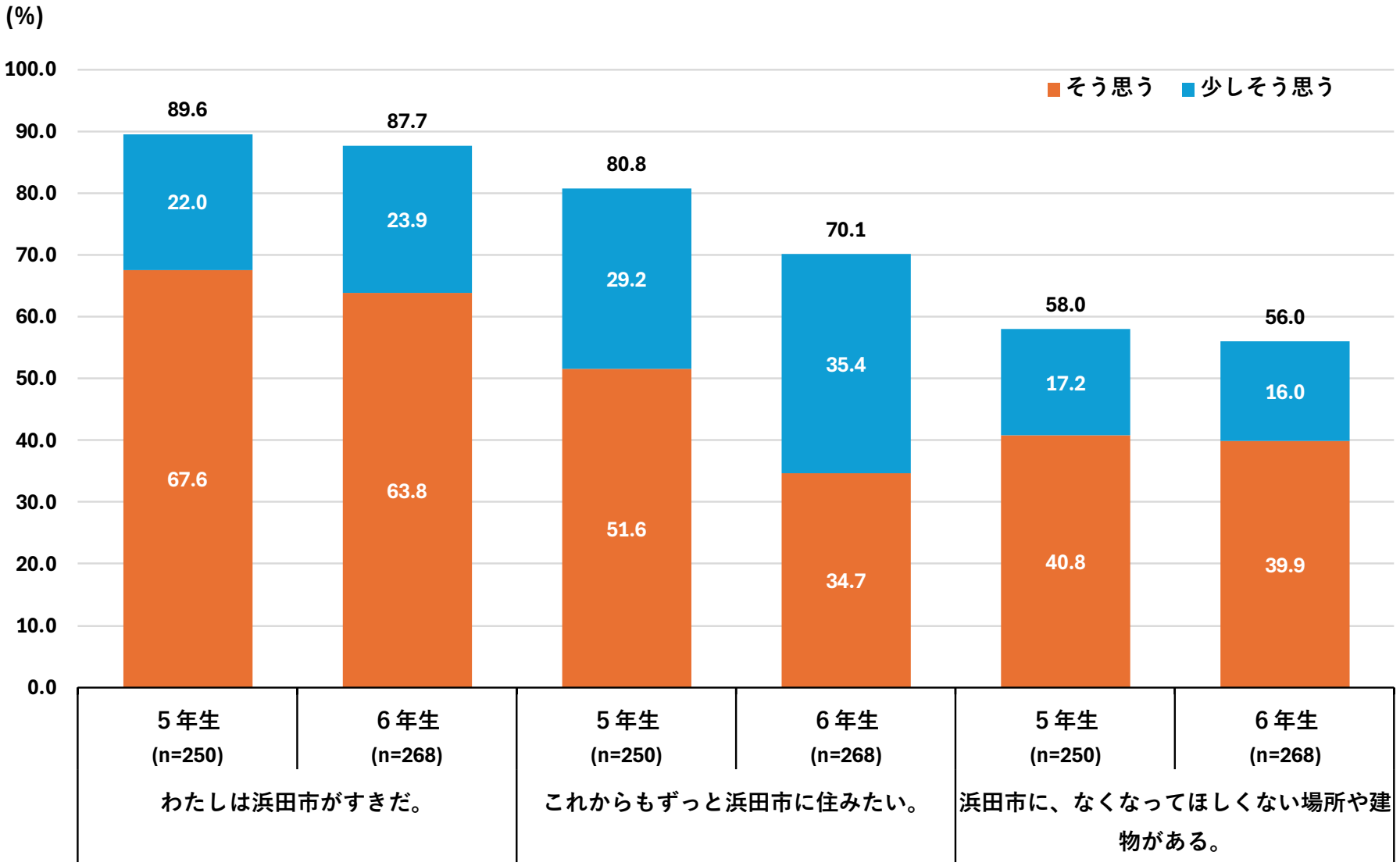
問：浜田市がどんなまちになったらいいと思いますか。いいなと思うものを3つまで選んでください。



●小学生アンケート調査結果　（3）児童の地域愛着

・「わたしは浜田市が好きだ」、「浜田市に、なくなってほしくない場所や建物がある」については、5年生と6年生の間に大きな差はありません。
・「これからもずっと浜田市に住み続けたい」ついては、5年生が約81%、6年生が約70%と6年生の方が10%程度低くなっています。

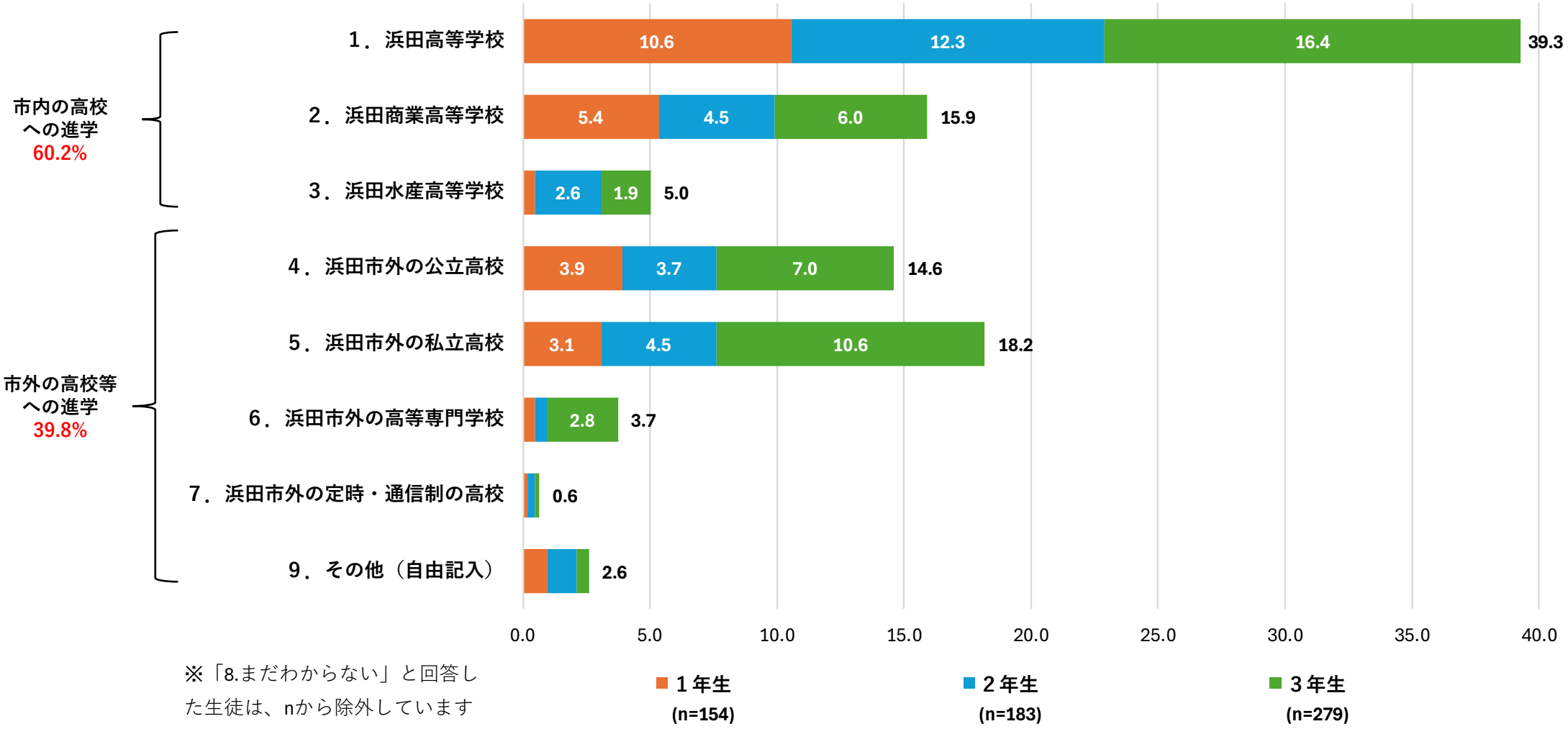
問：「わたしは浜田市がすきだ」「これからもずっと浜田市に住み続けたい」「浜田市に、なくなってほしくない場所や建物がある」



●中学生アンケート調査結果　（1）中学卒業後の進路

・浜田市内の高校への進学を希望する中学生の割合は、全体で60.2%となっています。学年別には1，2年生はともに65.6%ですが、3年生は53.8%と10%以上低くなっています。
・浜田市外の高校等への進学を希望する中学生の割合は、全体で39.8%となっています。学年別には1，2年生はともに39.8%ですが、3年生は46.2%と高くなっています。

問：あなたが現時点で考えている（又は決まっている）中学校卒業後の進路について教えてください。【○は１つ】

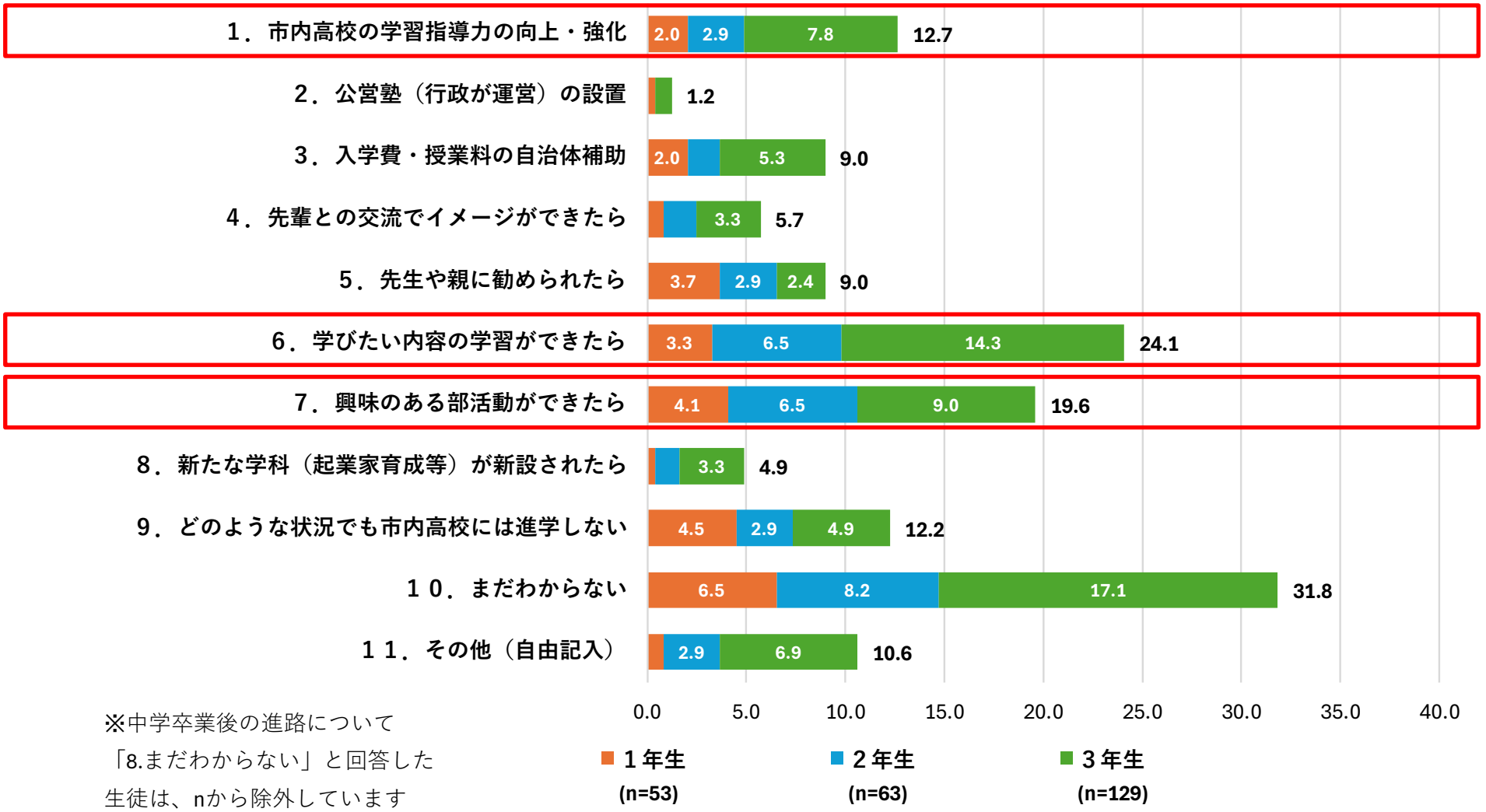


※「8.まだわからない」と回答した生徒は、nから除外しています

●中学生アンケート調査結果　（２）市内の高校に通学する可能性

・中学生965名のうち、浜田市外の高校等への進学を希望する中学生は245名（約39.8%）となります。
・そのうち、「どのような状況であっても、市内の高校には進学しない」と回答する中学生は30名であり、245名のうち215名（87.8%）は、何かしらの施策介入により、市内の高校に通学し得る可能性があることがわかります。
・中学3年生に着目すると、施策介入の候補としては、「学びたい内容の学習ができたら」(14.3%)・「興味のある部活動ができたら」(9.0%)・「市内高校の学習指導力の向上・強化」(7.8%)などがあげられます。

問：前設問で市内3校（浜田高校・浜田商業・浜田水産）以外と回答した方、
どのような状況であれば、市内の高校に通学する可能性があるか教えてください。【○は３つまで】

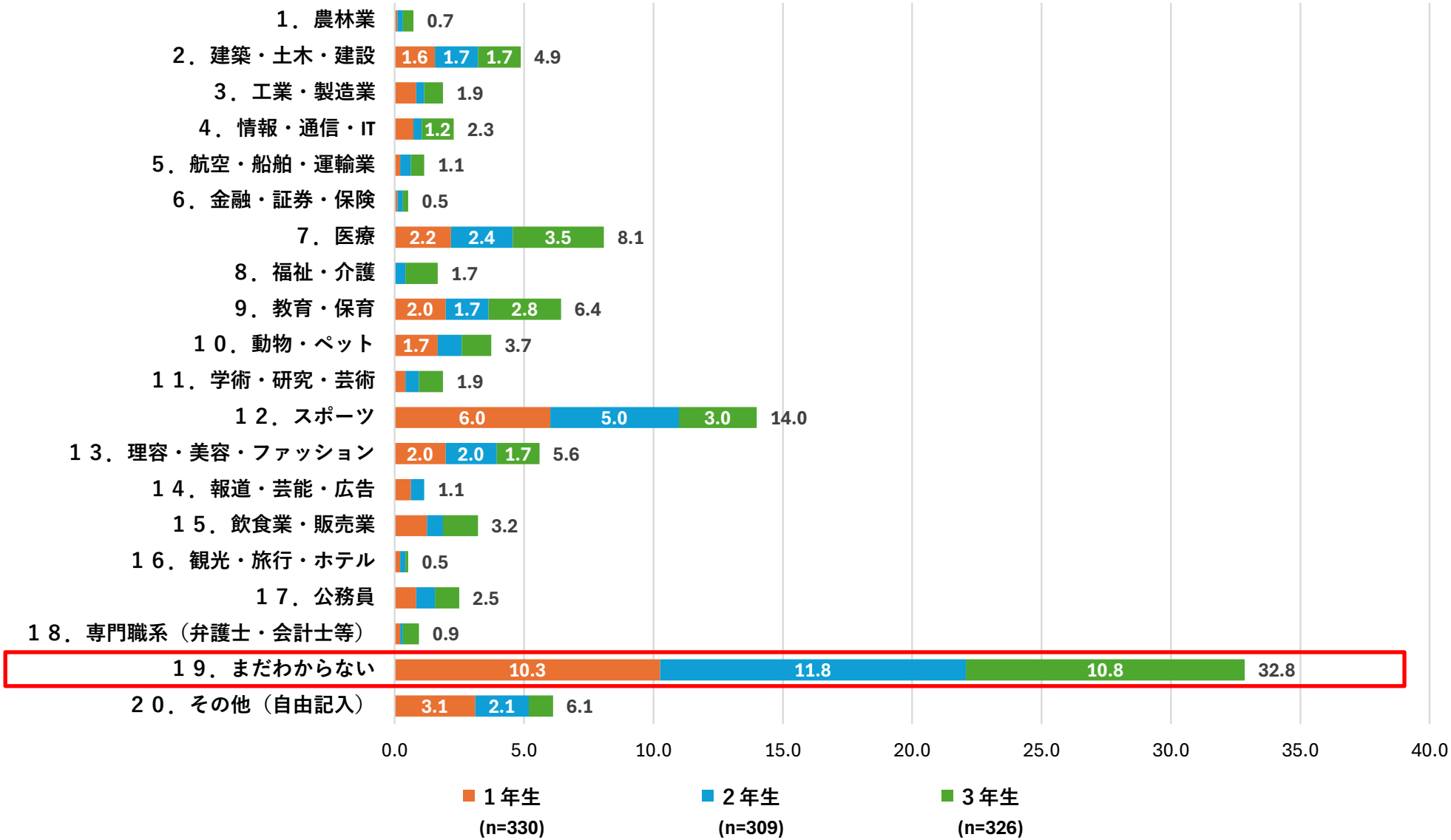


※中学卒業後の進路について
「8.まだわからない」と回答した
生徒は、nから除外しています

●中学生アンケート調査結果　（３）今後就きたい職業

・中学生全体でみると、今後就きたい職業は「まだわからない」と回答する割合が約33％と最も高くなっています。
・中学生全体では、「スポーツ」・「医療」等の職業への興味が比較的高く、この中でも、中学1年生・2年生は「スポーツ」の回答割合が高く、中学3年生は「医療」の回答割合が高いです。

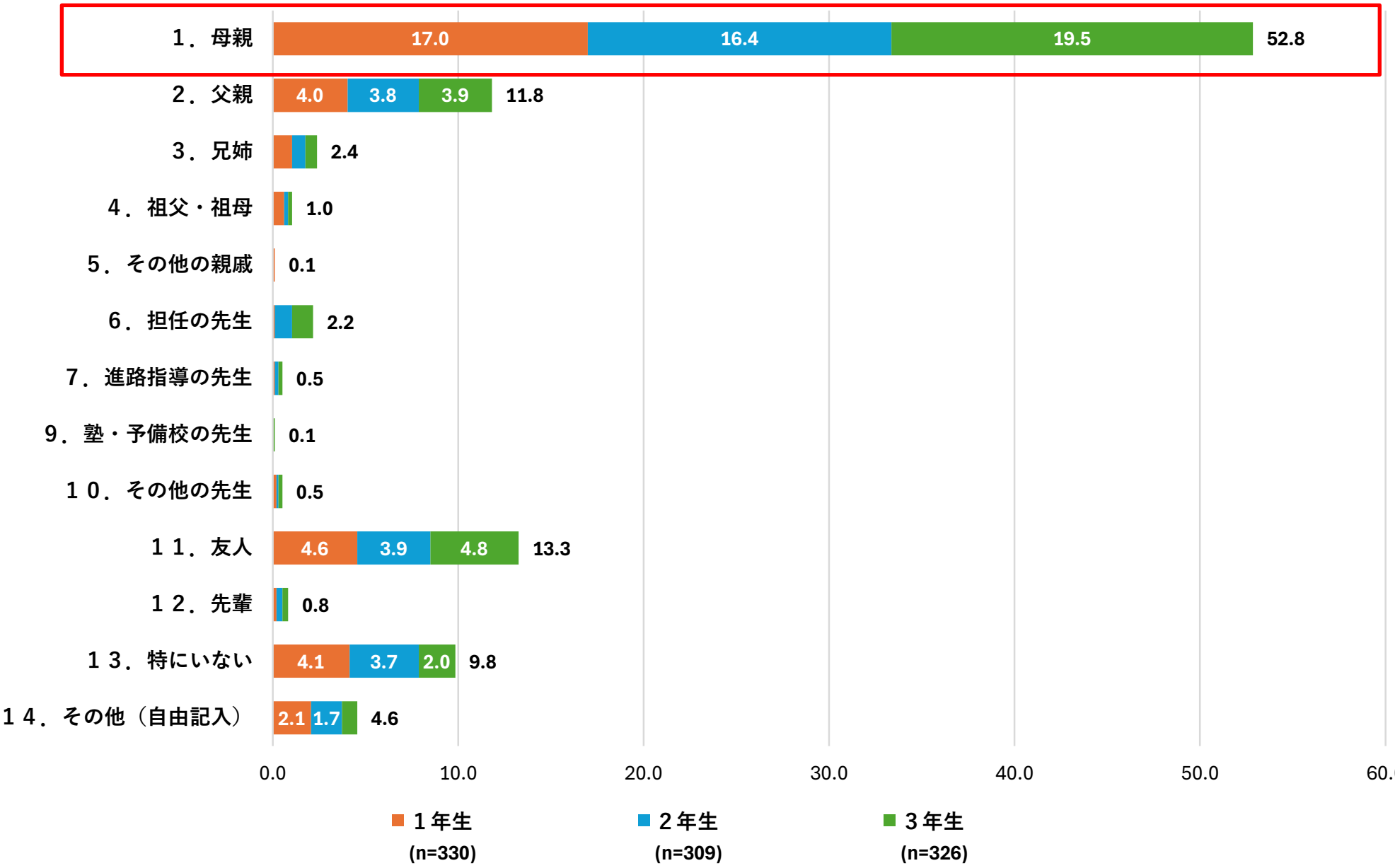
問：あなたは今後どのような職業に就きたいか教えてください。【○は１つ】



●中学生アンケート調査結果　（４）進路を考える上での相談相手

・学年によらず、中学生が進路を考える上で、最も相談する人は「母親」と回答する生徒が最も多いです。

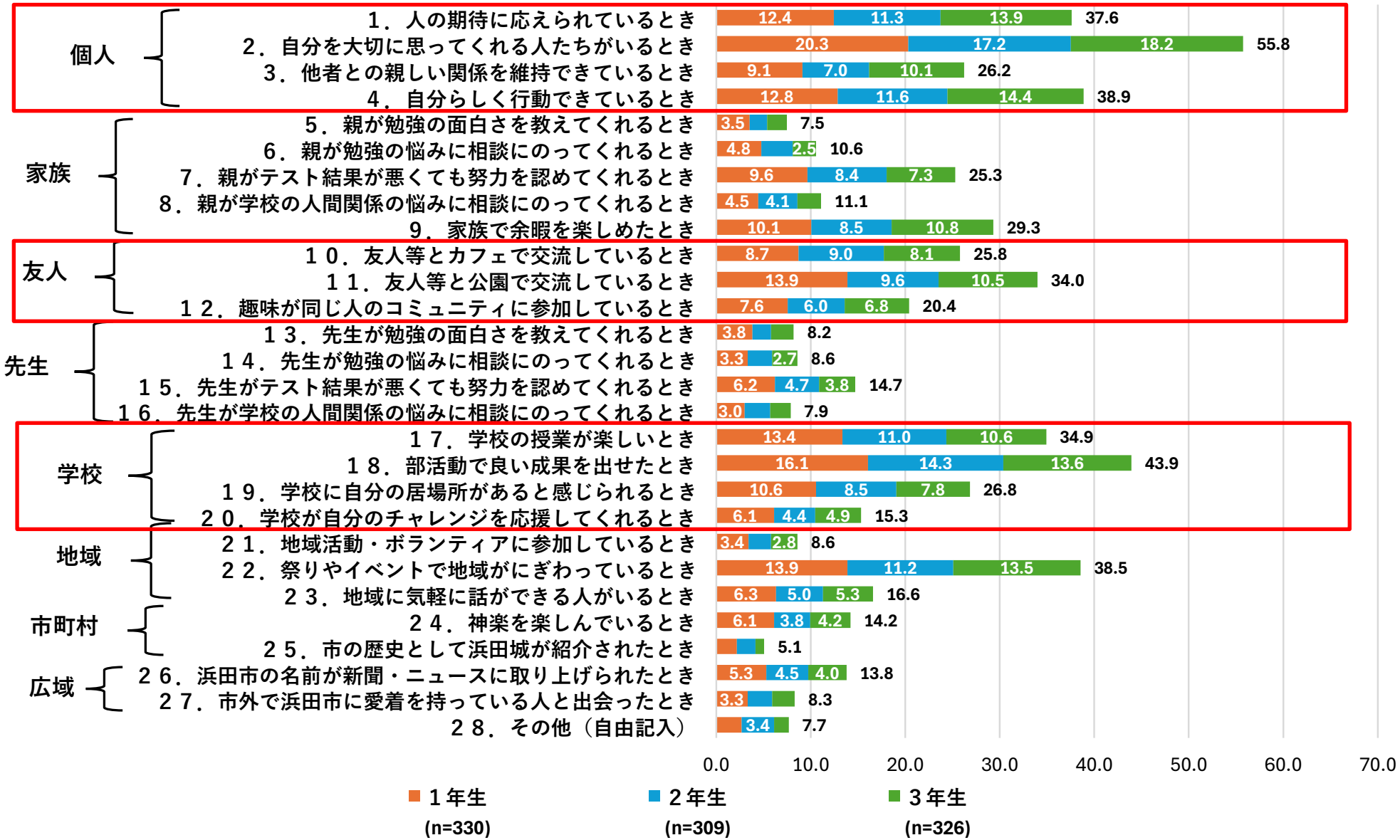
問：あなたが進路を考える上で、最も相談する人を教えてください。【○は１つ】



●中学生アンケート調査結果　（５）生徒が幸せを感じるとき

・中学生が幸せに感じるときは、個人レベルの因子の回答割合が高く、次いで、学校レベルの因子（特に部活動）、友人レベルの因子（特に公園、カフェでの交流）の回答割合が高い傾向にあります。
・また地域レベルの因子では、「祭りやイベントで地域がにぎわっているとき」の割合も高くなっています。

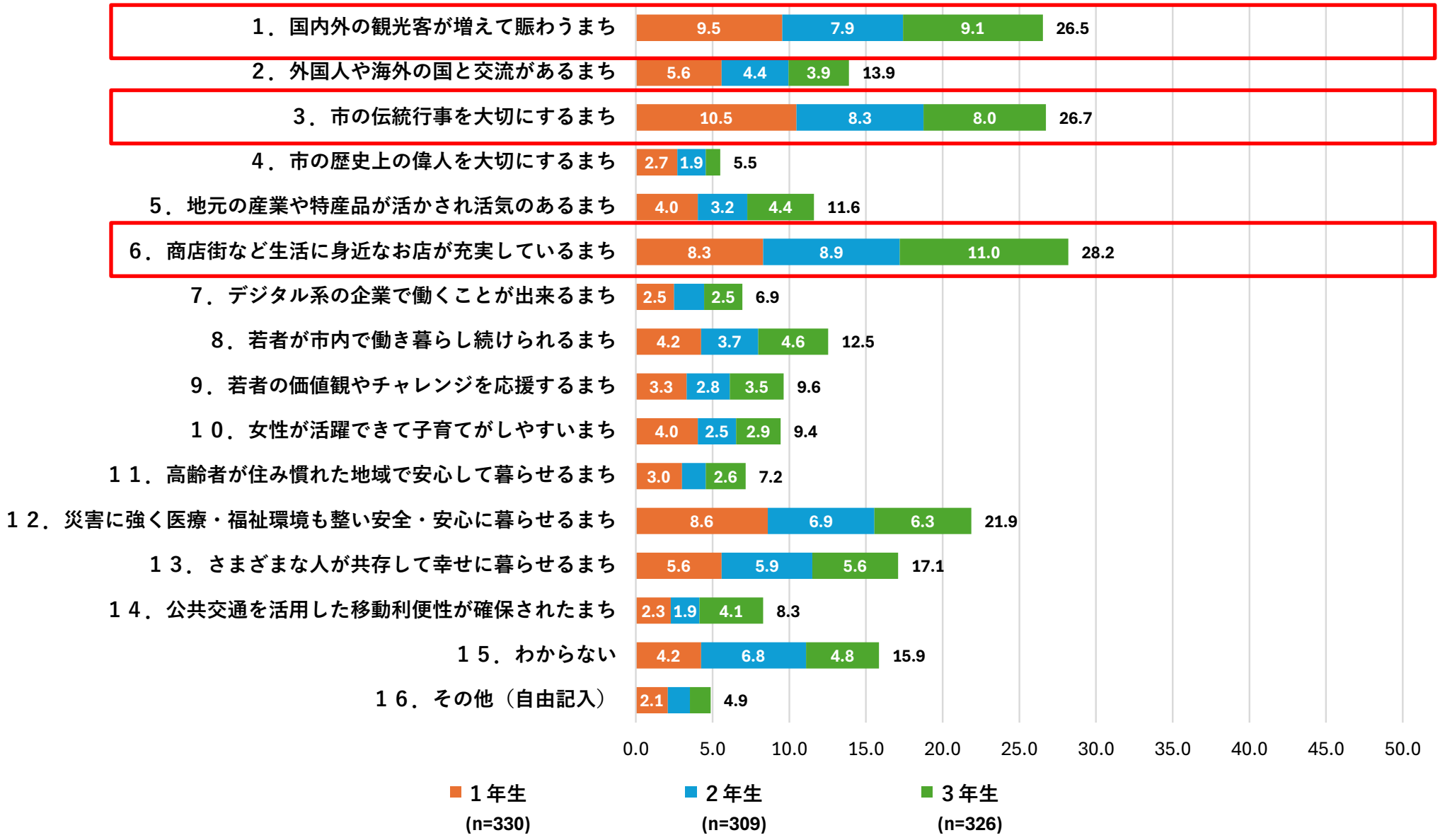
問：あなたはどんな時に幸せだと感じますか。【○はいくつでも可】



●中学生アンケート調査結果　（６）生徒が望む市の未来

・学年に関わらず、「商店街など生活に身近なお店が充実しているまち」、「市の伝統行事を大切にするまち」、「国内外の観光客が増えて賑わうまち」と回答する生徒が最も多くなっています。

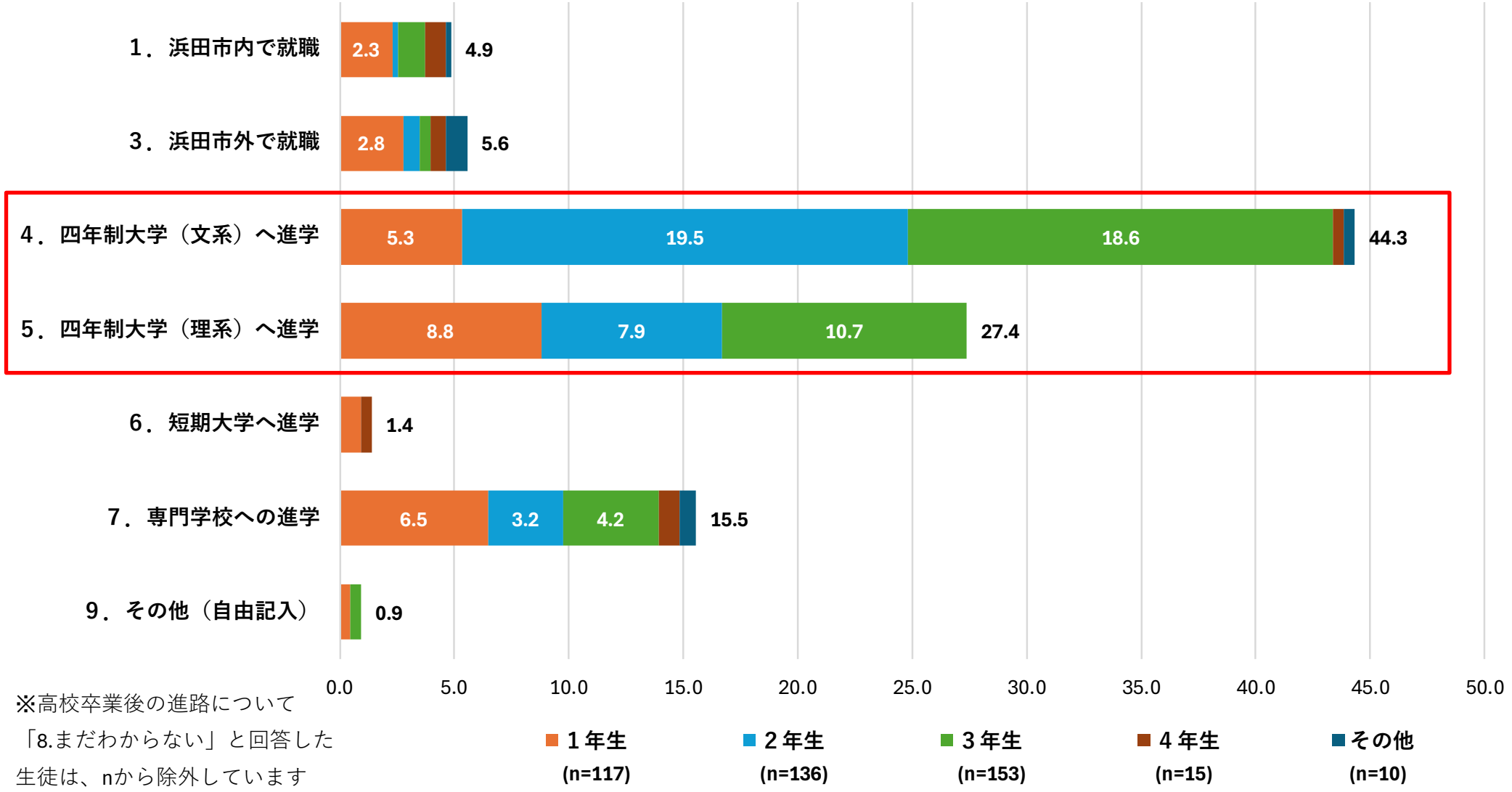
問：あなたは浜田市が将来どんなまちになっていれば、住みたいと思えるか、教えてください。【○は３つ】



●高校生アンケート調査結果　（1）高校卒業後の進路

・「四年生大学へ進学（文系）」が約44%と最も多く、次いで「四年生大学へ進学（理系）　」の約27%となっており、約72%が大学への進学を志望しています。
・なお「２．浜田市内で家業の手伝い」は回答がありませんでした。

問：あなたが現時点で考えている（又は決まっている）高校卒業後の進路について教えてください。【○は１つ】

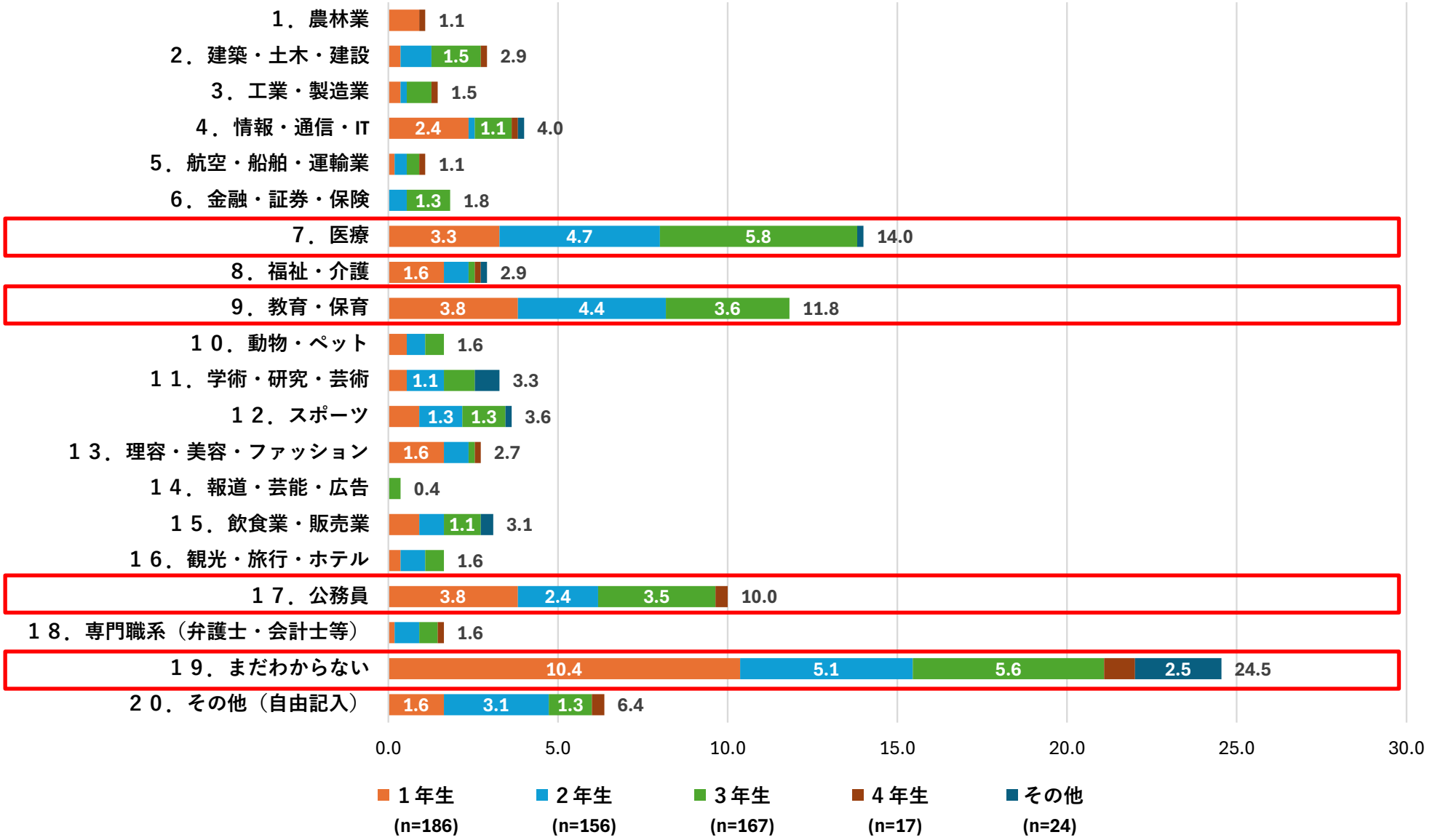


※高校卒業後の進路について「8.まだわからない」と回答した生徒は、nから除外しています

●高校生アンケート調査結果　（２）今後就きたい職業

・今後就きたい職業は「まだわからない」と回答する割合が約25％と最も高くなっています。
・それ以外では、「医療」・「教育・保育」・「公務員」と回答する割合が高くなっています。

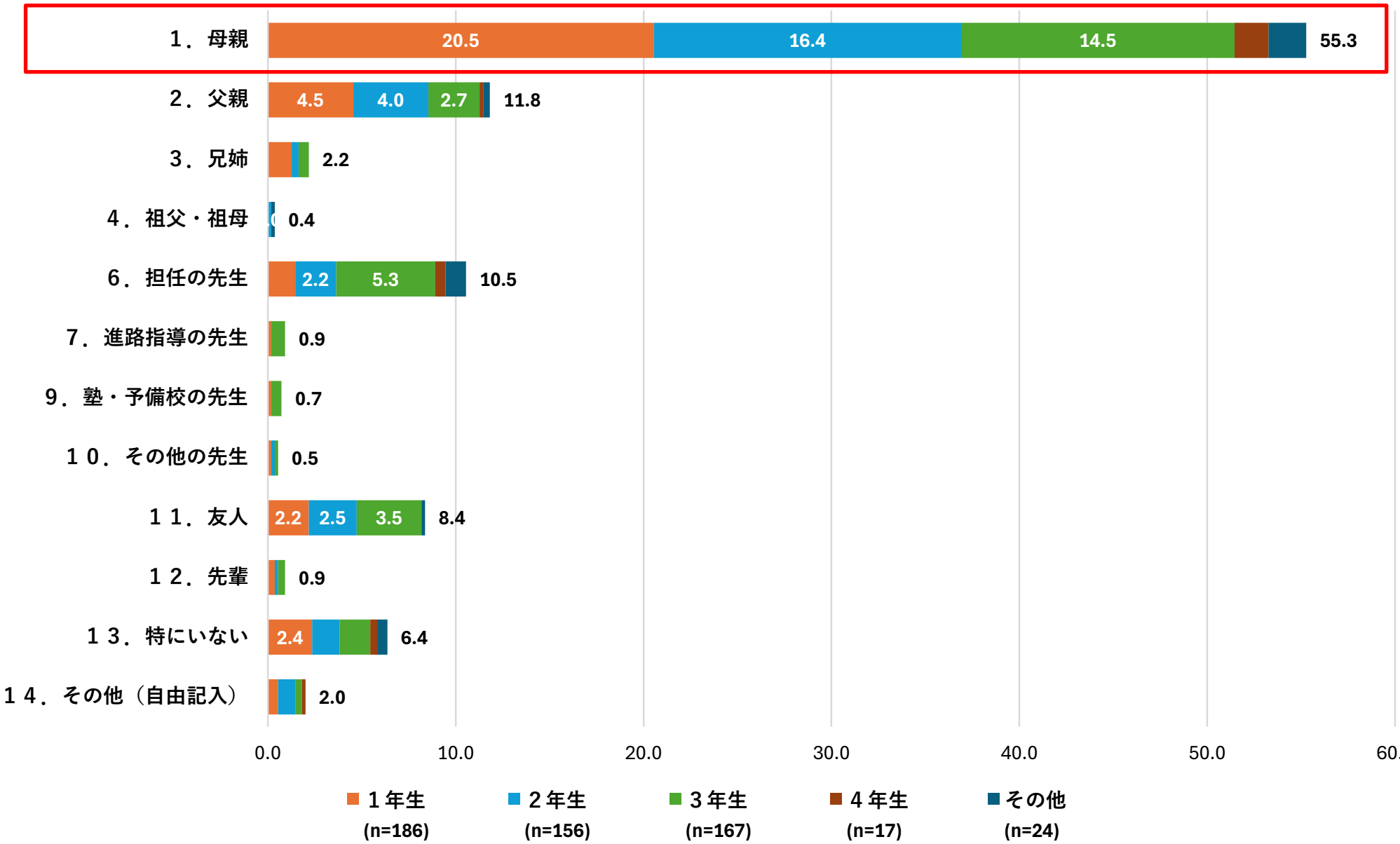
問：あなたは今後どのような職業に就きたいか教えてください。【○は１つ】



●高校生アンケート調査結果　（３）進路を考える上での相談相手

・学年によらず、高校生が進路を考える上で、最も相談する人は「母親」と回答する学生が最も多くなっています。次いで「父親」、「担任の先生」となっています。

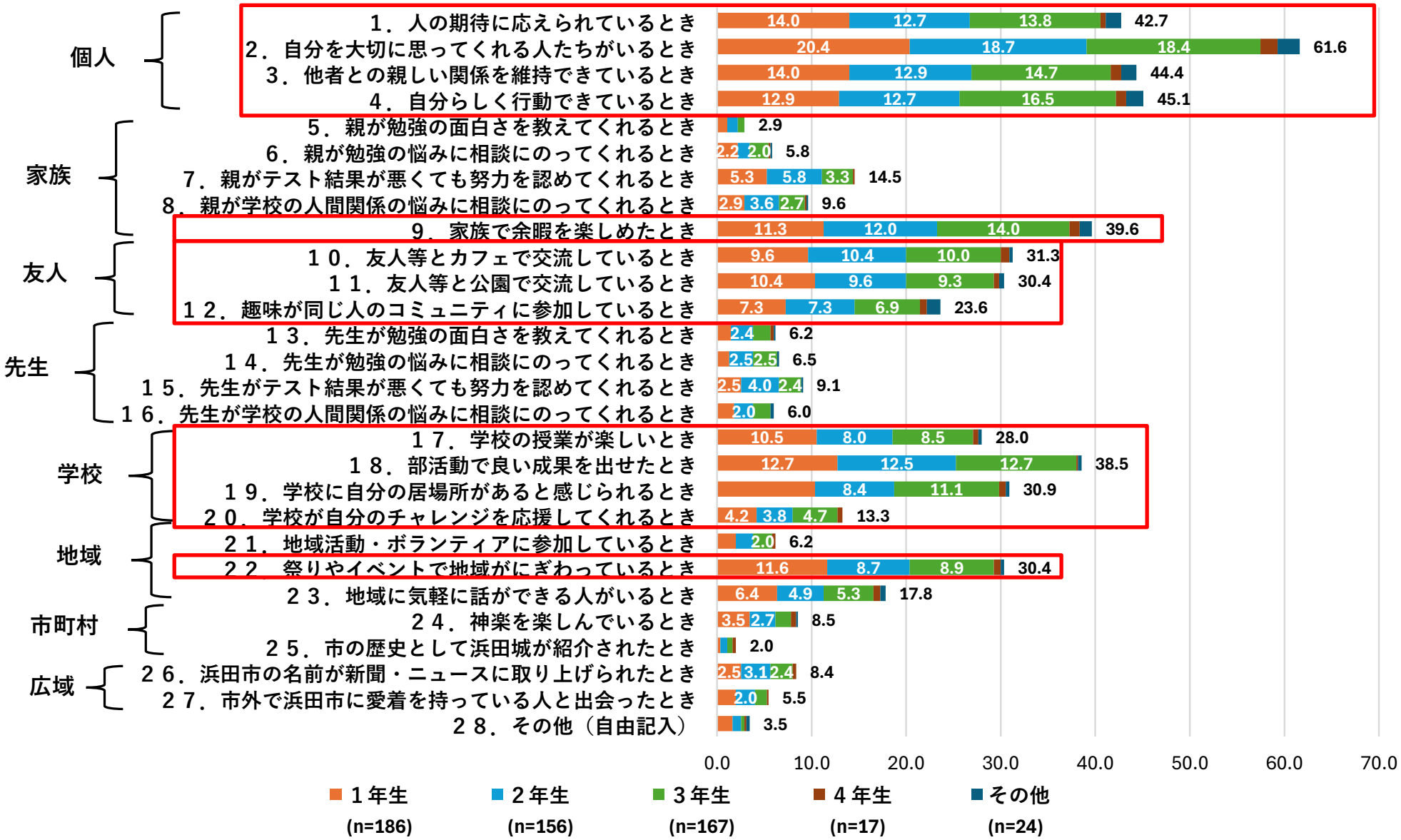
問：あなたが進路を考える上で、最も相談する人を教えてください。【○は１つ】



●高校生アンケート調査結果　（４）生徒が幸せを感じるとき

・高校生が幸せに感じるときは、個人レベルの因子の回答割合が高く、次いで、学校レベルの因子（特に部活動）、友人レベルの因子の回答割合が高い傾向にあります。
・家族レベルの因子では、「家族で余暇を楽しめたとき」の割合が約40%と高くなっています。また地域レベルの因子では、「祭りやイベントで地域がにぎわっているとき」の割合が約30%と高くなっています。

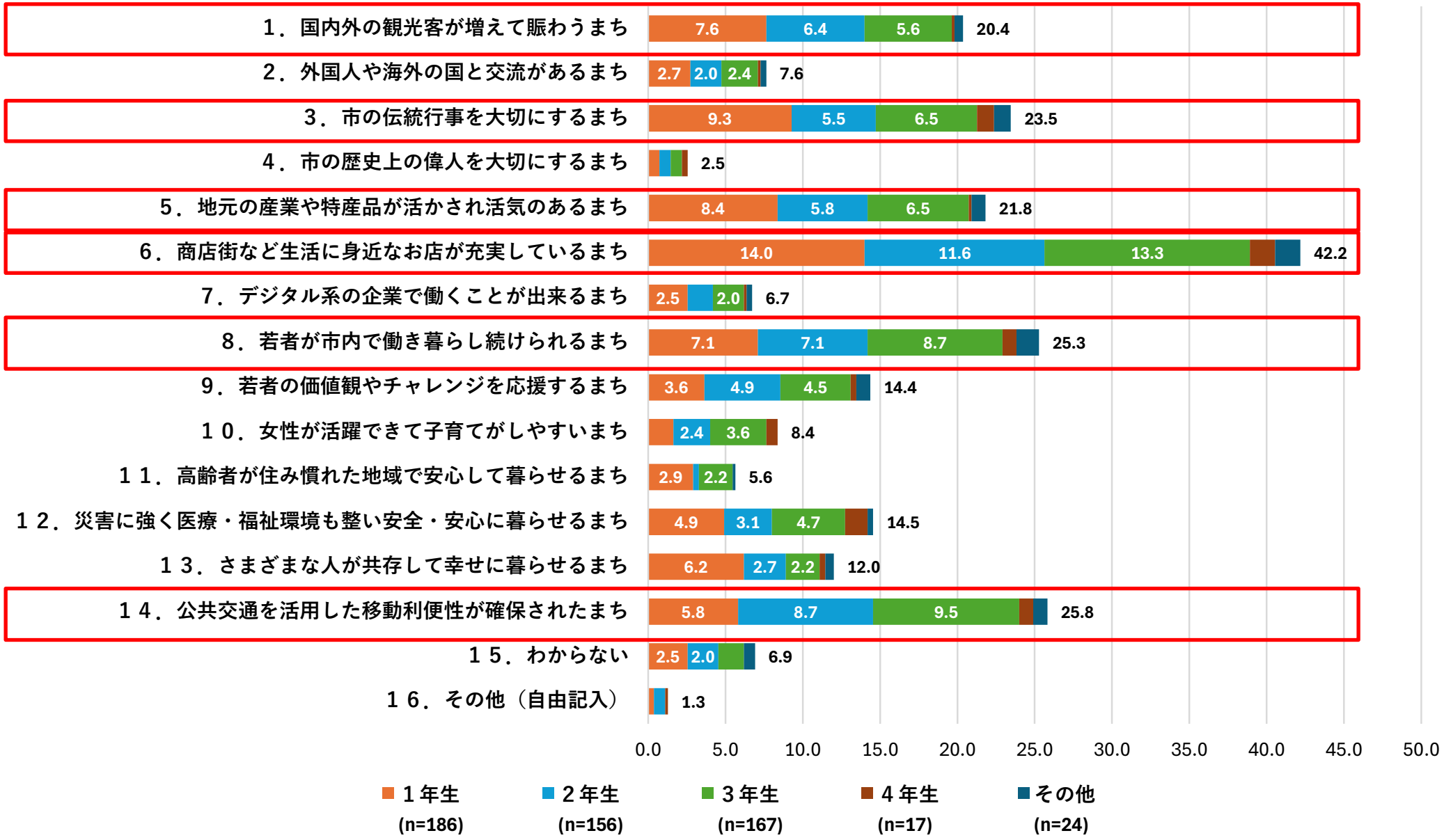
問：あなたはどんな時に幸せだと感じますか。【○はいくつでも可】



●高校生アンケート調査結果　（５）生徒が望む市の未来

・学年に関わらず、「商店街など生活に身近なお店が充実しているまち」と回答する生徒が最も多くなっています。
・その他にも「若者が市内で働き暮らし続けられるまち」、「公共交通を活用した移動利便性が確保されたまち」などの選択肢で割合が20%を超えています。

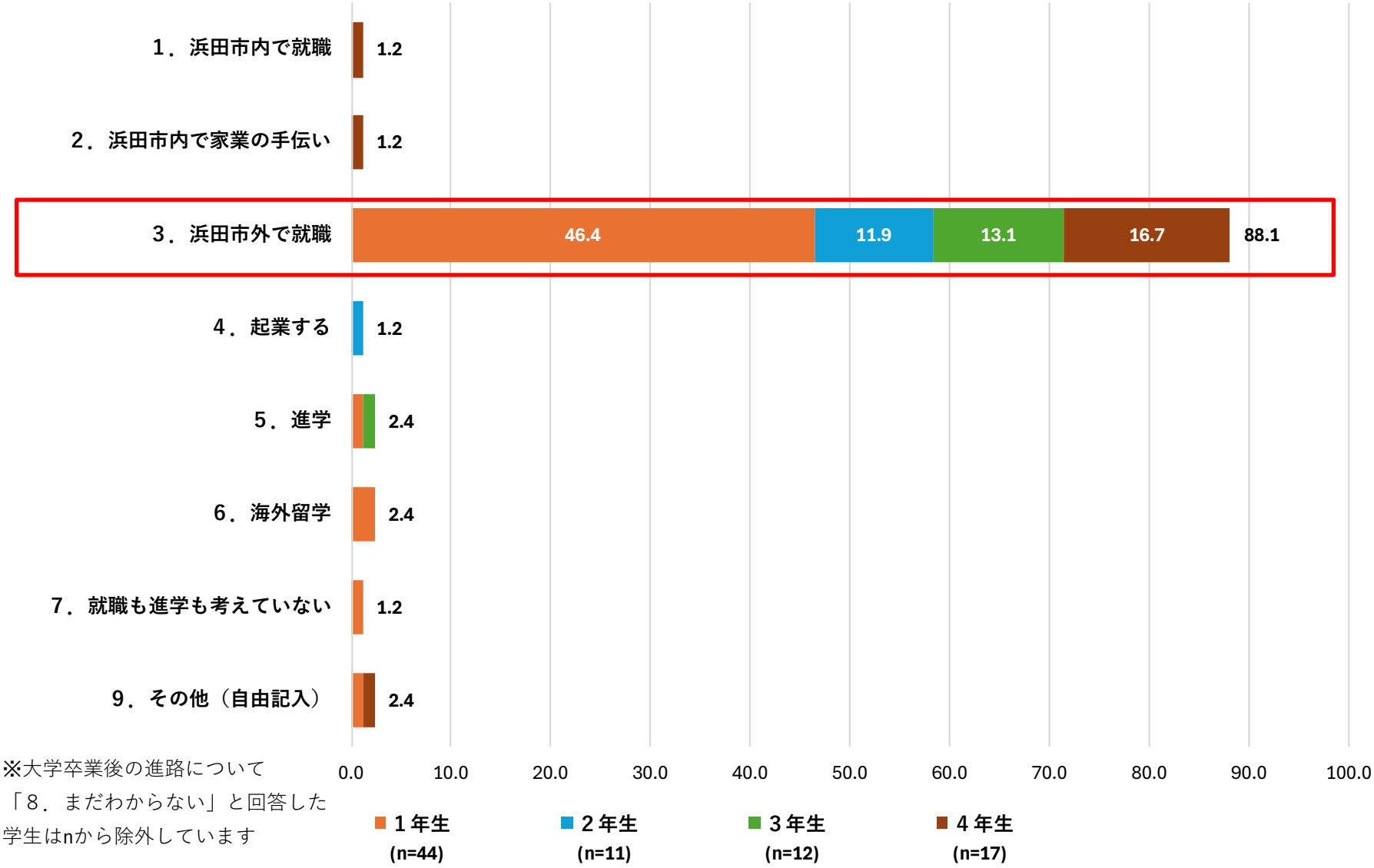
問：あなたは浜田市が将来どんなまちになっていれば、住みたいと思えるか、教えてください。【○は３つ】



●大学生アンケート調査結果　（1）大学卒業後の進路

・「浜田市外で就職」が約88.1%と最も多くなっています。この内訳では、1年生が46.4%とその半数以上を占めています。
・「浜田市内で就職」、「浜田市内で家業の手伝い」はそれぞれ1.2%となっており、大学卒業後の進路として浜田市内がほとんど選ばれていない状況が見て取れます。

問：あなたが現時点で考えている（又は決まっている）大学卒業後の進路について教えてください。（1つ選択）

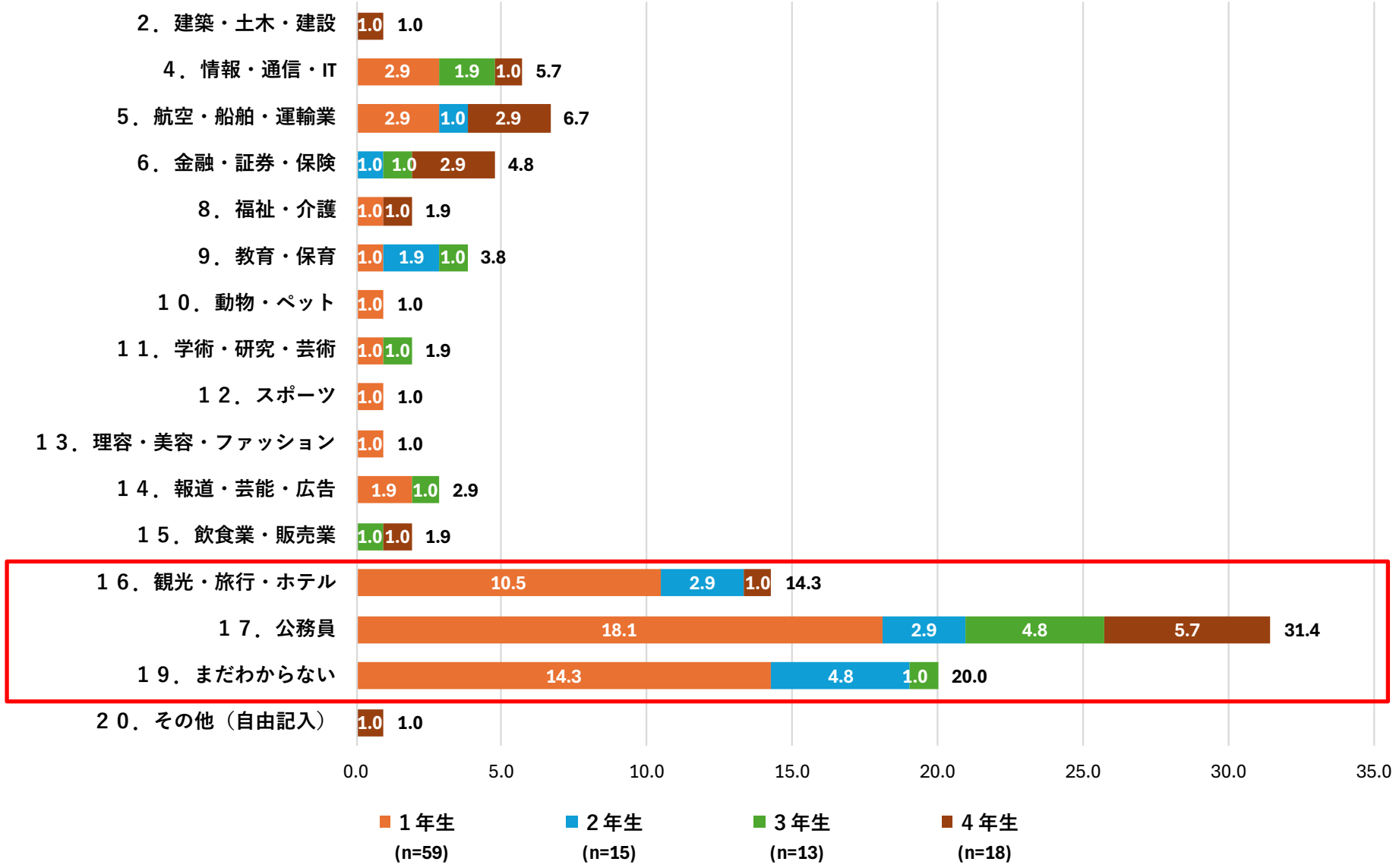


※大学卒業後の進路について「8．まだわからない」と回答した学生はnから除外しています

●大学生アンケート調査結果　（２）今後就きたい職業

・全体では、「公務員」が31.4％と最も高く、次いで「まだわからない」が20.0％、「観光・旅行・ホテル」が14.3％となっています。
・学年別では、「まだわからない」が1年生で25.4％、2年生で33.3％となっている一方、4年生では回答がみられません。

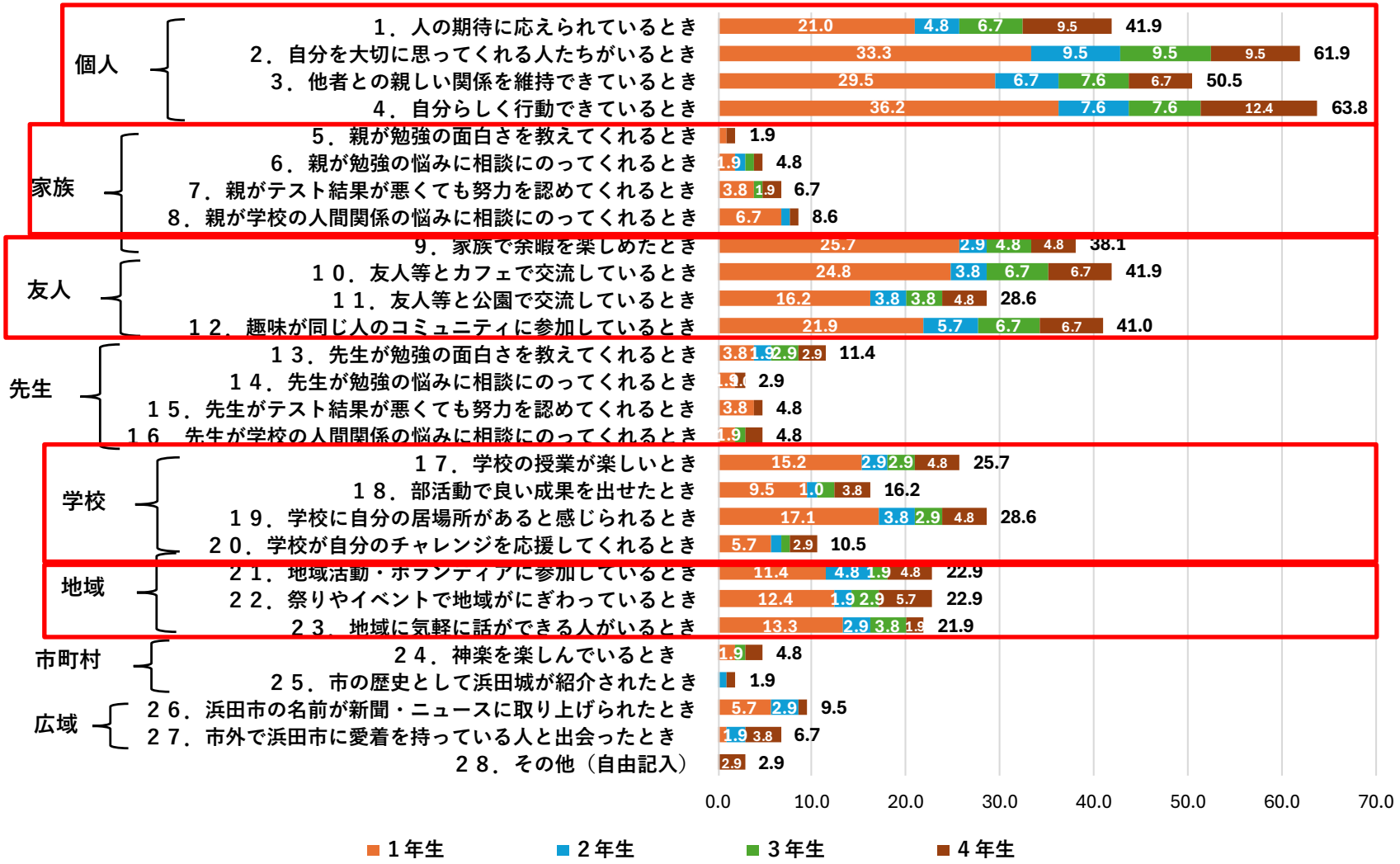
問：あなたは今後どのような職業に就きたいか教えてください。【○は１つ】



●大学生アンケート調査結果　（３）学生が幸せを感じるとき

・大学生が幸せを感じるときは、個人レベルの因子の回答割合が高く、特に「自分らしく行動できているとき」（63.8%）、「自分を大切に思ってくれる人たちがいるとき」（61.9%）が6割を超えています。次いで、友人レベルの因子の回答割合が高い傾向にあります。
・家族レベルの因子では、「家族で余暇を楽しめたとき」が38.1%と高くなっています。一方、学校レベルの因子では「学校に自分の居場所があると感じられるとき」が28.6%、地域レベルの因子では「地域活動・ボランティアに参加しているとき」「祭りやイベントで地域がにぎわっているとき」がともに22.9%となっています。

問：あなたはどんな時に幸せだと感じますか。【○はいくつでも可】



●大学生アンケート調査結果　（４）学生が望む市の未来

・全体では、「商店街など生活に身近なお店が充実しているまち」（55.2%）が最も高く、１～３年生でも上位となっています。一方、４年生では「若者が市内で働き暮らし続けられるまち」が最多となっています。
・その他、「公共交通を活用した移動利便性が確保されたまち」（42.9%）、「若者が市内で働き暮らし続けられるまち」（28.6%）など、「市の伝統行事を大切にするまち」、「地元の産業や特産品が活かされ活気のあるまち」が高くなっています。

問：あなたは浜田市が将来どんなまちになっていれば、住みたいと思えるか、教えてください。【○は３つ】

